

でありますが、脂肪栓が見えて居ても、斯の種のはすぐ押出してはいけません。

何故かと云へば、只さへ自然的に表皮を傷つけ易い故、押出す様な事をするると一層痕が残るのです。

稀沃度丁幾 藥品欄参照。
膿い普通の沃度丁幾ではないけ
ない、必らず稀皮のものでは
いと収縮力が強過ぎる。
日に二度位。

此の種のもものは稀沃度丁幾(素人に買へる)を筆先きで健全の處へ塗らないやうに、炎症の上へだけ一寸つけて置く、然かすると、翌日は収縮して面麩栓のみ突出して見ゆるを以て、上手に取去れば決して痕を残しません。

尖刃刀を、突出したる面麩栓の尖端に引つけて跳ね上れば、少しの痛みもなく面白い様に、スポツ／＼と抜け去るのであります。

痤瘡 普通にきびと素人の思つて居るものに痤瘡がある。是

痤瘡 無理に云へば、きびの重いもの。

瓦斯や、タール剤や、石油や、洋紙商、洋反物商、個性の痤瘡が出来る。一種の臭氣の刺戟の爲めである。

醫家は變質劑の飲用、患部の切除等を行ふが、痕が残つていかぬ。

美容の巻参照。

此の尿を排泄する事は最も必要の事である。しみの欄参照。

これは全身病や、職業に依つて出来る事が多い。女子生殖器病、胃腸病、營養障害等に依るものが多いのであります。又學生達中の勉強過度の爲めブロームカリウム等を飲用すると必ず出来る。又沃度を過用しても出来る事があるのであります。

主として顎部に多く、首筋等にも出来るのです。是れにはエーヤ鬱血が面白いほど効がある。普通本症は出来始めて早くも三四年、或は十年の経過を要し、癩痕も残り易けれど、エーヤ鬱血は一時は(二週間)見苦しき色となれど、決して痕が残らない。約三十回位で大部分快癒します。

ビールを飲む人に痤瘡は尠ない、是れは炭酸水のやうな分子が多い爲め、排泄が十分に行はるゝ爲めと考へるのは早断でないと思ひます。

其の意味に於て、早く排尿を催ほす、炭酸水のやうなものを多く飲む事を必要とせなければなりません。

三、脾 脱 疽

脾脱疽 悪性膿胞のこと。

微菌の中で最も頑固のものである故、消毒剤の微菌撲滅の標準菌とする位である。

にきびの親が出来まして、と云ふやうな事を云つてくる方がある。是れは全然違ふのであります。にきびは大體に於て、新陳代謝の副産物であるが、これは牛馬にも出来る、脾脱疽菌の傳染であります。

是れは甚だ受け易い素質の人がある。一度出来ると秒くも時を置いて三四年出来るのであります。

然し素人の考へる様に、身體に毒が残ると云ふ様な事でなく、微菌が何處かに潜伏して居て、好時期を見計らひ飛出すの

よく出来る人は、一度出来た人は、枕の覆、シーツ、其の他身體に觸れ易いものを一切一度に消毒せぬと、殆ど此の病は絶へぬと云ふてよい。

であります。故に上記の注意は極めて肝要の事であります。

はじめは一寸にきびが膿んだ様に見えます。そして其の周囲が色づいて、しこりが出来、熱が出ます、おでき位と考へて捨て置くと、血液に毒が廻り脳症等を起して死んでしまふ例があります。

脾脱疽が出来易い質の人は、始め蚊にさされた程のものが出来た時(うみはじめぬ内)沃度丁幾を他へつけぬ様その尖端に毛筆で塗ると、頓座療法として、面白いほど治つてしまひます。

又是れまでは切開したものであります。痕が残りに易いのです。一兩日経つて青く膿んだならば、痛みを堪へて十二分押出すとよい、スポンと穴があく、然しこの穴は始め菌が入つた汗腺のふくらんだもの故、上手にやれば決して痕を残しません。

日を経ぬ内に、鬱血療法は痕なく消へる。

これもエーヤ鬱血が一番安全であつて、腫張したる周圍へ沃度丁幾を塗ると、漸次收縮して小さくなり、又押出した傷口へ沃度丁幾を塗ると、しみて痛む患はあれど、あとからく血漿が甘分間位流れ出ます。

此の血漿を吸取紙で吸取り沃度を塗り、出るとは吸ひ、出るとは吸取りすれば、決して色を残しません。又後日出來るのが殆んどなくなる故覺へて置くべきであります。

素人の稱する面疔といふものなど、其の特殊の病氣があるわけでない、脾脱疽の悪く働いたものである。俗に眞ん中に出來ると死ぬと云ふのは、人體は半身づゝ違ふ爲め、中央に出來ると早く全身に毒性が廻り易い爲めを云ふのであります。

尙ほにきびに屬するものにして、一寸素人に氣のつかぬのは、

收斂 ひきしまる。

硫化瓦斯 硫黄の温泉、石炭の煙等腸内に澤山含んで居る、放屁も硫化瓦斯を多量に含んで居る。

下記は藝妓舞妓に多し。

痛みはあとには感じない。

尿素の中毒で抜け毛となるのも澤山ある。

鉛毒性脂肪栓であります。

鉛の性は收斂性あるを以て、皮脂過多の人が、鉛分を含める白粉を用ゆる時は、鉛は脂肪に融和し易きを以て、皮脂腺中に含有せられ、夫が又空氣中の硫化瓦斯に作用せられて黒き斑點となり、澤山のもの相次で黒點となる爲め、どす黒き顔となり、化粧して何となく鼠色を呈して見苦しいものであります。是れはメサの尻の扁平の處にて強力を以て壓出する時は、非常の痛みを感ずれど、數回の壓出によつて奇麗に取り去られます。

四、ふきでもの

一般ふきでものと稱するものを検査すると

イ、尿酸中毒に依る汗腺の炎症。

汗疱 あせものこと、汗は不潔のものを吐き出す爲め、其の自家中毒、又汗は夏と限らない、絶えず出て居る。

寄生性云々 うつる微菌。

顔を石鹼で洗ふと、ふきでの出来ると云ふ人は此の類なり。

婦人の頭痛し易いのは、尿酸中毒が多い。

生理欄参照。

汗の中の不純物に依つて、あせもが一層出来る。

ロ、汗疱に屬するもの。

ハ、寄生性の微菌によるもの。

等、數多くあります。

又た皮膚、乳頭層の不規則なる併列の爲め、一部分の刺戟過度の爲め、一部の炎症化膿したるものも多いのであります。

日本の婦人は、尿利を堪ゆるを自慢して居らるゝ人が多い。

是れは生理的に見て大間違ひであつて、悪くすると尿毒性を起して死んでしまふ程悪きもの故、速かに排出すべきです、堪へて居ると又復あべこべに吸収さるゝ爲め、分泌腺にまで悪きものが流れ出で、其の分泌物の中毒に依つて、輕き炎性を起す事が往々あるので、これ等はふきでもものになり易いのであります。汗疱も右の理由と同じ事でありませう。

寄生性の病菌は消毒欄に記してあります。前に記した脾脱疽も此の類の仲間であります。

五、そばかす。しみ

婦人の最も苦にせらるゝそばかすと稱するものにて眞正の夏日斑は甚だ少いのであります。

判りよく説明すれば、そばかすは表皮の角層にのみ出来る色素斑にして、樹木に例ふれば、松の木皮である。が故に、甚だしく荒れるとか、荒らす薬品を用ひれば面白い程取れ去るのであります。然るに、しみの方は松の木のやにである。故に、取つても取つてもあとから／＼と出来るのであります。

療法としては、何れも酸性の化粧水美顔料を用ひ、決してア

業者で、女の被施術者は、大抵しみ、そばかすを治すのが目的である。

類症鑑別 そばかすは、周邊が洋紙を切つたやうに判然としてゐる。

しみは何となく陰々として淡くても深く見ゆる、中央汗腺の點が濃い。

藥品アルカリの欄参照。

漂白剤の用ひ方は、美顔術欄にあり。

ルカリ性のものを用ひてはならぬ。そしてそばかすの方は少し荒す氣味にするだけで、取れ去るのは容易であります。然るにしみは前に云ふが如く、樹木のやにと同様、下から下からと浮上るが故に、絶へず手當をして居らなくてはならないので、漂白剤も用ひねばなりません。是れとても絶へず用ひて居ませんと、どんく治つても素人目には一寸治つたかまだ治らぬかわからぬ位のものであります。茲で一寸、色の黒い方、しみ、そばかすの方に手當てをお話し致しませう。

しみが出来て居りますが、如何なる手當がよいでせうか、と問はれた時、私は白粉、殊に肌色白粉を用ひられる様におすゝめする。すると必ず、「炭團でも白粉をつければ白くなるじやありませんか」と不足顔をして反問せらるゝ方が多いのであります。是れは一を知つて二を知らぬので、表皮は前にも度々説明しました様に、常に新陳代謝をして居ります。處で、浮いて來る色素の原性は光線に會はぬと決して濃い色を成さないのです。表皮はどしどし剥け去るのに拘はらず、あとつぎの皮には白粉も、そばかすも、漸次影が淡くなつて、しまひには殆んど見へなくなるのであります。

此の場合、保護するには何處までも保護して置かぬと、一寸の油断の時、ほんの一時の間に、色素が出来てしまふ例が多い故、此の被覆療法の場合、何處までも寸時も被覆物を取り去らぬやうに心掛けなくてはなりません。

生理欄 黒人の赤ん坊の例参照。
吾等の黒き指も、指環の下は黒くない。
全體に色の黒い方でも、光線に當る處は一層黒くなる。

下記の證據は、室に入れて黄色の芽を出した大根、或はキヤベツの色のない物を、光線のない處にても風通しのよい處へ置けば色がつく。

是も形なりに、エーヤ詩血が一番よろし。

又色素は光線ばかりでなく、大氣中に含める不明の物質と相觸れて又色素が出来ます。故に此の點でも夜の寝化粧は皮膚保護上必要であります。無論使用するものを注意するのは申すまでもありません。次に一寸したものは、

◎ハタケ 一種の菌の侵入による表皮の故障であります。カリ石鹼をつけ剃刀で剃れば直きに癒ります。

◎タムシ 是れも一種の菌であります。紅色の斑が出来て中央は褐色を呈します。痒みがありまして掻くため一層他へ擴がります。一般にタールを用ひますが、色を残す事があります。故、加里石鹼精を以て洗滌消毒し、二%リゾールオレフ油位を塗るのが一番痕を残しません。其の他は美容術欄にて説明いたします。

毛髮の卷

一、概 略

昔し御所の雀が、一丈もある毛をくわへて来たのを見られた天子様が、其の毛の主を尋ねさせられたらば、類ひ稀な美人であつたと云ふ昔語りがある。

毛は、人の身體保護に大切であるばかりでなく、美觀を添へる點に重要な働きをなして居ります。

毛は眞皮の網狀層に起つて居ります。皮膚に被はれて居る處を毛根と云ひ、外部を毛幹と云ひます。又毛根の下は毛乳頭と云ふのがありまして、血管や神經に連絡して居ります。

故に身體保護美觀等の働きばかりでなく、觸覺をも手傳ひます。河の流れが、どちらに向つてゐるか一寸目にはわからぬ場合、腕を水の中へ入れますと、すぐ其の流れの向きがわかる。

是れは俗に云ふむく毛の働きでありまして、脱毛薬等でむく毛を去りますと、肌の觸覺だけでは、ゆるやかな流れは一寸判り兼ねます。つまり此の様な働きがあるのであります。

毛には、硬毛と、毳毛とあることは人の知つてゐる通りであります。然して長短のあるのは無論であります。

元から云へば、毛乳頭から吐き出される毛になる材料？とが、毛囊の内で逐次形造られ、其の周囲には毛根鞘の様な保護する物があつて成育し、外へ出づるのを毛幹と云ひまして、これは髓質と云ふしん、皮質と云ふ體、毛質皮又は硝子質と云ふ外皮より成つて居ります。

毛の形は、ある部分、人種に依つて異つて居ります。殊に變つた形は鼻の穴の太き毛など、桶狀をなして居ります。

是れ等髓質には多く、皮質には少く空氣が含まれて居る。此の空氣の含まれる量の如何で色素に關係なく白毛に見える事がある。

日本人の毛は最も佳良、此の毛を四裂して西洋人のかつらの毛一本の太さとなる。

外國では、或る婦人は死刑の場合、自己の毛で顔を隠し得たなどと云ふ話があります。

外國で毛の長き見せ物がありました。精々四尺に満ちません。

日本では其の位のものほざらにありません。愚妻なども中年には立つて引つりました。五尺を超へた毛もあり、今七人の子がりましたが、四尺を超ゆる毛があります。

削り去られた云々 割れたり、裂けたり、切れたりして。

日本人の女の毛を勘定しました處、多きもの七万七千餘本、少なきもの六万二千餘本ありました。

目方は多きもの四百六十瓦、輕きもの百九十七瓦を経験して居ります。

毛の壽命は、二年と云ひ四年五年と云ひます。是れは外人の例を其の儘受け入れたものと思ひます。私の試験しました處に依りますと、日本人には十年を超ゆるものも多々あります。

毛は一尺五寸以上に延びますと、毛尖が月に一分より二分は自然に削り去られる様であります。是れを脂油に依つて保護しますと、驚く程長くなります。その人の質にもよりますが、彼の八丈島の婦人を見てもわかります。毛は思ひの外丈夫であります。私が前記の試験に細き白金線

下記の様な場合は筋肉の瘦削のため、毛根が突出して見えるのだ、と或る學者は云ひましたが、五分も突出し得るものではありません。

唐人の癡言に、一夜にして白髪三千丈、なぞと昔から云ひます。ありうちの事でありませぬ。

を毛に刺し透して置きまして、常に梳るにも拘はらず十年の長き日、傷く事なく保ちました。

毛は又思の外の奇蹟があります。私が卅二三年も前に解剖研究の爲め、尼さんの死骨を求めました處、死亡して四ヶ月ほど経つて、屍肉は腐爛して居るに拘はらず、毛が五分ほど延びて居たのに驚いた事があります。故に毛の事で婦人の苦にする程の障害はないと思つて差支へないのであります。

然し、精神感動には大變な事になる例があります。昔し、或る貴族の家で、婚禮の夜の出来事に吃驚して、一夜に殆んどカツラを脱いだ様に毛の抜けた例もあります。又嫁入前に、家庭の變革に驚いて、殆んど一晝夜に片側だけ抜け去つた例も持つて居ります。無論斯る毛は毛根障害でないから、直

毛囊筋の動きと、神経系統と相連絡したるものなるべしと、相當の大家の共同説でありました。

不乾性油 乾かぬ質の油。
甘扁桃油
椿油
オレフ油
胡麻油
の類、藥品欄参照。

きに生へて來た事は勿論であります。

二、毛の手入れ

毛は角質であります故、自然折れ、切れ、割れ易い、故に皮脂腺より必要の分泌物を出しますが、是れ丈けでは不足します故、相當補助手傳ひをしてやらねばなりません。

夫れには不乾性油を用ひる必要があります。然し此の頃は鐵物質のものが多く用ひられますが、日本人の毛には絶對よろしくありません。彼の眞中は黒く周圍の赤き人などは、硫動バラピンを以て偽造しある椿油を用ひて居られる方に多いのであります。

多い毛の方は少くも、二日に一回の補給的に髮油を塗つてや

外人は油をつけぬと云ふ人あれど間違である。生他へ塗つて居るのを知らなくてはならぬ。(ブラシにて)

彼の力士も髪を束ねて居る時と断髪してからは、束ねて居る内の方が延びが早い。東京でも下町で女の子の頭を四方チヨイ／＼と束ねるのは理想的である。

る必要がありません。然し一尺四五寸までの断髪及びオカツバならば、僅かに補給したのみでも十分、又補給せずとも皮脂腺の働きだけでも足りるのであります。

髪は梳くほど良い、一種の刺戟になります。然し外人ほど刺戟を興へてはならぬ。何故かと云へば、殊に皮脂の分泌は頭部に於て外人の幾倍を算するからであります。刺戟が過ぎると一層皮脂が過剰となり、毛根鞘炎を起し、ぬけ毛の原因、やにふけの原因になります。

毛は必要のない處へは生へません、額の擴き方などが夫れを隠すべく髪で被ふと、其の下には一層毛の生える必要を感じなくなる爲め、一層毛が薄くなる、薄くなるばかりでなく、生えて来ぬ様になつてしまふのです。

子を持つ親は、一寸見の可愛さから、いつまでもお下けにして置くと、子供が成人してから、生え際が悪くて悔む様な事がある。速かに髪はとり上げべきである。

下記の事は烏の羽毛を抜いてもわかる事である。

俗に云ふやにふけが出来る時、毛根の炎症を起し易い、抜け毛になり易い。

この意味に於て、少女のおカツバ、お下げは、悪い事と知らなくてはなりません。

毛を梳るのは前述の通り良い事であるが、逆に梳るのは最も悪い。毛は強きものであつて、其の毛の向ふ方へ引張れば、一吋四方で其の人の體重を提げることが出来るけれど、逆に引張ると其の四倍四吋四方でも抜けてしまふとの事であります。

故に相成べくは、梳く時だけは他人に毛の向きに梳いて貰ふ様にするか、自分でも精々心掛くべきであります。

毛に強い光線を當てると、反つて毛の根が弱る例がある。是れに就ては他日相當論據を備へて發表いたします。

毛を美しく保たんとするには、第一無理をせぬ事、第二清潔を保つべき事が最も肝要である。

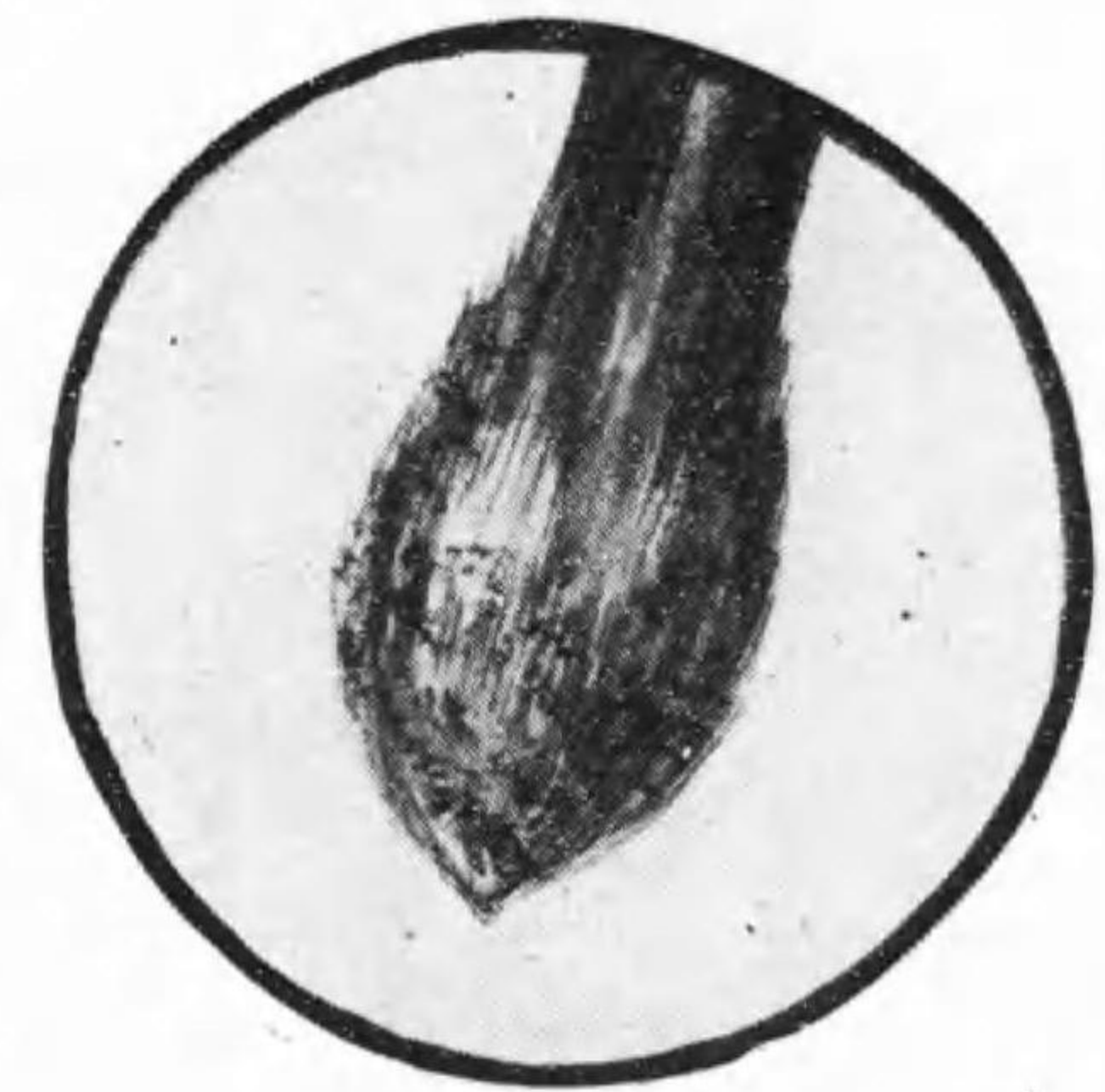
三、ぬけ毛。はげ

毛が弱いと云ふより、生えて居る組織がわるくなること云ふ方がよいのかも知れぬ。

健全なる毛は、前にお話ししましたやうに非常に丈夫のものでありますが、病的の毛は又驚くほど弱いのであります、其の内にも精神的のぬけ毛は最も恐ろしい、急速に来るのは前のお嬢さんの二例でおわかりと思ひます。
同じ精神的と申しましても、前例の如きは突發した一回限りのことでありますが、私の申します精神的ぬけ毛と云ふのは、俗に云ふ氣やみぬけの事を指すのであります。
ぬけ毛につきまして、私が、此頃迄に約四千人に就きまして調べた處を、素人に判りよくお話ししたいと思ひます。少しでも思ひ當る事がありでしたら、只私の幸ばかりでないと思ひます。

ます。

一般の方が、ぬけ毛で困る。今にも丸坊主になりはせぬかと



第一圖

氣狂の様になつて騒いで來られます。然して其抜毛について、私が嚴重なる顯微鏡検査の結果に依りますと、大抵は抜け毛ではない。然らばどう云ふのかと云ひますと、ぬけ毛百本中七十本以上は、

根元が小さく、スポツとしたのは差支ない毛。

引抜いた毛であるのには驚かされます。

右に掲げましたのが、其の顯微鏡の寫眞でありまして、ぬけ

毛の根元が、この圖の様になつて居るのは、毛の生へ替り、即ち新陳代謝に依る、自然の抜け毛であります、決して心配はありません。又

悪く無くてもぬける事がある

御承知の通り人に依つて、毛の数は相違いたしますが、假りに八萬本あるとしますと、數年後には、其毛の壽命が來て、自然に抜け去る。然して是れが二千日で抜け替るとしますれば、病氣でも何でもなく、日に四十本は抜け替つて差支ない。其の内には毛をすく時多少の無理もあつて、餘分に抜けるとして、日に六七十本位の抜毛ならば更に心配する事はないのであります。

然るに前に云ひました引抜いた毛と云ふのは、

無論年齢によつて非常の相違がある。

四十を越して百本、百二十本位は差支ない。

素人がこれは透して見ると肉眼にも、先端が幾分とんがつて見へます。下圖の下の方に棒を並べたやうなものは血球がついて居るのを見せたところ。

不自然のぬけ毛であります。



圖 二 第

左圖の如く、第一圖の根の丸いのと違ひ、宛も植木を無理に引抜いて小根が付いて來た様に、丁度尻毛の様に組織の一部が無理に引張られて抜けて來て居るのが見える。又甚しいのは血球が附着したのもあります。

の細か過ぎる爲に、引ッ掛つて抜けて來るのであります。然し是れは前に云つた様な、不自然ばかりでなく、毛の根を

挟んで居る毛根鞘(内外二様ある)の炎症、即ち毛の根を挟んで居る側壁がゆるんで居る結果である。故に其の儘捨て置くと薄毛になる。是れは非常に多い。

ぬけ毛と禿頭病の相違

素人の方は、禿頭病でないかと心配する方が多いが、吾々のやうに専門と興味で研究して居るものにはすぐ判ります。

上圖の如く、毛の根が腐つて抜けた様に見ゆるのが禿頭病の毛根で、顕微鏡で検査をして、一圖や二圖の様に根らしい物のついて居るのは絶対に禿頭

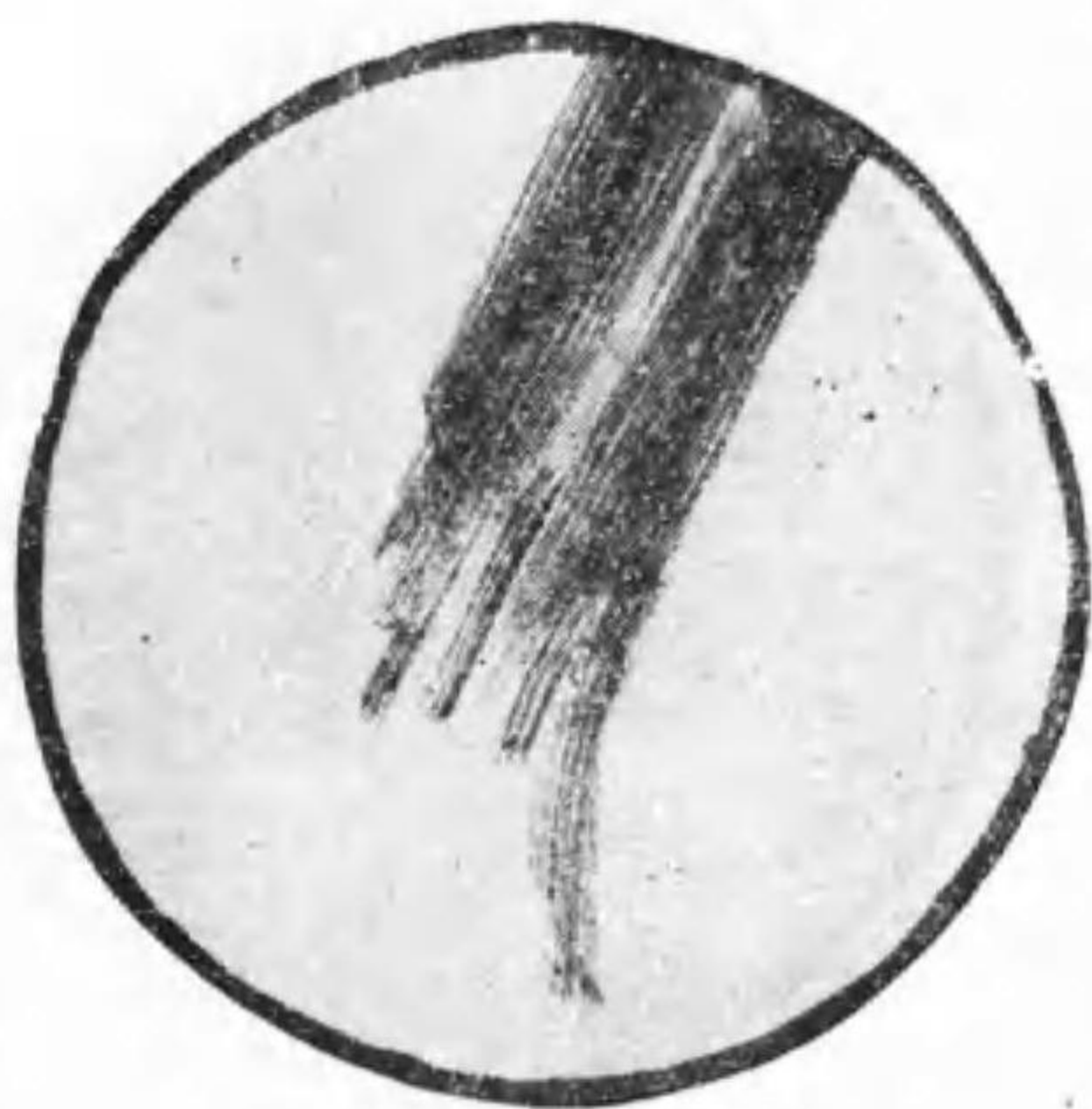


圖 三 第

毛はどんなに一時にぬけても、すぐ生へるから心配はいらぬ。

チブス其他の熱病も驚く程抜けるが、是れは身體が快復すると元通りになる、元通りにならぬ人は、ぬけると思つて洗はぬ人に多い、熱病後は殊に洗はねばならぬ。

病ではないから安心してよいのです。

然らば禿頭は安心出来ぬかと云ふと、症状さへ判れば安心出来る。普通の薄毛より早く治る位であります。

禿頭病と云ひましても、大抵圓形禿髮を指すのであります。

これは始め一點の禿點をいつか知らぬ間に生じまして、夫れのみで治ることがありますけれど、大抵はところ／＼に發生し、遂に相連絡して全部禿けて來るのであります。

單に頭が禿げるのみでなく、眉毛、まつ毛、腋窩、陰部まですつかり失くなつてしまふ事があります。

禿頭病の原因は、寄生菌であると云ふ説と、營養神經障害との二説があります。

私は、後者の強い主張者であります。其の出來始めに就て、

營養神經障害にせよ、業者は消毒を怠つてはならぬ。始めの出來立てには、氣がつかなくてゐて、或る時期に

は床やへ行つて發見せられ、又頭の毛を短くして来て、始めて發見する爲め、理髮店の「せい」にしまつて居るが、是れは冤罪と思ふ。

自分でバリカンで刈つて居る(御料林の人及び炭やき)にもある。

下記の事は私の経験で、學說的に決定せられたのではないが、私は何處迄も信するものである。

私は面白い經驗を持つて居ります。夫れは、信州木曾の御料林の監視で、半年も社會？と交際のないものが往々圓形禿頭にかゝるのです。

是れと同様に殆んど理髮師の御厄介にならぬ福島縣の山の中の炭焼人が矢張り禿頭にかゝる事があります。

是れ等を檢べると、必ず朝露でも浴びてぞつとしたあとに出来る云ふのであります。

十數年前、習志野の聯隊で、一中隊殆んど禿頭にかゝつた事がある、然るに他へは全然傳染しない、是れ等もよく檢べると行軍の際、ぞいつと寒氣がして歸隊したらば皆出來て居たと云ふのであります。

釣のすきな人が川の中に立つて釣を始め、是れ等の人達を

子供には圓形禿頭は妙いと云ふ事になつて居るが、非常に多い、然し目に立たぬのは回復力の速かなると、意に止める事が多い爲め、精神感動的のぬけが伴はないからである。私は斷定したい。

しけ 濕氣。

私は突發的の禿頭に、やれ電氣、やれ光線と、つつつかぬ方が成績が良い様に思ふ、只さへ神經が驚いて居る處へ色々の事をして習慣的？續發的？に來るのでないかと思はせられる事が度々ある。私の知つて居る人に三年も光線をかけて居る人がある。斯うなると少しも効がない。下記は汞中毒である。

檢べて見ると、必ず三分の一は、一度は圓形禿頭に罹つて居るのであります。

又小學校の先生達や校醫さんに注意してゐて欲しいのは、小學生に随分澤山ある、是れが必ず遠足で雨に逢つたあとなどに多く出來るのであります。

科學的には何と云つてよいか、俗語で云へば、しけを引き込んだと云ふやうな場合に極めて多いのであります。

故に榮養神經ばかりでなく、單に末梢神經の驚きが大いに手傳ふのではないかと考へられるのであります。

既出來て居る人に、醫家が昇汞のやうな藥劑で消毒するものは、%にして三分の二までは患部のあとが白髪となる、他の消毒劑には殆んど白髪になるのが尠いのであります。

話が少し片寄つた故、後戻りをして、
抜け毛の大半は、前にも説いた通り、ぬけ毛でなく、ひんぬ
き毛とも云ふべきものであります。

髪結さんでも、素人でも、とかく手に癖がある故に、若し非
常な抜け毛であるな、と思ふやうな場合は手を換へるとよい、
面白い程に抜毛が止ることがあります。

櫛も替へるとよい、頭髪地は非常に敏感のものであるゆへ、
一寸の變化、一寸の變つた事が、非常に良くも、悪くもひどく
のである。變つた事と云つても毛の根が驚く程の變つた事はよ
ろしくない。梳き方とか、香油の香とか、櫛、ブラシの當り工
合ぐらゐの代り方がよいのであります。

抜毛に就て、「私は無理をさせぬが、まだぬける／＼と云つ

手は換へても結び振りを變
へても、既に毛根に炎症を起
したものは、数日の間は炎症
が残つて居る故、十日や十五
日の経過は待たねばならぬ。
此のやうな自然療法が毛に
は一番よい。

身體の病氣でも、それ運動、
それ何と急激に變ずるのはよ
くない。

然し又事と實に依つては急
變を必要とする事もある。
轉地療養など凡てが急變し
ないと効かない。

此のやうな精神的ぬけ毛の
人に、検査の鏡面を見せてや
ると安心する、毛には殊に其
の症狀を判る様に見せると、
治療より効果がある。

精神的の不安は極めて悪
い、是れを去れば結果は良い。

お世辭に、ほんとにまあ奥
様困りました、などの合槌は
禁物である。

成分 毛になる材料、毛の
やうな有機質の多いものは其
成分についてはつきり云へぬ
けれど、大切のことである。

て来る。検査すると何でも無い。またぬけますと泣く、斯の様
な人には、検査を見せて、此の通り完全でないか、勝手にしな
さい、と突つ跳ねて怒鳴ると、すぐ抜毛が止まつてしまふ、き
つと止まるのであります。

何となく不安が毛にひびく事が多いもの故、此の點は實際を
よく調べた上、確乎たる信念を持たせる事が、業者は大切であ
る。成る程／＼と毛も調べず同情したやうな、ぬけもせぬのに、
ぬける様な裏書をするやうな事は慎まねばならぬのであります。

四、ふし毛。抜毛。さけ毛

も婦人の苦にする處である。是れは毛の成分の不足が大部分
災をなして居る、十二分の成分ある毛は是れにかかる事が少い

此の裂毛症と砂毛の事で、今獨逸の學者が大喧嘩をして居る。同じだ、いや違ふ、絲狀菌だ、營養障害だと云つた様な事である。

毛の成分の不足は身體に迄災ひする。

榮養學者の御指導を受けた
いと思つて居るのは、毛に對する榮養物である。

のであります。

ふし毛 裂毛症とも云ふ、榮養の部分的障害であると云ふ説と、過度の刺戟を受くる爲めの傷害であると云ふ説なぞ色々あります。

眉毛で例を引いて見ても、日本人は眉の目がしらよりの方は完全で、中央より眉尻にかけて半分薄く飛んでしまつて居る人が大部分である、此の毛を検査すると、皆裂毛症の痕跡を止めて居る、又婦人の長い毛を検査すると、ふし毛の處どころ未だふし毛になつて居らぬ部分に、反物で例へて云へば、織むらの様に組織の缺陷が見ゆるのです。

是れは榮養の障害から來る事に左袒する。

私は自慢ではない、御婦人が見へる、美容術屋なるが故に、

俗語で云へば。

口では云へない、何と云ふべきか、直感でない、何か理由があると思ふ。

今時そんな事があるべきでない、只三十年の經驗は口では云へない直感もある。

以後は私一人の考へである、誤つて居たらば御指導を願ひたひのであります。

何處の何兵衛様の御夫人と名を尋ねない、露骨に云へば何處の馬の骨だか判らぬ方に、あなたは子供がないであらうと云へば、屹度ない。
毛を検査して、あなたは女の子ばかりでせう、と云へば、屹度そうであるのであります。

北原は狐を使ふのなんのと、評判になつた事があります。是れは毛を検査すると、大抵判断のつく事で、先覺者の御指導純學理に就てを受けたのもこれでありませう。

ぬけ毛、又は毛の量の少いのに就て、前に述べました榮養神經障害、殊に毛の榮養障害ほど毛に對して恐ろしいものはないと思ふのであります。即ち毛になる種が無い事になるので、割

け毛の原因を調べ、毛が生へて来ないのを見、切れ毛となるのを見ても、割け毛、枝毛となり、毛の質が脆くなるのを見ても、毛の成分の不足？と思ふのであります。

毛に成分の不足は身體にも不足

であると思ふのであります。

毛ばかりならよろしいが、毛に此様に成分の缺乏、殊に無機質が缺乏して来ると、自然身體にも肝要のものが毛も角質表皮も角質である不足して来ると、顔も汚く、手足の外観も醜くなると思へます。

はなはだしいのになると、毛に成分が足りなくなる様では、女として大切な子種が出来なくなつてしまふものと私は長く考へて居るのであります。

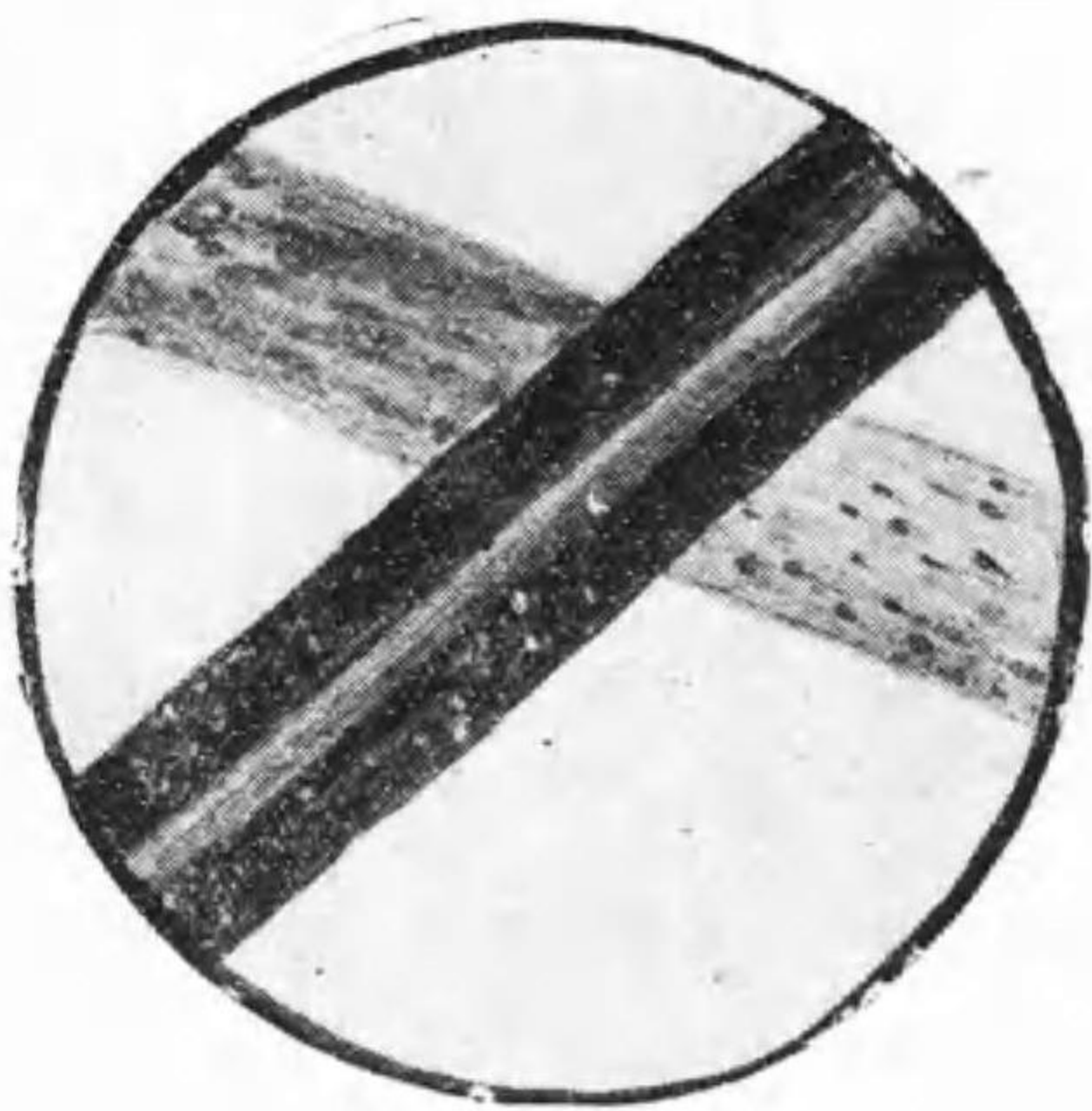
或は是れと反對に身體に缺乏する故、毛にも缺乏すると云ふのが至當かも知れぬ。

子供の少ない方の毛は、膠質ばかり必らず多い、伸張力ばかりで、はりが無い。

女の兒ばかり産む方の髓質は必ず細い、毛の横断面が緻密である。

無機質の多い人は、男の子が多い、是れは胚子の學者が注意して戴きたい。又御指導を受けたい研究して欲しいのであります。

下記の理由で、昆布は毛に良いと云つて、其の質即ち膠質ばかりは駄目である。



第四圖

上圖は黒いのは成分の完全なもので、普通の光線を通し難いもの。薄く其の下に見えるのは成分の不足？の毛である。(子のない人)で前にいふ如く、全然必要の成分の不足から推想出来るのであります。

故に、療法と云ふより、毛に就てはあらゆる雑食をもし、あらゆる原素を取り入れる様にするのが肝要であると思ひます。

五、ちどれ毛。くせ毛

ちれ毛は、毛の形が違つて居る。

染めながら、くせを治すもの。

くせ毛直しに、

桐・桑・甘草

等の煎汁を用ゆるが、効がない。薬品欄参照。

草木の煎汁でも粘りあるものは反つてよい故、用ひて差支ありません。

カルチウム注射で毛の質が變ずるのは容易でないが、食物に依る補給は三週間も経ると明らか(顕微検査で)に見える、逐次黒き強さが笱の延びる様に毛幹に上つて行く。恐ろしい程効がある。確定學說でないが、男の子の欲しい方は氣をつけるがよい。

ちれ毛は、病的とは云へぬと思ひます、人に依つて毛の形が違ひますものゝ一種と考へます。

くせ毛は、身體の故障?の爲め、或る時期には毛の成分が多くなるため太く、或る時期には成分がないので細く形造らるゝ爲め、紡錘状を重ねた様に規則正しく、太い、細いが出来る爲め、腰の弱い處でくせがつくのであります。

是れまで、現時も、理髮師の用ゆるくせ毛直しは、

生石灰

アルカリ

酸化鉛(密陀僧)

の混合物である爲めに、カルチウムの作用にて一時、毛は硬直するも、其の成分の散ると共に元通りになり、尙ほカルチウム

の硬直作用の爲め切れ毛となる事がある、斯るものを用ゆる場合は、一時に手際を見せ様とせず、幾回にもくせに緩和のものをを用ゆべきであります。

是れ等のものは成分の缺乏しない様に氣をつけなくてはなりません。素人でわからぬ事は前に云つた様に雑食と、色々の原素を採取する必要があります。

六、白髪

しらがの元因は種々あります。

一は全然色素の缺乏せるものと、一は毛質中にある空氣の氣泡が多量となつて、其の氣泡が相反射して白く見ゆるのであります。

よく飲み薬で白髪の治るなどと云ふ事がありますが、私は全然認められません。

地黄 婦人用の煎じ薬などによく入つて居る漢法薬。

然し昔から云ひ傳へらるゝ、地黄と大根おろしを同時に用ゆると白髪になると云ふのは、實例が幾つもある事でありませぬ。心配すると白髪になるなどと云ふのは、頭を使ひ過ぎると毛囊筋の過度の働きを起す爲め、毛體中に空氣の浸入多くなる結果であります。常に頭髮の地へ適量の油を用ひて居れば、此の白髪は防ぐ事が出来ますが、色素の缺乏せるものは原因が一寸判りません爲め説明の仕様がありません。

七、洗 髪

洗髪には、舊來のものでは、

- 一、うどん粉、ふりの合劑
- 一、鶏卵、又は油かす、洗粉

新らしきものにては、

椰子の如きオイル、石鹼質

等であります。

髪を洗ふと抜けると心配して洗はぬ人が多い、是れは大變な間違であつて、髪を抜けるものは大抵毛根鞘、及び毛根の炎症に屬するものが大部分をしめて居るのであります。

度々云ふ如く、身體の外へ排泄するものは、皆死毒を含んで居る、これの中毒で抜けるのが多い故、肌を美しく洗つて置けば、美しい毛は續々と生へて来る、然るに洗はぬとふけをため、垢をため、脂肪酸の害で抜け毛が一層殖へるのであります。

髪洗粉と云つても、大體、アルカリ土類である、即ちあくのある土。

毛の生へかゝりは弱いものである、此の時醗酵させたり熱を持たせると、新生せる毛が腐つてしまふ。

髪形の昔流の大ひさしなど、頭の真ん中は五十度にも熱高くなつて居る事がある。

成る程毛は洗へば一時は抜ける、然し此の場合に前に云つたやうな逆梳き、引つ張り等がなければ餘程ぬけるのが尠いのであります。

又七分通り抜けかゝつたものは、どのやうにしても止まるものではない、故にぬけもするが、洗つたあとは決して抜けないのです。

電信柱が半分腐つたとき、其の部を削つて防腐劑を塗つて置けば永く保つ、然し削つたらば細くなると捨て置けば腐りは一層深くなり早く倒れるものです。

これと同じに、抜けるものは抜けさして、あとの生へるのを成育せしめた方が賢明であり、且つ良き毛が生へるのです。

洗ひ方は、何れでも大同少異であるが、氣をつけなくてはな

下の理をよく玩味された

い。一日百本ぬけるものとして十日に千本である。

然るに洗ふと二百本も二百五十本も一時にぬけても、あとが二十本か三十本よりぬけぬ故差引き五百本助かる事になる。

乾かすと切れ毛、折れ毛になる、櫛の齒も引つかゝり易い。

割け毛も、毛尖が乾く爲めに弾力質が失くなつて割け込むのである。

オイル油

らないのは、毛幹を乾しきる事は禁物であります。

外國人のやうな毛ならば差支なければ、日本人のは膠質分が多い、此の質は乾燥を忌む故、昔から洗髪後、油を、ぎをして來たのであります。

オイル洗髪は良いが、他の洗髪は方法の如何を問はず是非濡れて居る内二三滴のオイルを附與する事を忘れてはなりません。洗髪の材料については一考を要する事があります。

一般に髪を洗ふと云ふ人と、頭を洗ふと云ふ人があります。

これは、頭を洗ふと云ふのが理由であつて、前にも云ふ如く、新陳代謝によつて排泄せらるゝ死毒中毒を去るのが目的であるがため、頭の地の俗に云ふ「やにぶけ」を洗ひ去るのが目的であるので、毛のみ洗つて後ち頭の地を指爪でかいて、爪にぶけが

毛の油が取れすぎると赤毛となる、又切れ毛、折れ毛、枝毛、等は皆油の切れた處から傷つき始める。

全然洗つてはいけないと云ふのではない、或る時期には矢張り不潔物を洗ひ去らねばなりません。

乳脂化して垢汚を取り去る丈けならば、是れに過ぎたものはない。

つくやうでは何の役にも立たぬ事となるのであります。然るに一般の人は此の理をわきまへず、髪を洗ふ材料のみに苦心するが是れは間違ひであります。

今一度くどく云ひます。髪は殆んど洗ふ必要がない、洗へば必要の脂油が取れ去る爲めで、毛の外皮に傷つき易い、故に頭の生地を洗つて其のついでに毛の垢がとれ去る程度の事が、肝要であります。

故に石鹼のやうなもので、汚いものゝ地についたのを洗ひ去り、それをそゞぐ程度が一番よろしいのであります。

日本在來のうどん粉、ふのりは、毛の爲めには最もよろしいものであります。

日本人の毛は、世界でも誇り得る良い毛なのであります。何

故、其の様に良いかと云へば、昔からやつて居る手入れが良かったと云はねばなりません。

昔からの良い手當といふのは何かと云へば、今のやうに鑛質のボマードや鑛物油をつかふやうな事なく、純粹の植物油であり、植物性のびんつけ、すき油等で保護に保護を重ねた結果であつて、又一面良いにはよいに違ひないが、扱て毛の根を保護し得られたかと云へば、確たる答は出来ません。

今でも、京都方面の昔流に洗ふ事の少い方は、長い毛は所持して居ても、數を勘定すると、一割五分乃至二割は數が少いのであります。

又頭を爪でかくと、如何なる人でも爪にふけの垢がつく、此の様なもののがたまると、若き毛を大分腐らせ去るからである

餘り長くて、毛の數の少いより、結び得らるゝ程度で、數の多い方がよい。

が故に、洗はぬくせを改めて、成るべく洗ふやうにせねばなら
ない、洗ふのには必らず頭の地を洗はねばならないのでありま
す。

と云ふやうなわけ故、毛を洗ふ材料に、

鶏卵

などを用ゆるのは間違ひであります。

何故かと云へば、素人の方は、毛を卵で洗へばつやが出るで
はないか、と云はれますが、此の艶のあると云ふのは、よくよ
く検査しますと、卵の分子の膜が、毛の上に薄く残つて居て、
光りを發して居るのを發見する事があります。甚しいのになる
と、殆んど卵の膜で取り巻いて居るのがあります。

此の膜が残りますと、頭の熱の爲めに醗酵しまして、裂毛症

地をも洗ふべき處へ、毛に
此のやうな膜の残るのは、毛
の爲めに悪いのであります。
下記の理由を見られたい。

別圖の如く、毛の一部分が
熱の爲め膨脹して破裂する、
無論是れは毛の營養が不足し
て居る毛に出来る事が多い。
注意しなくてはならない。

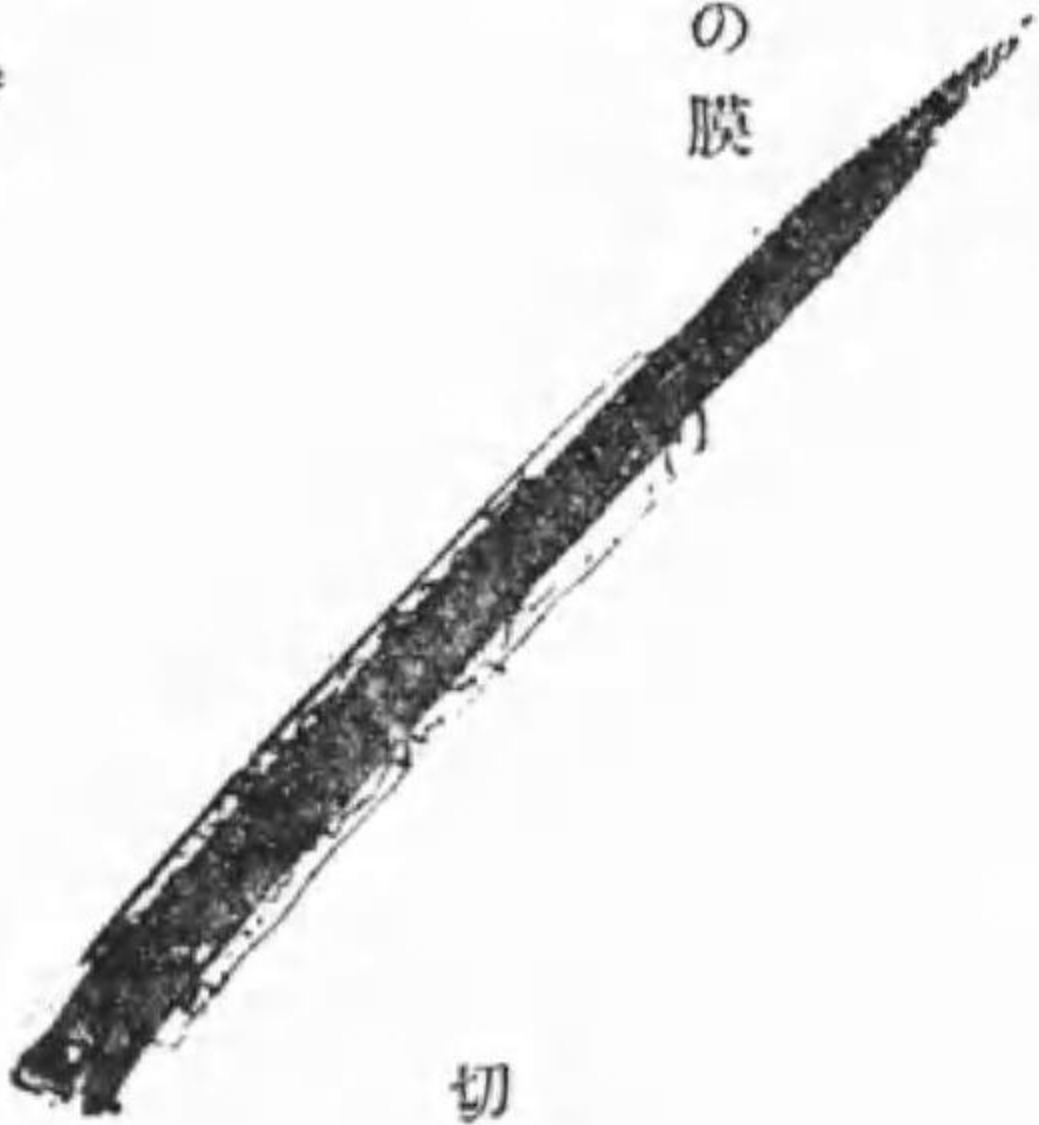
外國では、粘りある洗髮料
には必らず其の粘りの足を切
るものを入れてある。日本の
ふのりにうどん粉を入れるの
も粘りながらも其の粘りの相
違するものを入れて、自然に
纏絡する皮膜を造るのを防止
するやうに出来て居るのは、
實際的に古人の要意に感心出
來るのである。

うどん粉、ふのりの様なも
のは、毛だけを洗ふ力よりな
い。

になる事が多くあります。

洗ふべき時にはすべてのものを
一時洗ひ落して後、新たに保護
(油でもつけて)すればよいのを、洗
ひながらの悪い汗? 汚い汗? も付
きながら、此の様に膜を残す様な

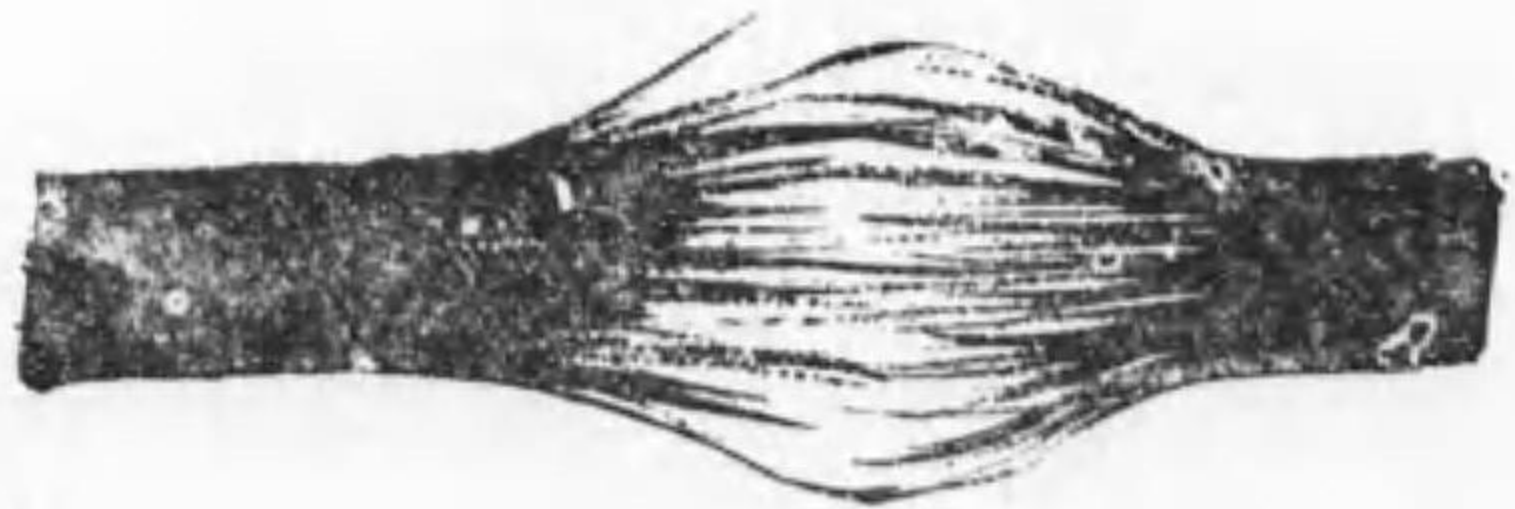
卵の膜



切れたる眉毛



普通裂毛症





事をしますと、微菌の餌があります為め、色々の菌などが附着して、毛の疾病を引起します。

砂毛 と稱すもの、即ち毛の一部分に白き玉子の附着したやうな毛などは、美しく洗つて居る毛には、絶対つきません。必ず傷が一寸でもあるか、洗ひ方の十分でない毛などに出來るのであります。(二寸見に虱の卵と間違へる事がある)

何れにせよ、毛を洗ふと云ふより頭の地を洗ふと云ふ意味に洗ふ事、餘り毛をもみくちやにしますと、一部の傷がやがて切れ毛、枝毛の原因となる事を知つて置かなくてはなりません。

洗髮料として、乳脂化して垢汚を取り去りながら、幾分の油分を残す、椿の絞りかすなどはまづ理想的のものである。幾分は生地垢をも去り得らるゝからであります。

業者は手際よく、早く美しくする必要上、どうしても石鹼質のものを用ひねばならぬ。故に用ひたあとの油を、ぎは一層必要である。

樹脂でも造つたのがあります。

油、其の他、皆藥品欄にあり。

アンモニアの爲め、鼠色に毛が變ることがある。

現今、業者の用ゆるものは、軟石鹼に屬するもので、綿實油、蠶のさなぎの油、大麻油等の安價なるオイルを硬化せしめたものが多いのであります。

是れは洗髮、洗頭には良ひに違ひないのであります。少し落ち過ぎ易くあります故、其の後少量の油を即座に用ゆる事を忘れてはなりません。

ドライシャンプーは、アンモニアにペー葉丁幾を少量加へたものなぞありますが、日本人の毛の色を悪くする事があります。

椰子、其の他のオイルシャンプーは害はありません。

八 染 髮

昔から、若く、氣力あるやうに見する爲め、染髮したる例は、

齋藤別當實盛なぞ好例であります。

ゲンチヤミン

近頃賣品としての染髮料、又た營業者の用ゆる染髮料の大部分は、

明治四十年頃、此の化合する場合の毒素を發見しました、

其の時はまだ私は青書生であつた爲め、誰れも耳を借さず、間もなく獨逸で禁止せられました。

是れは素人の用ひんとする人、業者が客に用ひんとする時、腕の内側の柔らかき處へ塗つて一夜を置き、何等の作用なければ安心して用ひてよい。

ハラフェニレンチアミン（ゲンジヤミン）の過酸化水素との合劑であります。

是れは最も輕便であり、且つ染色もよろしけれど、其の人の素質に依つては、甚だしきカブレの出來る事があります。其の結果、腎臟其の他の故障を起し、生命にも關係した例もあります。故に賣品として必らず商品の横に赤字を以て醫藥用外の劇藥であることを標記すべく規定されて居ります。

是れは何人にも中毒するのでなく、うるしにカブレる人とカ

ハラフェニレンチアミンのみではカブレる人も發疹しない。

ブレぬ人となる様な特質であります。

其の中毒は其の合劑の酸化する時發生する瓦斯が毒作用あるものと明治時代に私が發表しました處、外國でもやはり其の後同様の發表を見ました。

故に只今では外で色素を構成さしてしまつて、瓦斯の發生しない様にした品も賣られ、輸入されて來ましたが、染付き悪いのであります。

今では其の様な事もないが、兎角お醫者さんが、化粧品知識に乏しいのは困つた事で、此のフェノール物質の中毒に對し、炎症甚だしく重症の濕疹のやうになつた患者に、硼酸水の温巻法を施させた爲め一層劇しい中毒を起して、すんでの事に死にかゝつた人の例があります。

お醫者さんへの注意、素人も知つて置く事。

化學の知識は何人も必要である。次のことを御覽なさい。

染めても、酸化の足りない分子は茶色の粉になつて残つて居る。

二度焼け 火事で焼けて持出したものに、火がついて二度火事に遇つた不用意に對する俗語。

濕疹は洗つたり摩擦すると一層殖えるが、白髮染の炎症に限り石鹼で洗ふ事が必要である。何程良い石鹼でもアルカリがある爲め酸化を防ぐ。

前述の如く、其中毒は酸化の際に生ずるものであります故、残りの分子に、硼酸の罨法を施した爲め、何程弱き質とは云へ、硼酸は酸性の爲め、只さへ炎症をおこして居る處へ、二度焼けの意味となつたのであります。此の様な例は頗る多いので、醫學校でも此の方面の智識をも必要と思ひます。

若し炎症を起しましたらば、直ぐ様石鹼で顔を軽くよく洗ひ、只の水の冷罨法と、炭酸水の如き排泄を促すものをどん／＼呑んで、じつとして寝て居れば、必ず兩三日で治りますが、無理に濕疹の療法を施すと一ヶ月又は數ヶ月もかゝる例があります。

九、鉛の染髮料

生石灰 酸化鉛

密陀僧 十數年以前、或る處の床屋さんが是れで染髮して、石灰の量が過ぎて丸坊主となつて、其婦人が悲んで死んだと云ふ新聞を見た事がある。毛根が損するのでない故、すぐ生ゆるを以て、此の様な事があつても、死ななくともよい。

理髮師がくせ毛直しとして用ひて居りますのは、

酸化鉛、燬性石灰、苛性加里

の合剤であります。ちいれ毛欄に述べました通り、くせ毛直しとしては、生石灰の分子が効くのであります。是れは色もよく染りますが、又鉛の中毒を起す例が多くあります故、餘り用ひない方がよいのであります。

十、植物金屬合劑

鐵漿 田舎ならばおはぐろを用ゆ、都會ならば一半鐵液。

五倍子 ふしの粉 何れも煮煎しうどん粉の如き粘りあるものを加へ、膠着し易からしめ十時間以上經て洗ふ。

昔からある、一夜手拭を被つて染めるものは、

鐵漿 (おはぐろ) 單ニネ類 (五倍子)

の合剤であります。是れは手間取れる點、染付に厄介なる點等の缺點はありますが、安全のものであります。

然しかゝる性質のものは、バラ色素の様に早く一度に染着すると思ふと考へが違ひます。始めはほんの銀色に染まり、二三度繰り返す内、ほんとの良い色に染り、其の後は造作もなく染着します。又外國には。

此の様なもので、外國へ金貨を運び出す必要はない。

ヘナボウターと稱する無法に高價なるものがあります。是れは、

マンゴー

と稱する果實の皮と鐵との合劑で、要するに、日本に昔からある染髮料の同工異曲のものに過ぎません。

又田舎では、

胡桃の皮におはぐる(鐵漿)

を加へて染めて居る處もあります。

くるみの固い皮ではない。其の上の青い外皮。

十一、金屬質

金屬質のものでは鉛に硫肝、銀に硫肝又は焦性没食子酸等の合劑があります。何れも日本人の髮色に適當する色は出し得られません。其の内で硝酸銀のものは、或る程度まで黒くはなりません。灰色味は矢張り附随しますから、街路などでは、すぐ、ははあ、染めたなと感づかれます。

十二、脱毛

脱毛法には、電氣と藥品とがあります。

イ、電氣脱毛

はホルトを低くし、アンペアを多くしたる電流を通じ、一部は

下記、藥品欄にあり。
銀 水銀劑の事。

濕點を皮膚に、一部は三稜針に通じて、毛根を分解せしむるのであります。

一度施術すれば、其の部は再發せざれど、毛の生ゆる性質として、一部が破壊すれば、其の傍へ又發生する爲め、春秋の筆法で云へば、無駄の事であると云ふも過言でありませぬ。又痛みが甚だしく、何十本何百本のひげ等に出來得るものではありません。

ロ、藥品脱毛

藥品脱毛は、硫化物で毛を破壊するのであります。又破壊するのみでなく、變質薬を加へて、毛の再發を防止する方法を講じたるものもありますが、是れは皆秘密にして他に知られぬやうにしてあります。

藥品欄にあり。

ひげの形を造るとか、眉の形を造るとか、病的の毛を取るに用ゆる位のものであります。

爪の巻

爪は、往昔は自衛の道具に用ひたものでありまして、猫の引搔くと同様な武器であつたのであります。

毛がある程度まで延ますと長さが止まると同様に、爪も一月一分位成長しますが、矢張り或る程度に至りますと延びが止ります。

この爪も、毛と同じく表皮の變形したものに過ぎませぬ。

爪の根は、皮膚のひだに被はれて居りまして、表皮が乳頭組織の働きで出來ると同じに、乳頭層の特殊のはたらきが爪を養ひ、又其の生長をなさしめて居るのであります。

ピルマ、其の他で、爪の長いのを長者の印として威張つて居る處でも、二寸位が最長とするさうである。

事新らしく器械で磨くなど
と新聞雑誌に此の頃出て居り
ますが、私共は既に明治四十
年頃から器械で爪を磨いて居
ります。

爪は最も人の目につき易いもの故、常に美しくして置かなく
てはなりません。單に美しくして置くのみでなく、其の肉と爪
との間には、垢がたまり易く、従つて細菌を保護し易い故、美
しくして置かなくてはなりません。

一、爪の磨き方

爪を美しくするには、常に磨き込む事が必要であります。外
國では、無暗に外國を並べる人がありますが、日本
でも大昔から爪の磨き方は相當進歩して居りまして、彼の
さなど、今日では外國へ爪磨き料の好適なるものとして輸出せ
られて居る位であります。

爪の形は、無暗に先きを尖んがらせる事が流行して居ります

一度歐洲の上流家庭に入つ
た人は知る。

が、あれは米國式でありまして、英國、佛國の上流ではヤンキ
ー式として卑まれて居ります。形は別圖で参考せられたいのであります。



甲 米國式のもの



乙 英國式

巴里あたりにも、甲圖のやうな尖んがらせの形をして居る者
も澤山ありますが、東京で云へば意氣向き、悪く云へば道樂者
向きでありまして、角帯を腰の横丁へしめる手合のする事であ
りまして、矢張り乙圖の如きが適當であります。

其の方法は、

○先づ爪を湯に浸す、然して爪の柔らかくなつた程度で拭ふ。

正式の美爪法は殆んど傳は
つて居ない、殖民地式の事ば
かりである。

掃除棒は、角のものは體裁よろしけれど、楊柳の柔らかきものを最上とす。

過酸化水素は漂白する力が濃厚であるが、爪體を死滅せしめて黄色にする事がある。

握手の際、角のあたるは失禮とし、且つ日本で云へば土百姓式に見られる。

下記の爪縁を美しくする爲め、爪際のおれたのを起し上げるのである。

- 掃除棒に綿花を細くまき、湯に浸し、爪際を掃除する。
- 此の際過酸化水素を用ゆる事がありますが、其の場合は七八倍に稀薄する必要がある。(上記の理由)
- 爪の形を造ると共に爪の角の指頭の硬化して居る處を切り去る。
- 爪の縁を美しくする 是れについて注意すべきは無暗に爪際をめぐり上げ起す人がある。夫れは日本人にもある爪際の岸の美しさと同じものを造る爲めに、起し上げるので、此の美しい岸縁があるのに起し上げて居るのは、



爪磨粉は
鹽化錫
タルク
亞鉛華
の合劑が良い。

原因は外にあつても

琴柱に膠すると同様である。全然意味をなさないのであります。



これはあつた方がよいのである

- 爪起しで以て周圍を形よくしたならば、爪磨粉をつけて磨擦器で磨擦する。
- 此の磨擦は強くコスルと、爪炎を起す事がある。爪體は毛と同じく硫黄分多き爲め、摩擦によつて甚だしき熱を起し易い爲めに、刺戟過度となつて、癩瘡となる例がある。爪に癩瘡が出来たら、爪磨師が下手であつたとして、歐洲では二度と其の技術者にかゝらない。

ラックを塗るのも下品として紳士淑女はしない、磨き込んだ日本で云へば素足の美しさと同様で良い。

- 始めて磨く人は、一度に美しくしやうと思ふと、炎症を起し易い故、二三度は氣をつける事である。
- 磨き上つたらば、一滴のラックを塗り置く。
- ラックを塗る前、カルミン紅を以て爪際に差紅をする、日本紅であるとな色が變り易い。

美容の藥物

持藥 此の藥は身體に適合すると云つて、常に絶へず用ゆる藥。

寒暖計を造る職人が、水銀中毒に罹るも同じである。

彼の火事のありたる時、火は已に消え去つたのに、まだポンプにて水を送つたらばどうでありませう。又火事を恐れて、火事のないときに家に水を注ぎ居たらば、人は何と云ひませう。人の評は扱て置き、水を注がれたる家は何か、火事に遭遇したると同様に破壊の運命に陥ります。

日本人は藥物に對する感想をまちがへてゐる事があります。彼の持藥と稱するものなど其の一例であります。

化粧品と一概に云ひますが、皆是れ一種の藥品であります。藥品とすれば毒藥もあり、劇藥もあり、尋常藥もあり、彼の俳優、畫工等の鉛毒に罹るなど、是れ亦た一種の劇藥の中毒なのであります。

凡て治療にせよ、藥品にせよ、効力があると云ふのは、其處に何等かの變化の生じたのであります。是れをよく記憶せられたいのであります。已に變化を來すと云ふ。故障が去つたならば、是れを繼續してはなりません。

人は病、及び自己の容貌等の缺點に對しては頗る弱きものであります故、未だ病氣に罹らない先に合ひ藥とか、持藥とかを、常に用ふる人があります。是れは火のなき内に水を注ぐと同様の愚を學ぶものであります。重ねて云ひま

用心に備へた兇器にて、反
つて傷けらるゝと同様の愚を
なす例多し。

人に依つて薬の効き方も、
又毒になる事も皆相違する、
是れを特異質と云ふ、前色々
の處に説明あり。

すが、何等かの故障ありたる場合、効能があつたと云ふのは、變化のありたる
事でありませぬ。何等故障のない時、變化の必要は決してないのであります。

凡て薬品を用ふる場合は、杓子定規ではいけません。又薬品、其のものに依
り定むべきでもありません。對手の状況により、變化使用すべきであります。

殊に薬物に對しては、人に依り其の薬物に堪ゆべき質と、堪ゆべからざる質
とがあります。是れ等は最も注意を要します。是れを特異質と云ひます。説明
すれば、某甲には何薬が適したる故、乙嬢にも同様と云ふ譯には行きませぬ。

其の人の體質に依つて、甚だしき相違があるもので、簡略に云へば、漆にかぶ
れる人とかぶれぬ人とあると同じであります。薬品にては、アンチピリンの如
き、サリチル酸の如き、甲に何等の副作用なくして、乙に薬疹(薬の中毒の爲
めにあざ及び發疹等が出来るもの)の出来る事でありませぬ。斯る例多きを以て
甲に良好なればとて、必らず乙にも良しと極め込んではなりません。

尙ほ薬品は他に効力あるもの多きも、本書の目的として、美容に關する以外
の効用は、これを省きました。

1、イスランドモス

イスランドモスは、一種の苔にして、一般販賣しをるものは、本品の乾燥し
たるものであります。

本邦人はまだ使用せざれど
粘滑料としては相當良好なる
もの也。
歐洲、殊に佛國にありては
洗髮料の配劑となす。

本品は苦味あるを以て、苦味劑として用ひらる。是れを洗滌して苦味を除き
たる粘液を歐羅巴にては、水クリームとして美顔用に用ひらる。本邦にては殆
んど使用せられませぬ。

2、イヒチオール

本品は壕洲にて採取する燃土鏝(魚類海獸等の化石)より種々の操作に依つ
て造り出されたるもの。其の作用は吸収を促し、分泌を減じ、血管を收縮せし
むる等の効あるのみならず、制腐力を有し、角質の増殖を催進するを以て、
皮膚の炎症濕疹等に缺く可からざるものであります。

3、イリス根

イリスは、日本の菖蒲に似たる花、及び葉を有し、普通民間にて、獨逸菖蒲
と稱するは即ち本品であります。

現時は日本にて優良のもの
製出せらる。(平澤氏イヒチ
オール)

本品を洗粉となしたるもの
は、普通メリケン粉にて造り

たる洗粉の如く皮脂栓を作る事なし。
日本にても古來澤庵漬の尻尾を嚼ましむると同様。

イリス根は、本品の根にして、一見本邦の、ヒネ生薑の如き形状をなす。是れを採取し、其の外皮を剥ぎて乾燥したるものです。
本品は、芳香佳快にして、莖のやうな香を發します。粉末となし、其の香氣を利用して粉粧品の基礎をなす事多く、殊に洗粉の配伍料として最も賞用せられます。獨逸にては生齒期の嬰兒に本品を嚼ませると、堅牢なる美齒を生ずるとして盛んに用ひられます。

4、發煙硝酸 (劇藥)

本品を開栓する時は、黄赤色の蒸氣を放ちます。發煙硝酸なる名稱の起る所以であります。

最も舊式のもの也。

腐蝕劑として、胼胝腫、鼠、蛇等の咬傷に硝子杆を以て塗布しますが、甚だ疼痛を覺へます。其の腐蝕は深達しません。

5、パラフィン

オツオケリット、即ち天然パラフィンは、歐洲及び亞細

オツオケリット、即ち天然パラフィンは、歐洲及び亞細
パラフィンは、通稱するのは、固形パラフィンの事でありませぬ。
パラフィンは、天然パラフィン(オツオケリット)及び褐炭タールより製出

亞の一部より天然に産する(土蠟)ものにしてパラフィンは日本に於ても越後より産する土油にて製す、品質は良好ならず、又産額極めて少量也。

隆鼻術に此の固形パラフィンをを用ゆ、下記、溶融度の高きものは變形せざれど、度の低きものは手術容易なれど、温度の如何に依つて形のくづれる事があります。

髪の毛が、中が黒くて外圍だけ赤くなるは、本品を多く混じたる髪油を使用するに原因する。

植物油の中へ一割五分位迄は加へても害になりませぬ、さら／＼します故、反つてよいのであります。

せられるのです。品質の良好なるものは七十四五度にならざれば溶融しません。品質の下劣なるものは、五十度、五十五度位にて溶融す。化粧品に使用する場合は、良好なる溶融度の高きものを使用せざれば、軟膏状態に變化を起す事あるを以て注意しなくてはなりません。髪膏、膏藥等の基礎に用ひられる。然し膏藥の基礎としては賞用すべきものでない。何となれば、包護する力が強き爲め、藥物を皮膚に吸収せしむることが尠い故であります。

本品は苛性アルカリ及び酸に侵さるゝ事なきを以て、抱栓に浸み込ませて用ひ、或は化粧品等の瓶口を密封閉塞する等に缺くべからざるものです。

6、流動パラフィン

坊間パラフィン油と稱するは、流動パラフィンであります。本品は髪膏の基礎、髪油として用ひられるれど、毛髪の色を奪ふを以て、本品を單味に使用せざるを良るしとします。酸、アルカリに侵されざるは固形パラフィンと同様であります。

精油の模造品に其のサラ／＼する點を惡用する、一般に賣られ居る髪油の大

部分は本品を配伍しあると云ふも過言ではありません。

7、白 蠟

白蠟は、蜂蜜より採取したる黄蠟を日光に晒したるものであります。白蠟を暗い所に貯へる時は、黄色及び其の他の色に變じます。其の際は又強き日光に晒せば元の如く白くなりませぬ。

本品には、俗に云ふハセロウ（日本蠟（木蠟））を以て偽造しあるを以て注意しなくてはなりません。

蠟紙を造るには、本品を使ひます。又乳劑、軟狀の化粧品を造るに用ひます。

8、薄 荷 薄

薄荷腦は、薄荷油の固形成分であります。薄荷腦及び薄荷油は種々の形に清

涼劑として用ひられます。

本品は、酸酵を制止する力があるを以て、胃腸の酸酵より呼吸氣の惡臭あるものに内用せられます。

9、蜂 蜜

清涼劑、含嗽劑及び齒磨粉、口中香錠等。
若い人の呼吸の臭いのもと木品を食べて居ると酸酵を制止して臭みが止まる、従つてにきびの方の常用として良いものです。

黄蠟、白蠟共に同じ、白蠟は白きが故、外見よき爲め、殊に用ひらる。

木蠟は美顔料にしては粘り多く不向です、木蠟は梳き油の如き粘りの必要のものに用ゆ。

硼 酸 一〇〇
蜂 蜜 一〇〇〇
唇のあれに用ゆ。

一例
白亞膠 五〇〇
亞鉛華 五〇〇
グリセリン 一〇〇〇
水 一〇〇〇
温度を加へて攪拌して造る。
（一種の作創膏）
又化粧品ゼリーに造られます。
これで造つた菓子毛髪の肥料となります。

甚しきは舶來白粉に混じてある事あり。傷になり易きを以つて使用すべからず。

蜂蜜は、蜜蜂より採取するは沢く人の知つて居る處であります。本品は、含嗽料に配伍せられ、口圍の炎症には本品を用ひるのが最も良いのであります。其の他蓄微蜜、及び化粧品に應用せらる。お化粧品には人の云ふ程効力があるかどうか疑はれます。

10、白 亞 膠

本品は一般晒膠と稱するものであります。

一般化粧品基礎料として用ひられます。又グリサロピン及び石炭酸、サリチル酸等の薬品を加へて小創、及び潰瘍に用ひます。又種々の果物汁等を加へて菓子造るは皆人の知る處であります。

11、白 降 汞（劇薬）

本品は、昇汞より再製したるもので、毒力が非常に強くあります。昇汞と同じく表皮剝離劑及び一種の腐蝕劑として、雀斑、其の他に使用せられ、舶來の美顔料に往々使用されてゐますが、本品の如きは熟練なる技倆と經驗に依つて始めて使用さるべきもので、一般には使用せざるをよしとす。是れを以て、そ

かす、しみ等を治療しますと、其の部が削れ去る故反つて醜くなります。

12、白 土

白土として、化粧品、齒磨粉等に専ら使用されるものは、其の成分の抱水硅酸アルミニウムであります。粒子が大きく不同であります。化粧品には嚴重に云へば不向きであります。又皮膚に用ゆる時は、皮膚をあらす患があります。

13、乳 糖

乳糖は、モルケンより製せらる。瑞西、和蘭、及び奥國にては、本品を日本の洗粉の如く、民間にて洗顔の際用ゆる人があります。偽物が頗る多いから注意が肝要であります。

14、乳 酸

乳酸は、美容術的腐蝕剤に用ひらるゝ事があります。本品は齒牙の齒石を除く去するに用ひられ、狼瘡の腐蝕剤に適當とせられます。本品を用ゆるに當り注意すべきは、蛋白質、及び角質を溶解する作用がある故、意外の邊まで腐蝕する事あるを以て、施術の際周囲の健全部を、トラウマチチンを塗布して防護す

モルケン（即ち乳糖）は乾酪、及び乳脂を製造する場合の残液。

本品を齒牙に使用したる後はアルカリにて含嗽するを要す。そうしないと齒を傷めます。

るを要します。然し健全なる皮膚は、乳酸に對し抵抗力頗る強き爲め、アルカリ性腐蝕剤の如き恐れはありません。通常二倍三倍の液となし用ふるのであります。

15、硼 酸

硼酸は弱き酸にして、蛋白に作用を及ぼさざる爲め、食品の腐敗防止に用ひらる。然し微菌の發生を制止し得ずと云ひます。

従つて化粧品の防腐料として用ひらる。本邦人が硼酸を美白料として過信するは、如何なる美顔料、化粧品も防腐の爲め必ず處方中に此の名を記しあるを以て曲解したるものなるべし。

硼酸は大家の間に防腐力微弱なりと云ふ説と、防腐消毒の効大なりとの二説あり。又た刺激性なき故、眼、口腔、膀胱等の洗滌料として盛んに用ひらるれど、嬰兒には往々助産婦が硼酸過用の爲め發疹を見しといふ大家の報告頗る多し、故に獨逸にては命令を以て助産婦にはリゾールを使用せしむ。

歐洲にては、白色化したる毛髪をボログリセリンを以て金髪に染む。皮膚も

硼酸は伊太利で澤山出来る。

硼酸は食品に加ふるも味を變へぬ爲め用ひらるれど、奥國にては害ありとして、使用を禁止し、日本にては魚類の他の食品への使用を禁止し居れり。

佛蘭西にて本品は一種の破血劑なりとして、妊婦が本品の含嗽を禁せる大家あり。

脾脱疽菌は本品四〇液に二十時間以上浸すも死せずと云ふ。

ボログリセリドは硼酸六

二分リスリン九五分を加熱して製す硝子様透明の液也。

硼砂は藥品中でも最も分解の甚だしいもの故、他品と同じ時に處方してはなりません。是れを知らずに處方を書いてゐる大家をよく見受けます。素人は硼酸と硼砂とごつちやにして居る向きが多い。

「コカイン」もそうです、コルレル氏も土人からヒントを得たのであります。

故に新しい説を立て、無理に反對せんが爲めの反對などは學者は止めて欲しのである。

毛も同じ角質なるを以て本邦人の美白料と過信するの誤りなるはわかりませう、然し一寸の消炎薬法料としては是れに過ぐるものはありません。

16、硼砂

硼砂は一般家庭的に用ひられて居るものでありまして、美しくなるとして洗滌料に供せらるゝのは、其の軽きアルカリ性の爲めに、石鹼の如くに幾分皮膚を清淨ならしむるためでありませう。洗粉、洗膚料、洗毛料用として盛んに用ひられます。

17、ペルーバルサム

ペルーバルサムの名は、今より約四百年以前、ペルーに渡航せし西班牙人が、土人より教へられたるに始まります。凡て薬物には大家の發見せしもの多けれど、重要薬品にして未開の土人に依つて發見せられしものも亦た頗る多いのであります。(規那も同様)故に素人の用ゆる民間薬にも中々馬鹿に出来ないものが澤山あります。是れは疥癬蟲驅除劑として用ひられます。

18、ベルガモット

むしタオルに一滴を注ぐ時は爽快の香氣を放ちます(純酒精溶液として)

本品は、ベルガモットの新鮮なる果殻より得たる揮發油にして、普ねく香水、香油等の原料として多く用ひられます。獨逸に於て世界的有名なるオードコロンと云ふ香水の主成分であります。本品は特殊の消毒殺菌力があります。

又本品は、頭虱及び衣虱の毒物なるを以て、女工、及び少女の毛虱の出來易き人の髪油に加へ、或は髪香水とします。又夏季の顔拭にはベルガモットエッセンスとして用ひます。

19、扁桃油

扁桃油は、甘扁桃又は苦扁桃を壓作して得たる脂肪油にして、不乾性油に屬し、零下十度に至るも液體を保ち、零下貳拾度に至つて初めて固結します。價高きを以て、他の脂肪油、流動パラフィン等を以て偽造(混合に依る)せしもの多きを以て注意する事が肝要であります。

髪油としては、優良比ひなしと云ふも過當に非ざれど、他の髪油に用ゆるものより價の不廉なるを缺點とします。右の如く寒暖に餘り支配せられぬ爲め、

毛髪保護用には必ず中乾性油なる事を要します。乾性のもは毛幹を毀損するコールドクレームの主要オイルであります。椿油も大島のもは殆んど同様。木曾飛彈の椿は零下十度で固結する。

醫師より本品及びグリサロヒンを用ひられ、あざが出来たと泣いて飛び込んで来る例が頗る多いのであります、然し心配はいりません、時間を經るにつれ消散します。

トリクロール醋酸は即ち三鹽化醋酸也。

本品は植物乳劑の偽物を造るに用ひられ、氣孔を塞ぐを以てよろしからざるものとす。

質物の試験

澱粉はヨードに依つて變色す。つまり偽物の偽せの又偽せと云ふ形である。

時計の如き精密器械の注油料ともします。

2) ベタナフトール

本品は、防腐力強きを以て、皮膚の疾病に軟膏及び酒精溶液となし賞用せられます。されど婦人には薬疹を發したる數例を實驗しました。

21、トリクロール醋酸

本品は潮解性の藥品にして、腐蝕劑としては劇薬中緩和の内に屬します。ホクロ、疣等の腐蝕に用ふ。又しみ、そばかすを去るに稀薄の液として用ひられます。然し一時結痂が出来る爲め素人を驚かします。

22、トラガカンタ

トラガカンタは、本植物の幹より出る粘液の固結したるものでありまして、甚だ強き粘液漿を造らるゝ故、化粧品には最も多く使用せられます。是れ亦贋物頗る多きを以て注意しなくてはなりません。澱粉を以て贋せたるものはヨードに依つて判明すべし。

又本品の二プロセントの漿液、二十五瓦に癒瘡木丁幾一瓦を加へて數時間放

毛髮料バンドリンを造るに用ゆ、本品多量なる時は粘り且つ密着力強き爲め他物の混合に注意すべし。

オレンヂの香は目出度い場合に用ひられます。外國でも大いに御幣をかつぎます。

豚脂は日本薬局法にもある、柔らかい豚脂と思ふ人あれど、此の柔らかかなものはかぶれやすい。

置するに、藍色を呈するものは安價なるアラビヤゴムが混じてあるの證であります。

23、橙花油

爽快にして上品なるネロリ油は、即ち本品であります。新鮮なる橙花に水を加へ蒸溜して得たものであります。價亦た頗る高く、一般上流社會に愛用せられます。化學的に造られたるネロリンなるものは本品を摸偽したるものであります。氣品に於て大いに劣ります。

21、豚脂

は讀んで字の如く豚より採取したる脂肪であります。

豚には、二種の脂肪を具有します。一は皮と結締組織中に有するものと、一は腹部の網膜、肋骨及び腎臓の周圍に存するものとあり、前者は軟かにして、後者は遙かに堅く、毛髮用チツクの原料とします。

一般に豚脂として、美顔料、化粧料の材料となるものは後者の堅いのが良ろしいのであります。

ヘット(ドウラン)になどかぶれるのは原劑の豚脂が悪き爲めであります。鼠咬症 鼠に噛まれると一種の癩病の様な濕疹を顔面に發します。

歐洲人の用ゆるカミゴムは口の臭いのを消す爲めであります。

丁香 メンター、ゴム等の合劑であります。

素人用の口中香水の主成分とせられます。

永く貯ふる化粧品、美顔料には使用してはなりません。本品は往々變敗し易く、腐敗したるものを使用する時は皮膚を刺戟し、甚しきに至りては全身に濕疹を起し、容易に治癒せず、恰も、鼠咬症と同様の悪性皮膚炎を起したる例が頗る多いのであります。

25、丁香

本品は未開の花を乾燥したものであります。芳香強きため香袋に用ひられ、其の成分の消毒性を帯ぶる爲め齒磨粉の必要品にして、悪臭呼吸等のものにのみ薬として用ひられます。

26、丁香油

丁香油は丁香に水を和し蒸溜して造られたるものでありまして、佳快の芳香を持します。然し丁香の莖より造られたる、丁香莖油を加へ偽造せられたるものは鈍臭ありて佳快の氣味がありません。

本品は佳香あるのみならず、防腐力も強いゆゑ香料として使用せらるゝのみならず、齲齒痛の場合本品を脱脂綿に浸し點布する時は、速かに鎮痛の効を奏

します。

27、沈降炭酸カルチウム

本品は水に溶解しませんゆゑ、一般齒磨粉の基礎質として用ひられて、さつぱりして居るのであります。

化膿性にあらざる炎症又は、濕疹を乾燥せしむる爲めに散布する事があり、割合によく効きます。

28、緑石 鹼

緑石鹼は本品の原料として、往時は大麻油と苛性加里によつて造られ、爲めに大麻油中に含める葉緑色素に依り綠色を帯びたる爲め、本名稱の起りし原因をなしますが、現時にては安價なる綿實油、蠶蛹油、亞麻仁油、種油等を以て製します。消毒料として不潔なる手及び品物を洗淨するに用ひられます。

29、硫酸マグネシウム

本品は、坊間下劑として用ひらるゝ瀉利鹽であり、水に透明溶解し、其の溶解液を皮膚に塗布する時は、水分の發散と共に稀薄なる硫苦膜を造るを以

化膿性 うむこと。濕疹には時と其性狀により亞鉛華などより結果がよい事がある。

葉緑色素 ほうれん草などに澤山含んで居る。

理髮師の用ゆるシャンプー液は、單に本品のみの場合と、硼砂水を加へたものとある、極めて安價なものであるに拘はらず色々の名をつけて高價に賣りつけられて居る。

硫黄 マグネシウム、瀉利鹽、硫苦等の稱あり。硫苦膜 細かい粉がふいて

白くなるのである。

て、隠し化粧料、及び老人の化粧料に用ひられます。水晶おしろいなどと稱する透明の白粉は即ち本品を原料とします。

本品は皮膚を荒す患あるを以て、健全なる皮膚、又は脂肪多き位の人に非らざれば用ゆると肌を損じます。

30、硫化カリウム

本品は疥癬の如き、皮膚病に浴湯として用ひらる。又染髮料としても用ひらるれど硫化作用の爲め、適法ならざれば毛を損する事があります。

31、硫化水素水

本品は白粉の試験その他に缺くべからざる試験薬なり。新品にして効力確實なるものを用ゆるを要します。時日を経たり又は光線に觸れると効力を失ひます。

32、硫化石灰

本品は又硫化カリウムと同様の場合に用ひられ、除毛劑として使用せられますが、本品だけであると表面の毛を去るのみであります、變質劑を加へなくてはなりません。

オレフ油も不乾油であります。故によい髪油のない時はオレフ油を用ひてよいのであります。

火傷の時、オレフ油、石灰水を等分にかきまわし乳状となして塗ると火ぶくれを防ぎます。又出来ても傷になるのが少いのであります。

他の品を混じても大抵のものは變化しません。重寶な基礎料です。

はなりません。

33、オレフ油

オレフ油はオリブ樹の果實を冷壓して得たるものであります。

本品は乳劑とし軟膏、硬膏、塗擦劑、髪油、及び扁桃油に交へて植物性クリーム製造、香料の製造等に缺くべからざる必要品であります。

皮膚の蓋護料として、火傷、表皮剝脱等に用ひらる。

食用に供し得らるる品を最良とし、下等品は往々腐敗したる原料、及び未熟の原料より搾取せられます故用をなしません。是れ等は石鹼の製造に用ひられます。

34、ワセリン

ワセリンは氣中にありて變質せず。爲めに脂肪に優れる良劑なりとして、軟膏、髮膏等の基礎料とします。然し髮膏にて一時艶を出せど後日白毛、赤毛となります。久用すると又皮膚を硬化する事が多く、茶色になる事があります故其の輕便さにほれこんではいけません。

カリの性状は、苛性加里の條に委し。

35、カリ石鹼

カリ石鹼は、亞麻仁油、苛性加里の製剤であります。本品は皮膚を洗滌するに用ひ、消毒力あるを以て施術後の皮膚及び器械を洗滌するに用ふ。歐洲に於ては普通石鹼よりは表皮を柔軟ならしむとて賞用すれど、久用する時はカリの汎發作用を受くるを以て、久時連續して使用せざるをよしとすれど、皮膚の洗滌用として優良なるは争ふ餘地はありません。彼のゾールは本品と粗製石炭酸との化合物であります。

36、カカオ脂

カカオ脂は本植物の種子より採取したる植物脂肪であります。本品は容易に變敗せず、又人の體温に依つて溶融するを以て、座藥の材料として専ら用ひられます。

37、滑石

本品は化粧品としても盛んに用ひられ、髮膏、チツク等の基礎をなします。本品は硫酸マグネシウム鑛石を微細に粉末となしたるものなり。ウエネチア

滑石 通稱タルクと云ふ。(タルカム)

ウエネチア滑石と處方にあるは優良なる物を必要の場合とす。他の滑石を用ふる時は種類に依りては用をなさざる事あり。

單に滑石と云ふ爲め一般の化粧品に安價なる滿洲タルクを使用するを見る、是れは大抵のものは鐵分を多く含むを以て此の鐵分のあるものを使用する時は皮膚にしみを生ず

苛性カリ 一名水酸化カリ。

腐蝕を限局せんが爲に苛性石灰を加へたるウインバスタ等の製劑あれど、現今にはより以上の安全のものあるを以て顔面には先づ使用せざるを可とす。

の製出に關するものが最良です。

化粧品には最も汎く用ひらる。其の性無毒なるを以て大部分に用ゆるも差支なし。歐羅巴にて、日本に於ける、粉白粉の如くに用ふる打粉は本品であります。

其の用途は石鹼の増量より製紙の増量にまで悪用せらる。皮膚を摩擦する場合、本品を撒布して後、マツサージをすれば皮膚表面を刺戟する事なく炎症を起さしめず軽く按摩の目的を達し得らるゝのであります。

38、苛性カリ

苛性カリは強力なる腐蝕劑にして、工業上缺く可からざる藥品であります。本品は腐蝕劑として狂犬、毒蛇、鼠、猫、等の咬傷部を蝕滅する爲めに用ひられ、その他癰疽、脾脫疽、疣等の腐蝕にも用ふ。

其の腐蝕は深く達し、往々にして不測の害を醸す事があります。曾て一醫師が本品を鼻頭のホクロの腐蝕に用ひたる處、苛性加里の性状たる、腐蝕の深達の爲め鼻梁を失ひ大問題を生じたる事があります。

ベルツ氏液	一〇〇
苛性カリ	三〇〇
グリセリン	五〇〇
酒精	二〇〇
水	二〇〇

顔面の美容に關するが如き施術には、其の腐蝕の程度判然せざる本品の如きを使用せざるがよろし。凡てアルカリは表皮角層質を柔軟ならしむる爲め、稀薄液を盛んに用ひらる。化粧品にせよ、民間劑にせよ、カリの用途頗る多し。然しながら、カリは一面表皮を柔軟ならしむれど反面久用持續する時は、其の輕き刺戟性と相待つて表皮角層を硬化する作用があります。其の刺戟の爲め角層が厚くなつて日本人は皮膚を茶褐色に變じます。

ベルツ氏液も本品を基礎とす。凍瘡及び浴後の塗布等に上乘のものであります。常用持續する時は一般カリの作用の爲め、反つて皮膚を硬化し、茶褐色化せしむる爲め、時々中止して用ふるか間を置いて用ふるがよいのであります。

39、煨性マグネシア

本品は齒磨粉の材料として用ひらる。又顔面の打粉、粉白粉等に多く使用する事あれどあまり適當ではありません。

40、煨製石灰

化粧劑としてはあまり用ひられず、腐蝕劑、殊に消毒劑として重用せられま

歐洲人は、非常に此の乳劑を常用します。こればかりは日本人にも最もよく適合します。

又此の油かすは洗髮料として先づ第一に推すべきであります。

鶏卵に強熱を加ふる時は不溶解性となり、不消化となるは人の知る處也。小さい普通の匙、約一匁位

す、又舊式のくせ毛直し、白髮染としては今でも大いに使用せられて居りますが、毛を硬化する爲めバリ／＼と折れてしまふ事があります。

41、甘扁桃仁

甘扁桃仁は本植物の種子にして、美顏料に缺くべからざるものであります。甘扁桃油を作る事は凡て扁桃油の條に述べます。扁桃乳劑を作るには子被を去り、水と共に搗き碎き、更に水を加へて濾過する時は、瀾濁せる乳狀液を得ます。更に是れを研和粘密ならしむのであります。

甘扁桃の油を搾りたる殘滓は(油粕)頗る蛋白質に富んで居ります。故に楢の油粕の如く、汚物の洗濯によく、其の微細の粉末は、洗顏料として用ひるに足ります。

42、乾燥卵白

本劑は鶏卵のしるみを低温にて乾燥したるものにして、洗髮料、洗顏料として用ひらる。又擬鼈甲は本品にて製造せられます。

洗顏料としては、牛乳一合を體温の度に温め、乾燥卵白二茶匙を加へ攪拌し

て用ふ。洗髮料としても、此の乾燥卵白ならば毛に膜を造る事が多いのであります。

43、甘 汞

外國から来る、そばかす取のクレーム、又は化粧品に加へてあるのが澤山ある。

注意しなくてはならない、一寸使用してハタケの様に見えるものは本品が混じたる例ともなる。

甘汞は醫藥として古く徳川時代初期に用ひられたる形蹟があります。

梅毒性潰瘍及び扁平贅肉等の腐蝕に用ひます。

外國にては美顔料として盛んに用ひられ、甚しきに至りては水白粉、粉白粉にまで加用しあるを見し事あれど、危険なるは勿論、常住使用すべき性質のものでありません。

本品は化學作用を起し易き藥品でありまして、ヨードの内服及び外用等をなし居る場合、本品を用ふる時はヨード化汞を生じ其の部が腐つたりなぞして不測の害を醸す事があります。

44、甘 草

民間にて縮毛矯正劑（外用）として其の煎じ汁を盛んに用ひられますが、効力は不明であります。が、きくとは思ひません。

45、肝 油

子供のしらくもには、肝油を塗つて、一夜の後も石鹼で洗つてやるのが、一番適當である。

本品は大口魚の肝臓より採收したるものにて、強壯劑として用ひらるゝは人の知る處であります。擦過傷、及び皮膚の疾患に塗布されますが、子供のしらくもには是れに過ぐるものがあります。

46、含水ラノリン

普通ラノリンと處方にある場合は此含水ラノリンを指すもの也。ラノリンは羊毛より採收したる脂肪なり。

含水ラノリンは、無水ラノリン三分に水一部を加へたるものであります。ラノリンは極めて必要の品であります。其の質の變敗せざる爲め種々の軟膏の基礎として賞用せられます。

不明の疾患と不知の疾患とはちがひます、されど一寸何だかわからぬ、濕疹に似た小さいものは、こわすけで治ります。

本品は單味にても、尙ほ下等の有機體を生息せしめざる力あるを以て、不明の皮膚炎等には、單に本品の塗擦によりて症狀を緩解せしむる事があります。他の脂肪は藥品の水溶液を加へる事が出来ません。本品は水に能く混和溶解する性質ある故、他の脂肪より此點のみにても優れりといふ事があります。尙ほ硼砂の如く他の脂肪を分解して、軟膏を調製し得られざるものをも良く

飽和する事が出来る重寶のものであります。
髪膏、クリウム等に最も多く用ひられます。

47、カンタリス丁幾

毛髮發生劑として一般處方に載せてありますが、外用に依つても血尿、膀胱炎等を惹起する例が尠からず、其の刺戟作用に就ても卑見あれど、後日に譲ります。

如何なる毛髮にも用ひ得らるゝものでありません。殊に生へ際、眉毛等の短毛には炎症を起し、反つて毛根を傷ける例を澤山見せられて居ります。

48、ヨード

ヨードは今より百年ほど以前に発見せられたる原素の一つであります。原品のまゝ使用する事は殆どありません。大抵は次項の沃度丁幾、及び軟膏として用ひます。

49、沃度丁幾

ヨードは緩和の腐蝕劑として扁平贅肉、狼瘡、梅毒性潰瘍に塗布す。又寄生

素人が、毛生劑としてどうでせう、とよく聞かれるけれど、これは日本人には感心しないのであります、理由は深き學理に亘ります故はぶきま

カンタリス、別名莞菁と云ふ。日本名。

馬追蟲、斑猫の事也。

ヨードの名稱は其色の薰紫色に因み、希臘語のイオデスより來ると云ふ。

性皮膚病、皮膚炎の滲出物ある物等の吸收誘導の爲めにも賞用します。

其の他關節炎、骨膜炎等凡ての炎症の塗布料とするのは既に人の知る處であります。

又本品は小さき部分的の炎症（化膿の前提）に頓座療法として、塗布し往々有効なる事があります。

沃度は皮膚に濃厚液を塗布する時に、皮膚を褐色に染め、數日の後その部分は、皮膚と剝れてめくれ落ちます。

沃度には往々頗る弱き性質の人がありますから注意するを要します。發疹等の出來たる場合は、ラノリンを塗擦するとよろしい。

本品は化粧品の場合澱粉の存在を認むる場合に使用せられます。澱粉は本品に遇ふて藍色に變色しますからすぐわかります。

50、ヨードホルム

ヨードホルムは、創面に觸るれば刺戟する事なく、其の化膿を防ぎ、有力なる防腐作用を有します。然れどもヨードホルム自體は些の殺菌作用を有しませ

頓座療法、出はなを挫く療法、にきび、ふきで欄に委し。

普通の沃度丁幾よりうすめた稀沃度丁幾の方が適當なり沃度にかぶれて、一面、ふきでの様になる、悪い石鹼、洗濯石鹼のやうなもので軽く洗つて乾かせば、すぐ治る。

粉白粉の試験に、澱粉が滑右かと云ふやうな時に試験するに用ゆ。

異臭ある爲め嫌はれますが効力はよいのであります。

コロヂウムに十分の一程加へて小さい傷に用ひます。明日の婚禮と云ふやうな場合、一寸膿んだおできの蓋をするには必要であります。(十倍程度なら毒にならぬ故、薬剤師が造つてくれます)業者は必要な事でありませぬ。

アメリカから来るしわとり棒は、皆タンニン製剤であります。

白髪染にも用ひますが、變化が甚だしい故五倍子程度の方が用ひられて居ります。

びんつけ、すき油も製法は異なりませぬが單軟膏であります。

ん。細菌をヨードホルムの粉末と接觸せしめ、長時間を経るも細菌の發達を阻害し得ずと云ひます。

然るに創面に於て良く奏効するは、本品は乾燥状態にては、何等の作用を起さざれど、創面及び濕潤の處に觸るゝ時、酒精、脂肪等に混和せらるゝ時は分解を始め、沃度を發生する爲め、其のヨードの作用に依つて効くのであると云ひます。少量の使用は格別の害はありませんが、大部分の面積に用ふる時は往中毒を起す事があります。

51、タンニン酸

タンニン酸は收斂藥として用ひられ、その稀薄液は除皴藥として用ひられるも、本品は化學作用を起し易く、諸種の化粧品と同時に用ひて、害をなす事を以て餘り用ひないのを良いといたします。

52、單軟膏

單軟膏は黃蠟一分と胡麻油二分とを溶和したるものにして、種々の藥品を加へて膏藥を造る基礎料とします。是れは如何なる田舎の藥屋さんにもあるゆゑ

上記の場合都合がよろしい。

53、炭酸カリウム

本品は緩和のアルカリ剤でありまして、化粧品の材料として盛んに用ひられます。

皮膚を適度に軟化し、苛性カリの如く、速かに皮膚を硬化する事なく、久用に堪へます。然しながら久時連続して使用する時は、一般カリの汎發作用を起す。その他化粧料の鹼化作用に用ひます。

54、炭酸マグネシウム

本品は水には僅かに溶解するのみ、大抵粉末剤として用ひられます。齒磨粉の基礎、及び打粉の材料とします。然れ共皮膚に依りては、甚だしく荒れる事があります。

55、彈力コロジウム

本品はコロジウムにヒマシ油を加へたものであります。皮膚の蓋護料、及び硬着劑として用ひられます。患部に塗布する時は、速かに粘着且つ壓迫し、小

す。即座にクレームがなくて濃化粧と云ふ様な時に代用して差支ありません。

鹼化作用 クレーム其他石鹼質のものを造る場合のアルカリ劑として用ひらる。クレーム欄参照。

密度が細かいので良いのであります。然し汗は浸み込みますから汗をかくと鼠色に見えます。

蓋護料 皮膚のおでき其の他に被覆する事。硬着劑 くつつける、引き

しめる。單に覆護の場合は彈カコロヂウムを良しとして、引きしめる力を入用の時は普通のコロヂウムを良しとします。

レゾルチンはメタ二酸化フエノール也。

傷の如きは本品の、塗布のみに依つて癒合します。化膿せる小さき腫物等にはヨードホルムを加へ用ふるのはコロヂウム欄に述べた通りであります。

56、レゾルチン

レゾルチンは美容料に於て缺く可からざる重寶の藥品であります。

本品は無色、或は僅かに紅色を帯ぶる結晶にして水に良く溶解します。

其の消毒力は石炭酸に等しく、或は是れに優る事ありと云ひます。然して石炭酸ほどの毒作用がありません。

外用薬として、數多の皮膚病に用ひます。然れども本品は分解し易きを以て、一度に大量の調劑を爲さざるがよろし。時に皮膚炎を發し、又は外用に依りても、中毒死を來す事ありと云ひます。

適量を用ふれば更に不安の慮がありません。丹毒、或は狼瘡の如きは、五十プロセントラノリン軟膏を用ひ、普通濕疹、脂漏過多、瘰癧等には稀薄なる二―五プロセントを用ふ。

髮用香水には、ふけとりとして一プロセント―三プロセントの溶液を用ふ。然し賣品として變化するのは前述の通りであります。本品は光線に遇ふて變化し易きを以て、其の製劑は着色瓶に蓄ふるを要します。

57、レモン油

レモン油は極めて新鮮なるレモン皮より得たる揮發油にして、淡黄色美麗の液をなし特異佳快の香氣を有します。

本品（レモン油及びレモン實）は歐羅巴に於て盛んに美肌料、白色料として愛用せられます。其の効力に關しては、藥學上是れと云ふ證據があるに非ざれど、古來より其の習慣が、傳統的に信ぜられ居るものでありまして、實地に於ても多少の效果あるは争はれない處であります。

本品は賈物頗る多し。レモン皮を蒸留して製したるものは、壓搾したるものより香氣、効用、色澤とも遙かに劣ります。又橙皮油、蜜柑油、テレピン油にて賈造したものが澤山あります。

レモン油の儘使用するは、クレーム、石鹼等の香料の場合に限り、多くは十倍の酒精溶液即ちレモン精として用ひられます。

レモン精は水に混じり易く使用に便であります。飲食物の香味料を初め、一般化粧品、香料、及び美肌料として配伍せられ、又洗顔の際、洗面器に数滴を落とし、或は入浴の際数滴を浴槽に入れて入浴する時は實に爽快を覺へ、分泌過多の人は一層の快感を覺へます。入浴の際は豫め温湯中に入れ置く事なく、入浴の際入浴者自らレモンを投入しなくてはなりません。然らざれば揮散して何等の効をなしません。

本品は大氣に觸れて、變化するを以て普通香水を貯ふる如く、小瓶に充たし置くか、或は硝子玉を投じて空虚なからしめ、暗所に貯ふるを良しとします。

58、ラヘンデル油

本邦人は割合に此の香氣を愛す、比較的安價なるものなり。
ラヘンデルの花は匂袋に入れます。

ラヘンデル油はラヘンデル花より採取したる揮發油でありまして、乾燥したる花より採取したるものと生花より採取したるものと其品質、及び香の持続力を異にします。粉粧料の香料として一般に用途多し。又特殊の殺菌力あるをも

つて、寄生性皮膚病にはラノリン軟膏として用ひます。

59、ラタニア丁幾

本品はラタニア根を以て製したる酒精劑であります。
一見暗褐赤色なれども、水を以て稀釋する時は美麗なる鮮紅色となります。
強き收斂性あるを以て、洗口、水齒磨、丁幾等の材料として缺くべからざるものであります。

60、過クロール鐵液

本品は腐蝕劑として用ひらるれど、現今は他に優良のものあるを以て賞用されず、只止血綿、止血ガーゼの調製料とし、又染髮料、おはぐろの代用とします。

61、過マンガン酸カリウム

本品は有機物に對し酸化作用を起すを以て、腐敗菌を撲滅し消臭作用をなす。糞便も亦其の臭氣を即時に消します。

凡て惡臭ある壞瘍、惡臭口氣等の洗滌料として用ひられます。又美容術業者

洗口水には千倍のもの、糞便の消臭には五百倍のもの。

一半鐵液。
おはぐろは即ち本品と同様なり。

すそわきが、健實なる家庭の婦人に多くある陰部の異臭。

すそわきがに消臭料として用ひらるゝ事を知つて置く必要があります。(婚禮着せ付の際等に教ゆる必要があります。)

62、クレゾール石鹼液

クレゾール石鹼液は有力なる消毒劑でありまして、毒作用も尠なく凡ての方面に賞用せられます。獨逸より輸入さるゝ「リゾール」は即ち本品であります。何ほど緩和の藥品なりと云へ、無法の大量を用ひてはいけません。外用に依つて小兒を中毒死に致したる例があると云ひます。

63、グリセリン

グリセリンは透明無色粘調の液なるは一般に知る處であります。

グリセリンはシエール氏が百二三十年前、單鉛硬膏を造る際、偶然發見し、甘油と命名せしと云ふ。一般にリスリンと稱す。

本品は其のまゝ天然に存在するものでありません。脂肪酸類と化合して脂肪を形成し或は酒製造中の酒精に伴ふて少量生成す。主に脂肪より製出せられます。

本品は化粧品製造用としては缺く可からざるものにして、殊に腐敗酸酵を防止する性質あるを以て、其の意味に於ても化粧品に賞用せられ種痘苗を貯藏す

るにも用ひられます。

リスリンを用ふる時は色を黒くすると云ふは實際です。其理由は下段を見られよ。自然の經驗から云はれてゐる事は恐ろしい。

グリセリンは一般知られたる坊間藥品中重きをなし、何人も使用します。そして其の使用に純品を塗布するを往々見る事がありますが、是れは大なる誤りで、本品の水を以て稀釋せざるものを皮膚面、創傷面、粘膜等に塗布する時は、水分を奪取する力強きを以て、其の局部に悪作用を起す事があります。素人考へには粘りあるを以て良ろしかるべしと思慮するは尤もなれど、本品は甚だしき水分奪取の力あるを忘れてはなりません。俗に云ふ、耳だれの如きも、本品の滴下或は塗布に依つて水分を奪ひ、乾固せしむる事が出来ず。

純品を皮膚に塗布する時は、右の如く甚しく水分を奪取し表皮角層を反つて死滅せしむる爲め、久時連用して純品を用ふる時は、角層硬化の爲め茶褐色の皮膚となる。一般にグリセリンを用ふる時は色が黒くなると云ふのは此の理に基きます。

是れに反し稀釋せるものは、刺戟を緩和し皮膚保護の効があります。故に必ず本品は稀薄液を用ふべきであります。

本品を濾過する場合は温みに乗じて濾過する事が必要です。然らざれば粘度強く濾過に困難であります。

64、薬用石鹼

本品は極めて好良の石鹼でありまして、白色の塊片をなし、水、酒精等に溶解します。

凡て石鹼と稱するものは、脂肪酸の「アルカリ鹽」であります。是れを製するには脂肪或は脂肪油に苛性アルカリを加へ、煮沸して硬化せしむるのであります。

本品は齒磨粉、齒牙クレーム、洗粉等の配剤に用ひられます。一般理髪師用として販賣し居るものは、五割以上の澱粉を混じて偽造してある事が有ります。故、温酒精を以て溶解して見る事が必要であります。若し不溶解物がありましたら純品ではありません。

65、桂皮油

桂皮油は、支那産桂皮の皮を水と共に蒸餾したる揮發油でありまして、化粧

美顔術用の洗顔には本品を用ふ。

支那より年に輸出する桂皮油は、六七万封度に達すと云ふ。

美顔用には刺戟が多く、ふきで出来ます。石鹼で洗ふとふきでの出来ると云ふ人は往々その内に含まれてゐる不純の桂皮油からくる事が有ります。

本品にて造りたる化粧品は光澤ありて外觀頗る良し。

日本で指をほうの木炭でこすると同じ理由。

品に用ふるには、支那桂皮油より錫蘭桂皮油を用ふ。本邦土佐産のチリチリ桂皮より製出するものは、殆んど獨逸製カツシヤに類似化粧品に用ふるに上乘なるものであります。一般香料の配伍料として用ひられ、殊に髮油、石鹼、クレームの如き脂肪性に、香料を附する場合他の香料を永持ちせしめます。

66、鯨臘

鯨臘は主に「マッコウ鯨」の頭部腔窩中に存する油質の固形成分を精製したるものにして、化粧品の製造に必要缺くべからざるものであります。髮膏、クリーム等皆是れに依るものが多いのであります。

67、浮石

本品は火山の作用によつて生じたる俗に云ふ輕石であります。本品は進歩せる美容術に、表皮角質の死滅したるものを剝し去る場合、削剝針に必要なものであります。

68、五倍子

本品は民間にて「フシノ粉」と稱するもので、染齒に用ひ亦染髮料の材料とします。

69、胡麻油

胡麻油はオレフ油に代つて種々の用途に用ひらる。然し種油を以て偽造しある事あり。効力に相違を來すを以て豫じめ試験法を覺へて置かなくてはなりません。

その試験法は、胡麻油十滴を取り、之れに強硫酸一滴を加へて振盪する時は、胡麻油のみなる時は微に類綠色を呈するのみなれど、種油にありては藍綠色を現はすを以てわかります。尚ほ胡麻油、種油を等分に混じあるものと雖も前記試験にて著しく藍綠色を呈します。

70、コセニル (臘脂蟲)

本品の成分は、貴重なる紅色素カルミン酸であります。甚だ高價の爲め偽物が頗る多いのであります。

凡て紅色は褪色し易きものなれども、本品は褪色せざるが爲め、賣品として

本品は熱帶地方に繁茂せる仙人掌に寄生する昆蟲の雌蟲にして、宛も内地の植物及び野菜等に寄生する油蟲に似て

形、大きさ共又た類似す。此の臘脂蟲を採收し乾燥したるもの也。

又本品は、日本紅の如くし、みをつくらない。

鉛のお化粧は鼠色に見え易い。

白粉中炭酸鉛を含むものは一滴の硫化水素水の滴下に依つて判明す。多く含むものは黒褐色となり、少量に含むものは淡褐色となる。然し硫化水素水は、必ず新品ならざれば變化し易く、硫化水素瓦斯の揮散後は、試験の際何等の變化無きを以て注意すべし。

の、化粧品着色料として尊びます。

真正洋紅と稱するものは、又臘脂蟲を以て造られあるも、其の製法は未だ詳細に知る事を得ずと云ひます。市場に販賣するカルミンラック(新洋紅)なるものは、本來の洋紅に比し價低きが爲めに大いに用ひられます。原料は矢張り臘脂蟲の洋紅を造りたる残滓或は最も下等なる臘脂蟲に依つて造られます。

71、鉛 白 (炭酸鉛)

炭酸鉛は上古より、一般に知られたるものにして、工業用としても、顔料に缺く可からざるもの、彼の白ペンキの如きも昔は本品を以て材料としました。

往昔は(現時にても非常に多し)白粉として皆本品を用ひたれど、中毒作用頗る多きを以て、化粧品に本品を使用してはなりません。現時にては純無鉛ののりよく、のびよき優良なる白粉あるに拘はらず、頑固なる舊思想は白粉と云へば、鉛を使用せざる可からずと云ふが如き頭腦を持ち、低級なる使用者又はれを信するが爲め、未だ本品の使用多きは實に歎すべき處であります。彼のバツチリ、壺白粉、唐の土と稱するもの、生白粉と稱するもの皆本品にて、殊に

京阪地方には殆んど炭酸鉛製の白粉を以て充されて居ります。

72、澱粉

澱粉には、カタクリ、葛、馬鈴薯、その他の種類がありまして、日本薬局法には上記三種類を記載しあるのみなれど、カタクリ、甘藷澱粉、馬鈴薯澱粉、生麩、蕨粉等、その他大抵の植物の根、地下莖、球根等は皆澱粉に富み、植物として多少本品を含有せざるはなしと云ふも過當ではありませぬ。

澱粉は撒布薬の基礎料として缺く可からざるもの、洗粉、打粉等にも用ひ、又其の漿液としての粘滑性を利用して雑多の化粧料に用ひられます。

73、亞鉛華 (酸化亞鉛)

亞鉛華の不純なものは、砒素、硫酸カルチウム、硫酸バリウム、鉛、苦土、鐵、銅等を含む。

亞鉛華は已に大古の時代より、一般に知れ居るもので、赤亞鉛鏝となり天然に存在し、現今は數多の化學應用にて多量に製出せられます。本品は普通の鉛製劑の如く、皮膚より吸収せらるゝ事殆んど無きを以て、現今無鉛白粉の基礎料として用ひられます。

本品は必らず純白色なるを要し、往々黄色等のものあれど、充分酸化した

るものは白色です。

若し白粉等を造るに用ふる時は、其の原料を撰ばざる時は中途に變化し、或は不純物の爲めに、皮膚に發疹を來す事あるを以て注意を要します。

化粧料の外醫藥としても、亞鉛華澱粉、亞鉛華軟膏として諸種の濕疹等に用ひられます。

74、安息香丁幾

本品は芳香性品として、化粧品に一般用ひられ、防腐消毒の効あり。殊に脂油製劑の腐敗を防止する特質あるを以て、練油、髮油等の香用に用ふれば一舉兩得であります。

75、アルコホル (酒精)

アルコールの名はライムン・ド・ルル氏が酒精を以て人心を慰むる最上のものなりとしアルコールと名づくこと云ふ、蓋しアルコールとは最良品と云ふ意義に基づくと云ふ。

本品は、化粧品商、及び醫師、工業家を問はず酒精なくば一日として業を營む事能はざる程の重要品であります。酒精性飲料は、大古より一般に知られ、且つ盛んに嗜まれしものなるは、已に人の知る處にして、飲料より蒸餾して其の成分たる酒精を造る事を發見せし

は、今より一千年前、アラビヤ人に依つて始めて行はれしと云ふ。爾後數多の原料に依つて、逐次優良なるものを得らるゝに至り、醫藥に飲料に世上に傳播せらるゝに至る。凡ての藥品の溶解料、丁幾劑の基礎料、香料の製造等其の用途枚舉に遑なきほどであります。

76、醋酸カリウム液

本品は歐洲に於て、専ら民間劑として夏目斑に用ふ。其の製劑は甚だしく腐敗して微菌を發生するが爲めに、貯藏に堪えず、矢張り用に臨んで新製すべきものです。

77、酸化鉛 (密陀僧)

類赤黄色の重き粉末にして、鉛化合物通有の劇毒性あり、白髮染の材料とします。

78、麝香

古來より香料として知られたる本品は、麝の壯獸の臍と、陰部の中間に位する腺囊の分泌物であります。本邦に販賣するものに、雲南麝香、本口麝香、白

本品を美顔料に用ゆる人あり、誤りたる事なり。

〇〇五 即ち一匁の百分の一強。

次硝酸蒼鉛製劑を外用して後ち食欲の缺乏、流涎、齒齦の藍黑色等、鉛の中毒と同様の症狀を呈せし大家の幾實例を聞けり。

毛麝香の種類があります。

麝香の固有の香氣成分は未だ詳かならずと云ふ。歐羅巴にては、本品は皮膚を艶麗ならしむるとして、老婦人は極微量を飲用す。(〇〇五) 恐らくは、皮膚の蒸發機能及び皮膚の分泌作用を旺ならしむるに依るを以てなるべく、皮膚を艶麗ならしむると云ふは穴勝ち無稽の事にも非らざるべし。本品を香料として用ふる際は、金屬鹽類、硫黄、キネー、樟腦等と配合する時は麝香の香氣を滅絶せしむるを以て注意せらるべし。

79、次硝酸鉛

本品は創傷に用ひて癒合を催さしむ。又一時白粉の基礎材料として、歐米にても盛んに用ひられたれど、時々毒作用あるを發見せられてより、不純品に依るなるべし 一般に用ひられませんが。

80、ヒマシ油

本品は粘度濃調にて、臭氣あれど、酒精と配伍して、髮油となす時は毛髮の黒色美を保たしむ、其の他グリセリンを加へてブリアンチンを造るに用ふ。下

劑として用ひらるゝは人の知る處であります。

81、ヒロガロール (焦性没食子酸)

本品は還元性強きが爲め、其の性を應用するものに用ふ。皮膚、毛髪等を染色する場合、他の藥品と配伍す。

82、没食子酸

本品は染髮料の材料として用ひられます。

83、硝酸銀 (劇薬)

是れ又染髮料の材料として用ひられ、頗る變色し易きを以て、光を遮る黒色瓶等に貯ふるを要す。腐蝕等には、次の製劑を應用します。

84、硝酸銀加硝石

悪性腫瘍、梅毒性腫瘍等の腐蝕に用ふ。比較的緩和にして重寶のものであります。

85、ステアリン酸

本品は白色脂肪様の感覺ある固塊にして、一見パラフィンの如し。パラフ

アンモニア性硝酸銀溶液とヒロガロール溶液と合して染毛劑となる。

普通、クレームと稱するは本品の石鹼化したるものなり。

インの代用として軟膏、臘膏等を作ります。鹼化作用を起さしめ、化粧品材料とす。

86、含糖カルチウム

本品は佛蘭西にては縮毛の矯正に用ひます。但し糖化作用充分ならざるものは、甚だしく切れ毛を生じ、恐るべき禿髮となる事があります。

87、バラダイス・ラ

本品は秘密薬に屬し、成分不明なれど、露西亞産の揮發性樹脂油、及びメントール、カルボル、ヨセネ等の反應ありと云ひますが、其の他は不明です。

本品は美容術に缺く可からざるものにして、其の蒸氣は微細にして、芳香また佳快、鼻粘膜を軽く刺戟し、頭腦を明快ならしむるも、コカイン、アドリナリンの如き習慣性作用なく、表皮に觸るれば死滅したる角質を柔軟ならしめて、剥去り易く、被術者をして爽快を感ぜしむる事多大であります。只其の高價なるを缺點とします。然れども一オンスにて一萬立方尺の噴霧を起すを以て、五千人の施術が出来るを見れば、又安價のものと云はざるを得ないでせう。

一オンス 二十圓前後なり

88、ベルヒドロール

皮膚漂白劑として用ひらるれど、單味の場合は反つて黄色人種は、茶褐色となる事があります。斯の藥品の破裂に依つて女優ヘレナの一眼を損せしは人の知る處であります。

以上述べたる以外に一般用ひらるゝ必要藥品頗る多し。中には内地にて買入れの困難なるものあれど、其のものゝ性質を知つておかなくてはなりません。

消毒の巻

消毒は、如何なる人も知つて置かなくてはなりません。が、厄介な事は、微菌が肉眼に見へません爲め、つひ粗漏の行爲に出て、大へんな事になる例があります。

細菌は、甚だ強き継続力、及び保存力を持ちます。又其の生命を持続せんが爲めに、外圍よりの侵犯に對し、防護の設備を備へます。宛も吾等住居の門戸墻壁の如きものを細菌膜と云ひます。

細菌膜は、植物細胞の如き形式的のものと異り、窒素を含有し水及び其他の物質の侵入に對し、障壁の作用をなします。故に一般に細菌學の智識なき人の、消毒劑の不規則なる使用及び少しの乾燥を與ふる位の程度は、細菌の生活機能を一時停止し得るのみでありまして、細菌には恐るべき潜伏生活のある事を忘れてはなりません。

継続力
あとつぎをこしらへる力。

細菌は自己の生活に充分なりと認むる時は、盛んに繁殖し、然して生活繁殖に、尠少にても不適となりたる場合は、潜伏生活となり、其の種属の、絶滅を防がんが爲めに、芽胞なるものを形成す。是れ新なる細菌の相續者であります。

此の芽胞膜は外來の迫害（消毒）に對し、其の防禦力、極めて偉大でありまして、通常の細菌の、死滅すべき化學的、理學的方法にては容易に死滅せず。尠くも其の十倍以上の力を費さなくてはなりません。

細菌其の物のみの場合は、消毒薬も比較的良く奏効しますが、藥物其の物が、細菌と共に、或る物體と結合して、特異の働きと變する時は、効力の減少或は奏効の中止となります。故に是れに注意しなくてはなりません。

法規として一般用ひらるゝものは、

一、燒却

に付すべきは、膿、及び患部より出でたる血液、如上の物質の附着したるガーゼ、綿花、その他、布片、器具等にして、消毒後再度の使用に堪へざるもの。

二、蒸汽消毒

に適當するは、吾等の最も使用過度なる、タオル（西洋手拭）及び硝子、カップ、面粉壓出器等の器具、ガーゼ、綿花、繻帶等とす。但し金屬類の器具は消毒後速かに取出し其の物相當の、例へば、酒精にて拭ひ置くとか、ワセリンの如き防錆性の物品を塗布し置かなくてはなりません。

但し髪道具は此の蒸汽消毒を施す時は、再度使用出來ざるほど變形する事を以て藥品消毒の方がよろしいのであります。

蒸汽消毒は流通蒸汽を用ひ、攝氏百度以上の濕熱に觸れしむべしと云ふ事になつて居ります。

三、煮沸消毒

は煮沸に堪ゆるものを水中に浸し、沸騰後三十分以上煮沸するを要します。

四、藥物消毒

消毒薬とは、細菌を撲滅し、尠くも其の繁殖を防遏する力ある藥品をいひます。然し藥品の性状に依つて、何れの藥品も、如何なる物質に對しても同様の

蛋白化水銀となる爲め、微菌まで力が届かない。

効力あるものでありません。一例を引くに、昇汞と云へば何人と雖も劇甚なる毒薬にして、消毒力に富めるを知ります。其の二萬倍の稀薄溶液と雖も、尙ほ恐るべき脾脱疽菌を殺す作用ありと云へば、何人と雖も其の強力なるに驚きます。されど、痰、血、膿汁、等には極度の濃厚液と雖も効力薄しと云へば尙一層驚かれます。其の故は蛋白質に合ふ時は、一種の化学作用に依り蛋白化汞となるを以て、本来の性状を發揮する能はざるに依ります。故に器械的に、盲目に消毒否不消毒を行ふ様な事なきやう各藥物の性状を記憶するを要します。

五、昇 汞 (毒薬)

昇汞は、溶液、即ち昇汞水として用ひられ、消毒薬中、其の消毒力最も強し。されど毒性、又最も強く、〇・二以下の量にて已に人を死に致す程のものなれば、大面積の患部に用ゆる時は、急性中毒を起す患あり。又皮膚より吸収せられて、慢性中毒を起したる例多し。故に不斷に使用せざるを良しとす。又無色無臭にて、其の溶液は常水と區別し難きを以て、昇汞水を調製するときは、フクシンの類を加へて、微かに着色して置くことを要します。

或大家は其比例を擧げて曰く

水中	作用後六分	芽胞生存数	8
昇汞	0	同	124
食鹽	2瓦	同	1084
食鹽	10瓦	同	

石炭酸は、現時より凡三百年前、ルング氏が、石炭タール中にはれを發見せし其の原料に依り、石炭酸なる名稱起り。使ひよい様に酒精又はグリセリンで倍量にして置くとよい。

昇汞は、十六倍の水、三倍の沸湯、三倍の酒精、十四分のエーテルにて溶解します。

昇汞水を造るに當り、一般に食鹽を加ふるを普通とす。是れは昇汞を一層可溶性ならしむるのと、其の酸性を中性ならしむる爲めに用ゆ。されど昇汞に食鹽を加ふる時は、尠ならず其の消毒力を弱めます。

然して是れと反對に、〇・五プロセントの酒石酸、五プロセントの稀鹽酸を加ふれば、効力一層多しと云ひます。

其の細菌の發育に對する力は、二万倍乃至三万倍にても發育を抑制し得られ、一千倍—二千倍にして、菌を撲滅せしむと云ひます。

六、石 炭 酸 (劇薬)

消毒料としては誰一の權威たるを失はず。家屋病室の消毒には、百倍のものを噴霧器を以て噴注せしめ、便器、膿盆等の消毒に宜し。

櫛、筭、束髮用ピン等も又是れに依り消毒せられます。石炭酸は、前項昇汞と反對に、食鹽を加ふれば効力一層強大となります。十

皮膚面には石炭酸瘰癧を造る事最も多きを以て、(一、二、三、)プロセントの溶液の濕布(帶)獨逸の如きは皮膚の消毒に現今本品を使用する事なしと云ふも過當に非ず。(クレゾールを代用とす)

クレゾール水は、クレゾール石鹼液六分に、水九十四分を加へたるものにして、クレゾール石鹼は、クレゾールとカリ石鹼との(同量)混和物也。其のクレゾールは、粗製石炭酸の事也。

五倍の水に溶解し酒精、グリセリン等には隨意の比例に混和します。

丹毒、破傷風等の消毒料には大いに用ひらる。然して天然痘の消毒にも又必要です。本品の五十倍の溶液にても、痘漿の菌を撲滅し得る力ありと云ひます。然し、石炭酸水使用(皮膚に)は甚だしき皴を生ずと云ふは實際です。瘰癧と云ひ、皴と云ひ、顔面には先づ使用せざるを良ろしとします。

七、クレゾール水

クレゾール水は、安價にして有力なる消毒薬であります。

上記クレゾールは、水に全部容易に溶解し難きを以て賞用せられざりし處、加里石鹼との混和液、即ちクレゾール石鹼液となすに依り、水に容易に混和し、消毒力一層強烈にして、石炭酸の如き毒作用なき事の發見せられてより、大いに用ひらるゝに至りました。

獨逸の如きは、警察令を以て、出產等の消毒薬としては、必ずリゾール(即ちクレゾール石鹼液)を使用すべき事を布達して居ります。如何に本品の有力なる消毒薬なるかがわかります。

凡ての消毒料として良好なるは無論にして、殊に髪道具の消毒、即ち油じみたるもの、消毒には、其の石鹼作用と相俟つて無上の逸品で、櫛、髪用ブラシ等は、消毒は勿論、清洗せんと欲する際、本品液中に侵し置き、後ち水洗すれば、其の垢膩を見違へるばかり美麗に取り得られます。

フォルマリン (劇薬)

フォルマリンは澄明無色の液にして、特殊不快なる透籠臭があります。是れ即ちフォルム、アルデヒド瓦斯の臭氣であります。

本品は消毒力甚だ強く、其の瓦斯状なると液状なるとを問はず、極めて稀釋したるものにして強烈なる殺菌力を有します。

フォルマリンは、消毒劑としては吸收作用なく、高等動物に對しては、比較的無害にして甚だ理想的の如くなれど、不快なる臭氣と刺戟作用あるを以て、器具、室内等の消毒には至極適當なれど(室内の消毒には硫黄の煙蒸に依る亞硫酸瓦斯の發生、及びクロール瓦斯を用ひたれど、是れ等は衣類を變色せしめ、金具其の他の金屬物品を毀損する事あれど、フォルマリンには此の患がない)皮膚の

規則の如何に拘はらず、吾等の用ゆる牡丹刷毛の類は、本品に依らざれば乾燥消毒は出来ません。私は硝子壺に毛細管作用に依つて僅かづ、瓦斯の出る様な仕掛の小瓶を入れ、刷毛と共に置き、後ち適當時期に取り出し臭氣を去らせます。

消毒には、其の刺激性悪作用に依り使用せざるを良しとす。本薬品は稀釋なる液にても、鼻、及び眼を刺戟し不測の害を起す事あるのみならず、皮膚に皸を生ぜしむる事甚だ速かにして、且つ手掌、手背の如きは甚だしき粗面となり、遂には名刺紙の厚さに、べらべらと剝げ去るを實見せし事幾例なるを知らず、兎の耳、鼠の尾等に本品を數回塗布する時は、彼の柔らかき耳も尾も硬化して、彈力の失せたるゴム管の如くとなり、鹽煎餅を破碎するが如く、ボキンと折られます。或る學者は、本品は無害なりとして、麥酒、葡萄酒、果物等の貯藏に賞用せりと雖も、埃國にては有害なりとして許可せずと云ひます。

前にも述べし如く、器具、消毒衣、書籍等の消毒には、是れに過ぐるものなし。若し消毒衣に微菌の附着したる恐れある場合は、ガーゼの如き布片に、微量のフオルマリンを浸し、消毒物の内に疊み込み、サイダー、ビール等の空箱等に入れ、密閉し置く時は、速かに目的を達し得らる。患者の常に觸る、書籍等、同様の方法に依り消毒せられます。

ホルムアルデヒドには、數十の各種製剤あれど、効用は皆大同少異です。

鉛毒の巻

鉛毒の事は此の位の短文では盡くせませんが、一寸の素人の参考までに述べて置きます。

鉛の白粉は明治三十幾年かに禁止せられた？筈であつたが、在來の習慣や、今日ほど良いものがなかつた結果、ぐす／＼になつて居たのである。

然し今回は、或る期間を限つて發賣を許されぬ事になつたのは幸ひである。鉛の白粉が付きの良いといふのは、しみ込み易いのである事は、化粧欄にあり。

鉛毒患者はこれからは尠くなるでせう。が、鉛の白粉がなくなつても、一度鉛毒にかゝつた人は、まづ一代はついて廻るものと思はねばならないのであります。

凡ての薬は、飲めば身體の外へ出る。ビールや炭酸水が早く尿となつて外へ出るのは周知の事であります。

又素人の知る鐵劑も、飲用後八時間も経つと、吸収せられた以外のものは亞硫酸便となつて眞黒く排泄せられます。處が鉛は蓄積作用が大きく、容易に外へ出ない、

鉛は人が左程に恐ろしく思はぬのは、吸収が極めて緩慢で、外のものゝ中毒の様に目立つてのいたづらをしないからです。故に、煙草やお酒と同じに、害があるとは知りながらも、目前に故障が見へないから、安心して知らず／＼深みに陥るのであります。

吸収が緩慢であるから、従つて排泄も緩慢である。

是れまでは蛋白鉛となつて血液中に存在するとはかり云はれて居りましたが、私が動物試験の結果中毒せしめた動物は、脂肪衣及び必要臓器に纏絡せる脂肪に、蛋白鉛其のまゝとなつて致死量の數倍貯へられてあるのを見る事があります。

こんな素人にむづかしい事はぬきにしまして、此の頃鉛毒がやかましくなつて、どのお醫者さんも氣をつけられるのは結構

私は是れ迄、千疋余の兎其他の動物を試験して居る。

十二疋の 狐 猿
三疋の 羊
二疋の 犬

等、随分殺して居る。

致死量 其の動物を殺す丈の藥量。

何處に乳房の上へ、白粉を塗る母親がおります。

アンケル氏は鉛毒は遺傳すると云つてゐますが、私もこの説の主張者です。

であります、中にはお母さんに胸の邊へ白粉を塗らなければ、子供の口に入らないから胸から乳へぬるななど、公然と新聞雑誌に書いてあるのは驚きます。そんな簡単な事ばかりではないのであります。

鉛は前にいふ通り脂肪に極めてよく融和飽和いたします故、随つて乳汁の様な脂肪のある處へは何處までも移行するのであります。故に子供が鉛毒性腦膜炎など起すのであります。

鉛毒のあるお母様は、白粉は塗らなくとも、子供に飲ませる乳汁の中には脂肪があり、その中に鉛が含まれてゐますので、従つてさういふお乳を飲んでゐる小兒は、鉛毒性の種々の病氣を引起し、とりもなほさず知らず／＼の間に、母は嬰兒殺しをなしつゝあるわけです。

又昔から虫の強いといふ子供の大抵は鉛毒に犯されてゐるの
 が多いのです。子供が不快を訴へると、大抵の母親は乳を飲ま
 せません。處がその乳が悪いのですから、悪い上に更に毒物を與
 へるのですから、愈々本物になつてしまふのです。ですからこ
 んな理由で子供がひきつけた時には、無理に乳などのませずに、
 水を與へておくのが一番よいのです。さうすれば自然にひきつ
 けは治ります。「乳を飲ませる親はあつても、水を飲ませる親は
 ない」といふのは、かういふことを言つたものと思ひます。

かういふ場合には、一時貰ひ乳などしてお乳を變へるとよい
 のです。又離乳期を早めることもよい方法ですから、母親はよ
 くこのことを注意すべきです。と同時に、くれ／＼も母親の道
 樂から、幼い子供に鉛白粉などをつけないことです。つけるの

くろうとは(藝妓)子供がな
 いと昔から云はれますが一流

の妓は節操の堅いものゝある
 のは人の知つて居る通りであ
 る。それでゐて多くは子供が
 生れないのは何故かと言ひま
 すと、この鉛毒のためなので
 す。その證據には繁殖力のは
 げしい兎に、鉛分を塗布する
 なり、服ませるなりしますと、
 假りに一回に六匹産んでゐた
 ものとすると、この鉛の中毒
 のために、それからは五匹、
 四匹と一匹づゝ減つて、終ひ
 には生まなくなつてしまふの
 です。それと同様に鼠が多く
 て困る家で、猫いらすなどで
 殺しては蛆が湧くのでいやだ
 といふ時には、常に鉛を食物
 に加へて食べさせると、前の
 兎の時と同じ道理で繁殖しな
 くなつていゝのです。又温泉
 へ行くと子供が出来ると思ふ

ならば必ず安心の出来る無鉛白粉に限りませす。小兒麻痺なども
 遺傳の鉛毒から來るといふ説があり、又上肢の働きの鈍いのも
 まづ鉛毒といつてよいといふ説もありませす、これには私も贊
 成します。私はかういふことは子供に限らず、大人にも多いも
 のと思ひませす。廿歳前後の方で、肺病でもなく、肋膜炎でもなし
 に、何となくかばそいといふ人がありますが、これも鉛毒のた
 めなのが多いのです。「デューシエヌ氏」は肋間神経痛と稱する
 ものゝ多数は鉛毒だと言つてゐませす、私も實地にこの例はい
 くらも見えてゐませす。かういふのは鉛毒の手當をすればすぐ治る
 ものです。

鉛毒は一定の病氣のやうに、一定の處に止まつてゐず、その
 人の最も使ふ悪い處、弱い處に出て來て災するのです。聲樂家

のは、皮膚から鉛が盛んに出て、鉛毒が取れるために、子供が出来るやうになるのです。

素人療法で一番よいのは、適宜に硫化ガスを含んでゐる温泉に、時々行くことです。但しこの場合に注意しなければならぬのは、あまり鉛が多くある人ですと、その温泉に入浴すると、全部硫化ガスと皮膚に出た鉛と化合して、身體が包まれてしまひ、皮膚

の様、咽喉を使ふ人は聲が悪くなり、又俳優などで眼が見えなくなつた人もゐます。髪結などなら手、殊に薬指に出て来て、その指が自由にならなくなるのです。その他卵巣に腦にその人の少しでも悪い處ばかりに出ます。女のヒステリーが、腦に鉛の含んでゐるためだといふことを立證する剖検例もありました。昔から云ふ血の道なぞと云ふのも、主に鉛毒性腦性狀が大へん手傳つて居たのであります。

私は白粉をつけないから安心だ、などと云つて居られる方も、鉛毒にかゝつて居る面白い例があります。

山國の炭焼小屋に住んでゐるやうな人なら、いざ知らず、日本の婦人等は殆んど罹つてゐない人は無いと言つて、いゝ位です。勿論輕重はありますが……本人自身は白粉などつけたこ

の呼吸作用が出来なくなつたために、卒倒した例もあります。ですから重いやうな人は、すぐ入浴せずにお湯をくみ出して、薄めて、それを身體にあびるやうにして、段々鉛分を除つてからにします。芒硝の風呂なら安全で至極よい。昔から梅干もよいといひます。數字上でははつきり分つてゐませんが、一體に何でも酸は鉛を溶解するので、これを食べる事もよいのです。又脂汗をかくことも非常によいのです、脂汗をかきますと、その脂肪に混つて、鉛分も自然に出るわけで、それでよいのです。鉛毒を起しやすい歌舞伎の俳優などで、長生きしてゐる人は、大抵非常な汗かきであるのを見ても知れま

とはないのになどといつても、さういふ方は、親が小さい子供の中に、可愛らしさのために、白粉をつけてやつたために罹つてゐることが、非常に多いのです。大抵の人がこれです。尙もつと恐ろしいのは、知らず識らずの中に入る鉛毒です。よく一般に知られてゐることとしては、珪瑯器や樂焼器等で、その筋で禁止、又は制限してゐるのも、中に含まれてゐる鉛が、害をなすからです。

尙最も恐ろしいのは、自宅に風呂のある方は別として、銭湯殊に下町のお風呂です。震災前に私が百ヶ所近くの銭湯について検査致しましたのに依ると、風呂水の底には炭酸鉛が沈澱してゐました。今でも花柳界がある處では、かういふひどい處があります。誰でもこのことには未だ少しも氣が付いてゐないこ

す。又尿からも出ますから、
 排尿を我慢しないことです。
 前に書いた梅干の良いと云
 ふのは、鉛毒に罹つた動物の
 腸を解剖して見ますと、キセ
 ルのやにの様に腸壁が眞つ黒
 になつて居ます。これは鉛が
 腸まで出て來ても、硫化瓦斯
 が(おならの類)腸にありませ
 ため、其處で硫化鉛となつて
 こびりついて居るからであ
 ります。

是は酸が溶かすのでないか
 とも思ひますが又一面溶かせ
 ば中毒を起しさうにも考へる
 のであります。

鉛は七瓦で死に致すと云ふ
 説と、一五―二〇瓦の大量を
 要すると云ふ色々の説があり
 ます。

下記の理由に依り多数入浴

とですが……。ひどい實例を擧げて見るなら、例へば關西の方
 では、今でも特に鉛の入つてゐる白粉が多く用ひられてゐます
 ので、大阪の道頓堀の中座の風呂が、終演時には、底に沈澱し
 てゐる炭酸鉛が一%を越してゐるやうな有様でしたので、この
 ために若き俳優が、急性の鉛毒性の胃痙攣を起して倒れること
 がよくあつたのです。風呂の底に炭酸鉛の層が、一寸位出來て
 ゐるので、私が考へて風呂桶の底に二寸位の高さのすのこをす
 つと入れさせてから、風呂の爲めに急性の中毒を起す人がなく
 なつてしまひました。こんなに恐ろしいのであります。

其例を引いて寶塚歌劇の浴場にも同様の簀の子を入れまして好
 成績を收めて居ります。

困ることに、鉛毒は何處が悪いと鉛毒特有の症狀がわからぬ

する處は早く行く事、行つて
 入浴して居る内はツマ先きを
 立て、居る事、其筋では簀の
 子を入れる規則を設けて欲し
 いと思ひます。

活版やさんなどには此の鉛
 輪が必らずあります。

十年ほど前に帝劇の多衆集
 合の處で、澤村門之助氏が、私
 は随分亂棒な鉛白粉生活もし
 たけれど何ともない、などと
 威張つて居て、一週間たぬ
 間に鉛毒麻痺で手が動かなく
 なつて皆驚いた事があります
 大阪の廣之助氏などの鉛毒
 麻痺であつた事は衆知の事
 であります。

下記ブラインシュ氏は一週
 間後に鉛毒麻痺の來た事も報
 告して居られる。

事です。診断學上では、齒牙の鉛輪等もありませんが、役者で手
 入れのよい方は此の鉛輪のない人がある。齒齦は美しくて甚し
 い鉛毒に罹つて居る人があります。

私は此の年になつて鉛毒にかゝらない、などと自慢をして居
 るのも當てにならぬので、外國の例を引ても、

タンクレール・デ・ブラインシュ氏は、鉛毒麻痺が五十二年後に
 出ることがあると發表し、又ピョーツシュ氏の卒業論文には、
 平均二十二年で鉛毒麻痺が起ると發表して居られるほどで、俳
 優の老年にでもなつて麻痺が起れば、酒の爲めだ、女の爲めだ、
 中風だと傍から片付けられ易いので、是れ等は精細に檢べる必
 要があると考へられます。

要するに使はねばよい、鉛は一寸毒になる事は見えないから

下記には論據がある。

殊に中年以上の方が俄に足のつる様な場合はマツサージが一番良い。突然には下記の様な方法は即効がある。
鉛毒麻痺は一部分丈け強く来るのが、中風なぞと違ふ點である。必らず何等障害のないところがある。

鉛毒は知らず／＼犯されるが使はぬが一番良い安全であります。又急性の麻痺にせよ、胃痙攣にせよ、突然に發作した場合は、他の部を刺戟すると面白いほど緩解するものである。灸點よろしい、押打もよろしい、臀部を（胃痙攣でも）軽く赤くなる程尺度で叩くのも驚くほど効果があるものであります。
硫黄泉に入つた人は知つて居る事であるが、腋窩、襟足、陰部の如き、絶へず脂肪のある處は、一層眞黒になるのは硫黄泉の爲めに硫化鉛が出来るのである。殊に面白いのは襟足、鼻側、額等の脂肪栓の黒く硫化したものを、白金板にて焼くと微量の鉛が取れる、如何に身體に多量の鉛が知らず／＼の間に居るか分かる故、やつて見らるゝがよいのであります。

正式の美容術の巻

- 一、心得べき氣分
- 二、美容術
- 三、誤りたる美容術
- 四、器械
- 五、其他の手當

寫真を撮る場合は特に注意しなくてはなりません。

共存共榮の意味。

下記標題は別々に述べますと、連絡上二重に書く様になる故、項目を別にしません。

美容術に心得べきは氣分であります。

大體美しからんとするのは、相共に樂む必要からであります故、お化粧しても無理に色々なことをして、これでもか／＼と見せつけやうとする様な事は、反つて他の見る目に反感を持た

思ひ内であれば、色外に現はると云ふ事がある。

下の場合の様な時は、にっこり笑つた方が感じがよい事になるのである。

せるやうになるので、是れでは何の爲めにおつくりをするのか
わかつたものでありません。
殊に其の気分は遂ひ外へ出勝ちでありまして、假に外遊び勝
の御主人に對し、自分も一番美しくして置いて、何ツ外の女に
まけるものかと、奮勵一番大いにめかし込んで、主人の歸りを
待つて居ても、心にもや／＼があつては、遂ひいやに片付いて、
お歸り遊ばせツ、とつんとしたのでは一層折角した其のお化粧
がツンとする手助けになつてしまふやうになつてしまひます。
又私が弟子を求むると、子供の三四人もあつて主人に亡くな
られた方が、子女の教育資料にもと、職業婦人になるべく來た
様な人は、心が確固として居るから、腕も學理もすん／＼進歩
します。

下記のやうな事は百人が百
人さうである。

心を平かにして置かぬと、
顔の形を替へて見せる様な場
合に十分に其の気分が出な
い。

手前味噌であるが、來院の
方は皆知つて居ることである
が、私は絶対に金錢勘定をし
た事がない、人委せである。
又他の事業に手を出した事
がない、朝起きれば子供と遊ぶ
事のみ考へて、子供の様だと
來客に叱られる。

然し其の化粧を見ると、墓穴の角に立つた様な淋しい化粧を
するのであります。

是れと反對に、女優、女給、藝妓衆が正業に就きたいと、熱
心に稽古すると、是れも一層平常の手順がよく運び、早く上達
します。然し其の化粧はラ、ラ、ラツと云ふ様な、浮いたお化粧
になり易い、是れは私が常々恐ろしく感じてゐるのであります。
投げ入れの花も趣がある、野の花も可憐である。然し、床の
間に「キッチン」と飾つた活け花が或る程度まで標準ではあるまい
かと思ひます。

私は投げ入れが大すきである。これとても私の狭い考へでは、
先覺者は必らずや面白き亂雑なる投げ込みに、大いに氣品を持
たすべく努力した結果ではあるまいかと思ふ。柔かい物に凜と

若い方の寫眞の撮り方の場合に必要の事である。
(若くなくとも必要)

強いて柔らかくせよと云ふのでない、自然を寫せと云ふ意味である。

した氣品を持つ事が大切であります。

其の意味で床の活け花の様にキチンとしたばかりでも困る事がある、と云ふのは、私が商賣柄常に縁談の橋渡しをする事が多い、又お宅などでは他から申込が澤山おありでせうと云ふ様なわけで、花嫁候補者が寫眞を續々持ち込まれます。

處で、候補者本物を見ると誠に美しい、愛嬌もあり、淑やかで、これは良い、と考へられるのも、寫眞を見ると皆同じ様に、振袖を着て濟し込んで、皇國の興廢此の一葉にありと云ふ様な顔付きで、固まり込んで木彫りの天神様然として寫つて居て、仲人口をきかうにも、きゝ様のない寫眞が多くあるのです。

日本人通有の缺點？かも知れないが、是等もお婿様に見せる大切な寫眞と云ふ様に考へなくて、無邪氣にありたいのであり

ます。私が普通寫す時は皆さんが「若くてうその先生の様だ」などと云ひます。

私は撮さうと云ふ時には、何か面白かつた事を考へる。曾ての樂しかつた事を考へて、良い氣分になつた時、さあ撮せと差圖する、又しかつめらしい寫眞の入用の時は己れは國士であると云ふ様な考へで寫します。

こうすると自然に氣分が顯れるものであります。寫眞ばかりでなく、前に云ふ如くお化粧にも此の意味の氣分を出すことを頭に入れて置く事が必要であつて、其の外の顔面の建築、造作替等は自から又適當の化粧法に依らなくてはならないのであります。

大體に私の處でやつて居る美容の順序を記して旁々素人とし

消毒其の他の事は改めて書かなくても相當の事をするのが必要であるは云ふ迄もない

瓦斯噴霧器 は瓦斯洗滌器
を代用すればよい。

目にかけると、しみる事がある、害はないけれど目をむつて貰ふ。

て行へるやうに附記する事にします。

先づ瓦斯噴霧器へバラダイスを入れたるものに壓搾空氣を通して噴霧せしめます。(大きなカツプを附けたもの)

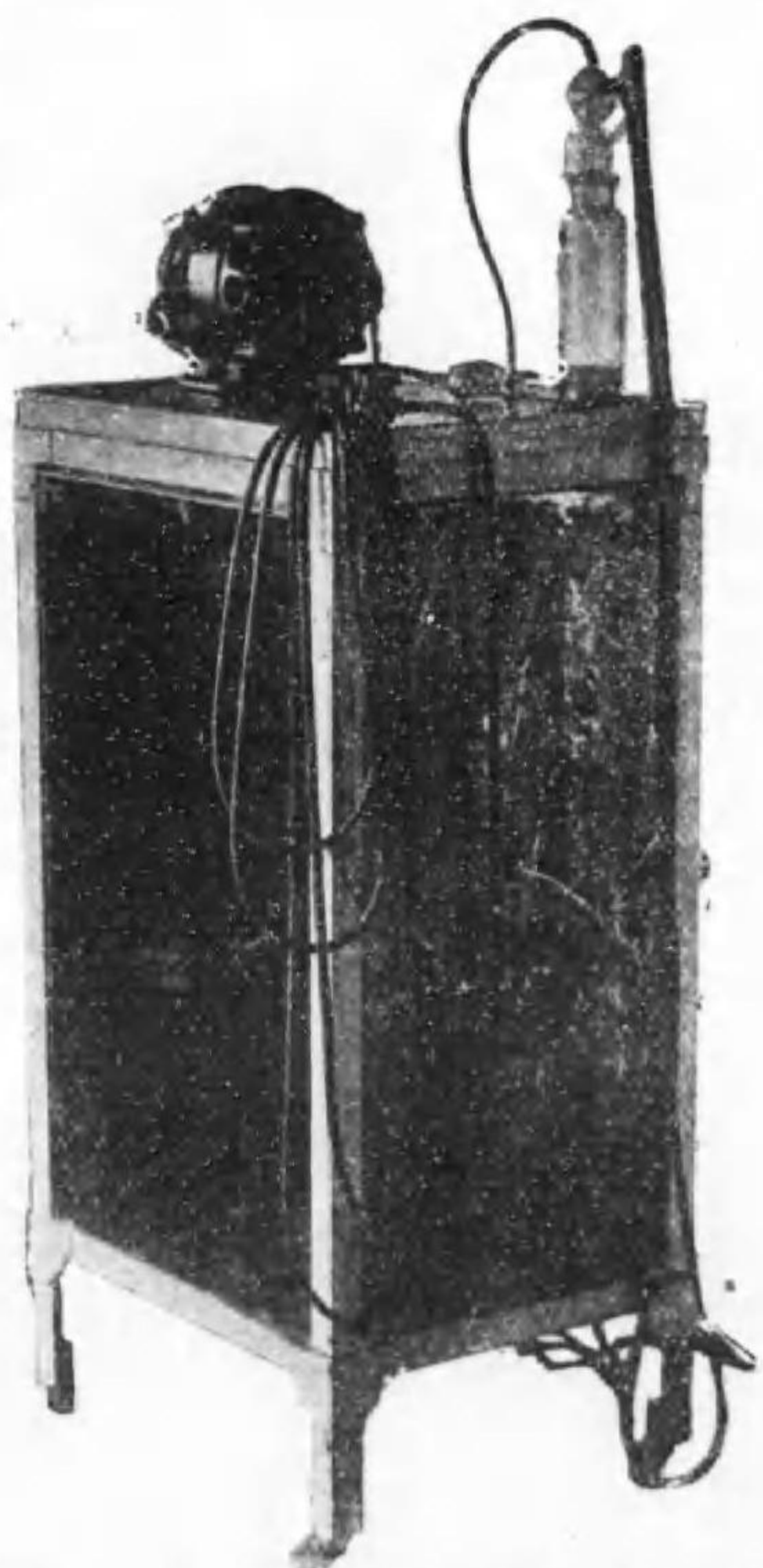
鼻の上で凡そ二三寸離して一ツ二ツと十勘定をする程嗅がす。そして顔を二三回廻すやうにします。

是れは二百七十一頁に説明したる如く、頭腦に爽快の感じを與へさせる爲めと、輕き刺戟を皮膚に與へる爲めとであります。

先づ器械を記します。

(1) エーヤマツサージ器

此のエーヤマ壓搾器のオイル中に消毒劑を入れる様になつて居て、使用せるエーヤマは一々消毒液體をくぐつて來るので極めて安全であります。



上に突き出したのが瓦斯噴霧器、ヒモはゴム管、安全辨四個あり、エーヤマの調節に用ゆ。上四分の一電力モーター。内部にエーヤマサクシヨン、コンプレッソの器械を備ふ

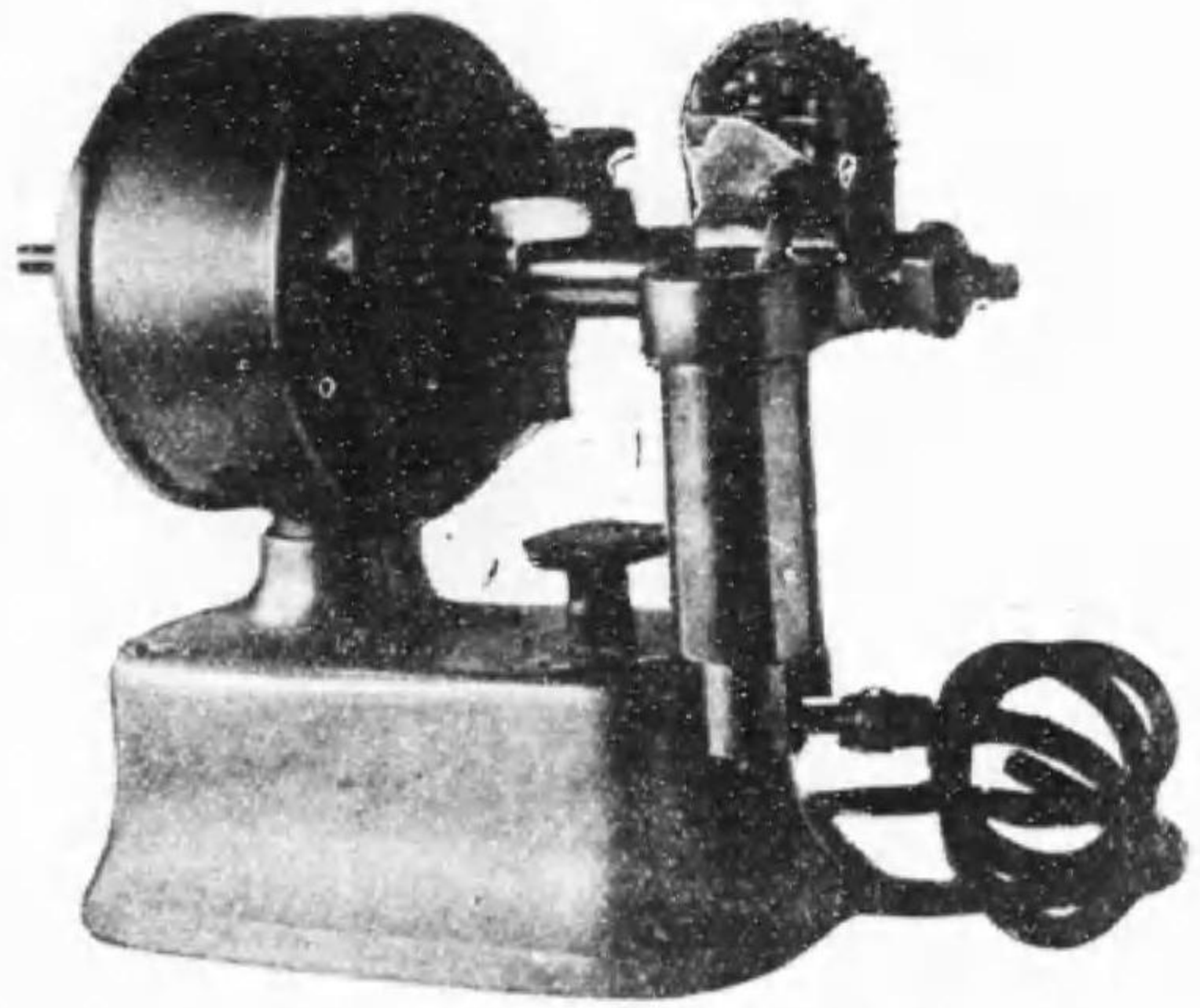
(2) 獨逸式エーヤマツサージ器

吹出管 是れにゴム管を通して噴霧器に連続せしむる強力なる力を持つ。

吸込管 ビール氏爵血法と同じ作用をする強力なるもの。

輕き炎症、少なき化膿(にきびの如きもの)等の爵血に用ひ、

乾角 むかしの吸ひふくべの如きものゝ、血を出さない式。



四分の一馬力モーター附。エーヤ管三個。自在に變改するやう出來て居ます。

二九八

又乾角としてこりを取るのに用ひられ、醫師は腦溢血の場合の瀉血用、其の他用途廣し。呼吸管 此の管口は美容術のエーヤマツサージに用ゆる輕き微妙の働きあり。

安全辨 其の調度は極めて微妙なる力の相違にも働くので、日本人には最も適切なり。

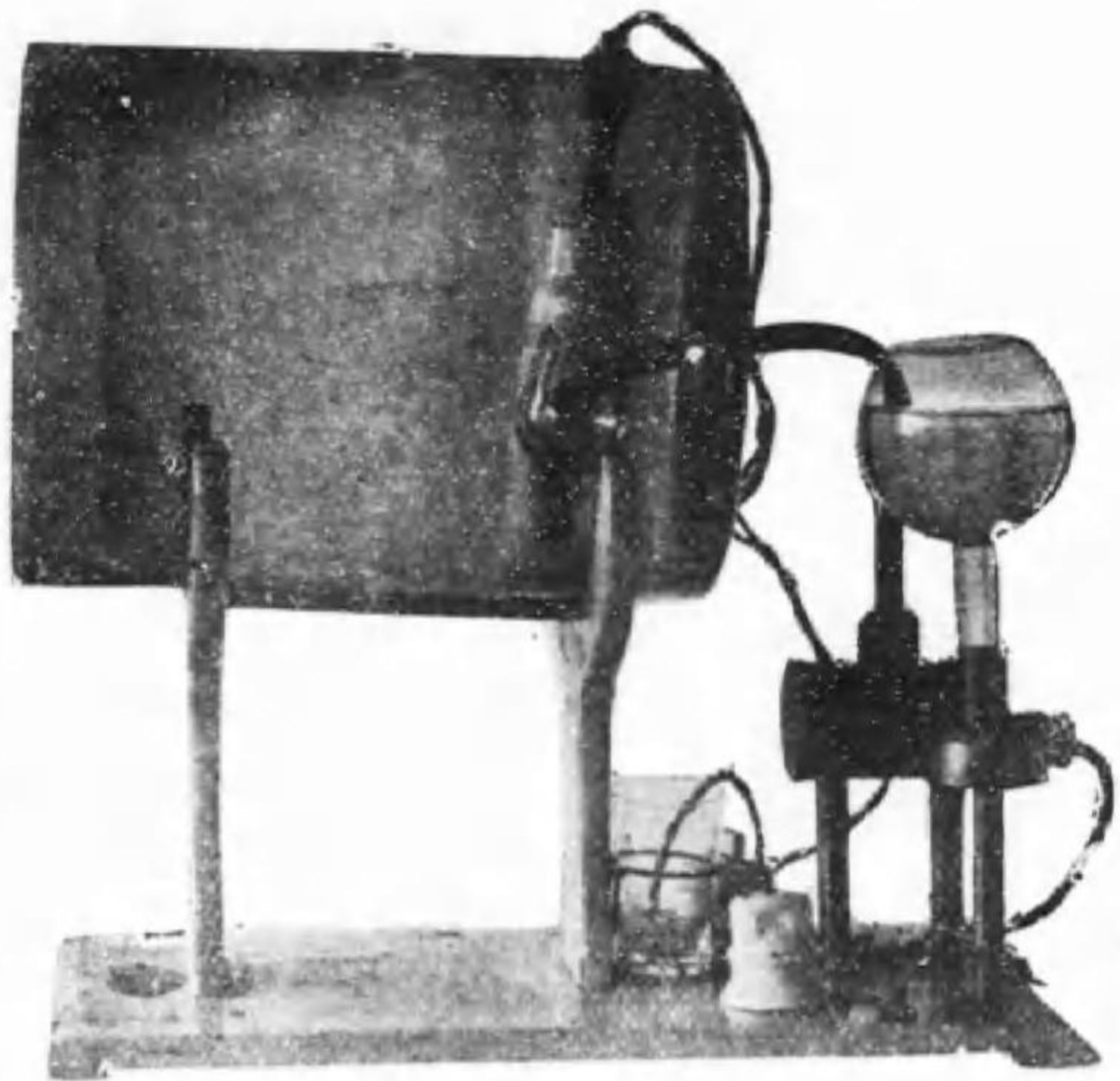
(3) マツサージ器

手拳形の顔を顔に用ゆる時は必らず左手の指を通して行ふのが原則である。これでも日本人の皮膚には當りが強過ぎる。

手拳形のパイプレーターを直接に皮膚にあてる人があつて、是れは日本人の如き皮膚の柔かきものには全然不向である。



長さ一メートルの傳動管を支へて居る、是れは尠くも二呎半を下つてはならない事になつて居る。



(4) 酸素漂白器

これは電熱により必要量の蒸気を顔面漂白用の酸素の分解を助けるだけの熱量が出る様になつて居る。

(5) 漂白分解器

前の様な大仕掛でなく、單に熱を與へて光線を避くるやう赤電球かコバルト色の電熱用の球が付けてある。

電熱球 普通電球は密閉せられて空氣が通はない、是れは根元に小さい穴があいて居て、熱を發散するのみに用ひられて居る。



むしタオルなど右二品の眞似に過ぎない。
其の他の付屬器械は一々其の欄に説明します。

美顔マッサージ法は、身體の普通マッサージと異り、新皮の構成、即ち美しかるべき新なる皮膚を新生せしむる目的なるを以て、筋肉、腱、大中血管等に、力を及ぼさしむる在來の按摩法と幾分趣を異にする點の考慮を要します。
何となれば、普通マッサージは血液の循環を良くし、疲勞を

乳頭部 乳頭層、楯状層とも云ふ。

角質層(上皮、甘皮)は絶えず新陳代謝をなすは、生理當にあるが如し。是迄、美容術を行ふ人が、此の點の委しき生理的方法を説かないのは間違ひである。美しくしき垢ぬけのした肌を造るにも、小皺を去るにも、最も必要の事である。

指頭のマッサージは、弱き皮膚には小皺を造ることがある(刺戟過度の爲め)。エーヤバイブレーションは、下手にやつても絶対に小皺を造らない微妙の働きがある。(アメリカ式のは日本人には強過

醫す等の目的に行はる。無論美容マッサージに於ても、此の意味は十分必要なれど、最も肝要とするは、眞皮以上乳頭部の機能、即ち、一度皮膚保護の役目を終りて老衰せる角質上皮の後繼者を造るべき個所(乳頭層)の働きを旺盛ならしむる爲めにして是れが例を求むれば、乳兒に授乳の際、乳房を揉み柔らぐるは普通のマッサージにして、嬰兒が乳を吸出すと同様のデリケートの働きの爲めに行ふものなるが故に、指頭又はマッサージ器等にては、刺戟過度に過ぐるを以て、始めて獨逸式エーヤマッサージに依る必要があるのであります。

又美容マッサージには在來の横擦法は成績がよろしくありません。何んとなれば、前述の如く極めて上層のマッサージを行ふ場合、普通マッサージの血液の循環を能くすると相違し、

ざる。必らず獨逸式調節のついたものに限る。

毛細血管の錯綜する例(擴大)



靜脈
動脈

此の頃では非常に日本の按摩法も進歩して巧妙になつて来て居るから一概には云へま

毛細血管は相互錯綜し、又毛流に依つて皮膚の向きも狭き處にて變換多きを以て、必らず押打法、即ち輕きバイブレーションでなくてはなりません。

又顔の中央に基點を置き云々と指頭にて美容マッサージを行ふ人あれど、諺にも人の面の變る如くと云ふほど變化の多き顔面を斯の如く一樣に結末をつげんとするは、生理を度外視したるものにして、一般に美容術を行ふと小皺の生ずなぞ云はるゝのは、此の皮膚の働きを考慮せず、むやみやたらにこすり廻す結果であります。

日本の按摩法と西洋按摩法とは、其の術を受けたる人はよく知る通り、日本の按摩法は筋肉に直接強き刺戟及び緩解を與ふるものであつて、一般人に此の日本式の按摩法が頭に深く浸み

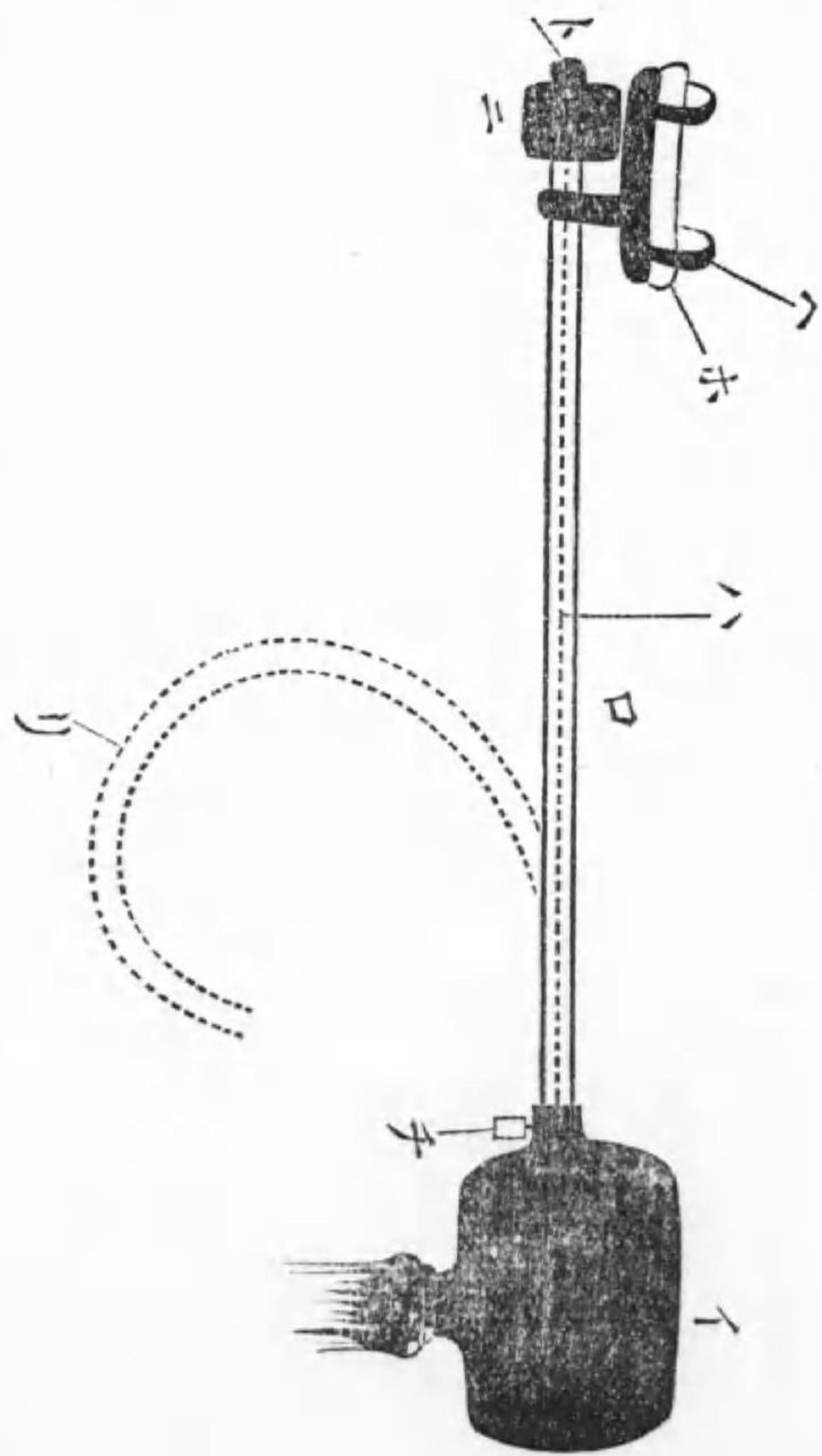
下記の事は、術者も被術者も氣をつけなければならぬ事である。

込んで居るので、血行を順調ならしむる西洋按摩法は、とにかく頼りないと云ふ先入感覺があつて困るのであります。全然行き方が違ふのであるから、一方の感じは甚だしく相違すれど、結果に於ては長短がない、むしろ場合によつては疲労少くして快復の速かなる場合があるのであります。殊に顔面のマッサージにも、此の日本式の按摩法を頭に深く入れ込んで居らるゝ婦人は、やゝともするとバイブレーションマツサージはとも角、エーヤマツサージなど頼りない様に考へられて、不足を云ふ結果、氣の弱き術者及び營業政策の外考へなき術者など、つい釣り込まれて、強きマツサージを施すやうになる例はいくから見せつけらるゝ處であります。是れ等は正宗を荒砥にかけると同様の愚をなすもので、物に

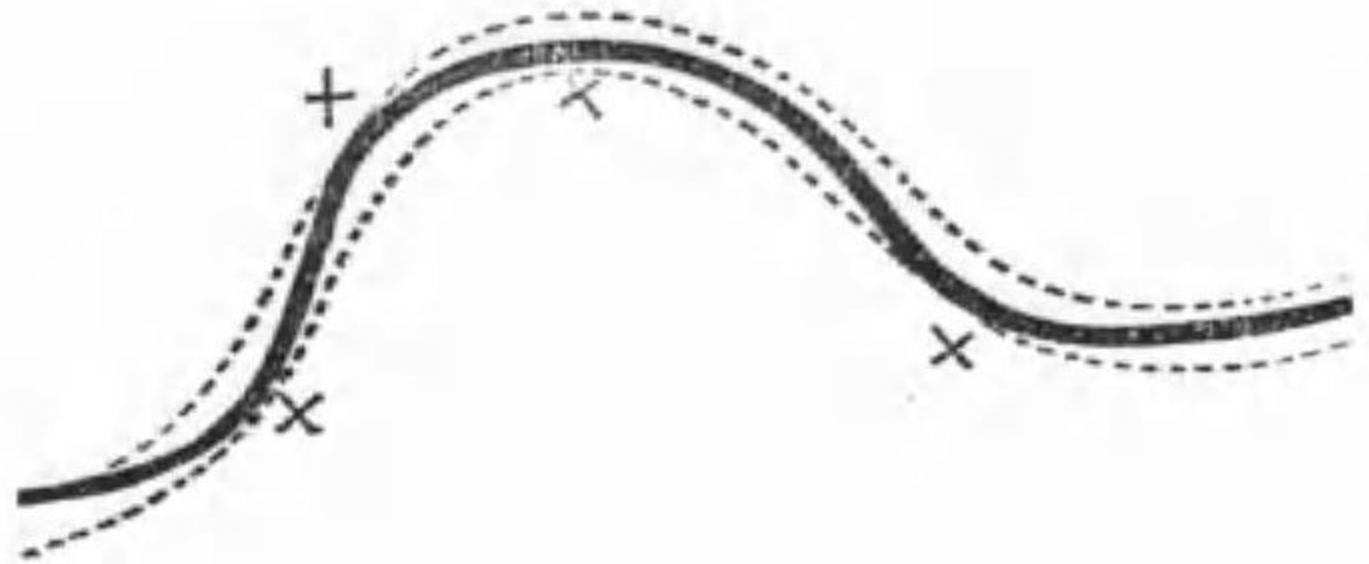
依り時に依り凡ての状況を考へなければなりません。

細かい事はあと廻しとしまして、マッサージを始めます。

イ、電力モーター十二分の一を適當とする。



×點は無理に抵抗する想像



- ロ、傳導線カバー。
- ハ、鋼傳道線。
- ニ、振動振子
- ホ、緩衝ゴム。
- ヘ、ゴムテープ。
- ト、壓迫器。
- チ、油サシ。

リ、導線カバーを順當に曲げたる處。

注意 マッサージのかけ方によつて、種々と曲げ延すについては導線カバーの中には、鋼線の硬直なるものが入つて居る故、二圖の如き曲げ方をする時は、四方に抵抗して、直ちに導線カバーを破るのみならず、振動が不均となり、悪い作用を起す故、出来る限り婉曲に、順當に、無理をせぬやう曲げなくてはならぬ。

○別圖への部コムテープに手脊を通します。

○スイツチを切つてモーターを働かせます。

○手掌に振動を感じます。

○被術者の顔へすぐ持つて行くと、音響や振動を聞いて、軽い肌觸りであるに拘はらず、一寸始めての人は吃驚する事

がありますから、豫じめ遠くより安心すべく豫感を與へます。

○まづ首筋へ、横に平手でつかまぬ程度に、力を入れぬやう振動を感じさせま



す。此の振動は一ツ二ツとゆるゆる數を數へて二十位の時間が適當であります。然し人に依つて相當永き時間を希望する人がありますから適宜考慮せらるゝ事。

首筋のマッサージが済むと、漸次手先の方へ向け、肩を輕

手の圖は皆マッサージ器を背負ふて居るものと承知され、然らざれば形が見へぬ故。

非常に心持の良いもの故。



握む心持になで下げる事。(矢の方向へ)
 脊面腕のつけ根の處は、婦人に限らず男子にてもこつて居るもの故、此の部は指頭で以て數回押壓する事。
 次に、上膊を腕の少し上までなで下す事、若し舉手が出来るならば反對にマッサージすると一層よろし。
 次に顔面に移る。

以後、數を云ふのは一ツ二ツと普通勘定する程度を云ふものと心得られたい。

耳の下と云ふより耳たほの附け際と云ふ方が良いかも知れぬ。

是れも非常に心持の良いものである。又此邊に顔面神経が通つて居る爲め、此の點を上手にマッサージをかけると顔が生き活きて来る(殊に顔面神経麻痺などは其のかけ工合に心を用ゆべきである)

顔面にうつる前に、今一度首筋を二三十マッサージをなし、あゝ良い心持ちだと感じたる時、顔に移る。

顔面は始め極めて軽く、振子の振れ工合で、僅かに指先が時々皮膚に觸れる、即ちバイブレーションする程度に顫顫部を約五十、同一場所に指尖を置いてマッサージをする。

是れを兩頬共したあとで耳の下へ行く。

耳の真下を幾分顎骨の方へ向け軽く二三十マッサージをする。

○耳の下と、こめかみの間を幾回か往復してかけてもよい、殊に瘦ぎずの方などは顔面が肥へて来る、太つて来る、然し肥へた人でも肥へるか云へば、組織の働きがよくなる結果である故に、反つて締つて来る實例がある。

○日本髪でない限り、手の指を十分擴げ何か大きなものをつか

指先がふるえて、其の時々地を叩く程度。

む格好の手つきで、前頭部へかろくかける。(振動の割合に決して髪の形をこわさない)

此の前頭にかけるのは被術者の希望に依つて、相當場所を替へてもよい。

然し振動の程度は、地に指がつききりでなく、必ずパイプレーション程度であるべき事。

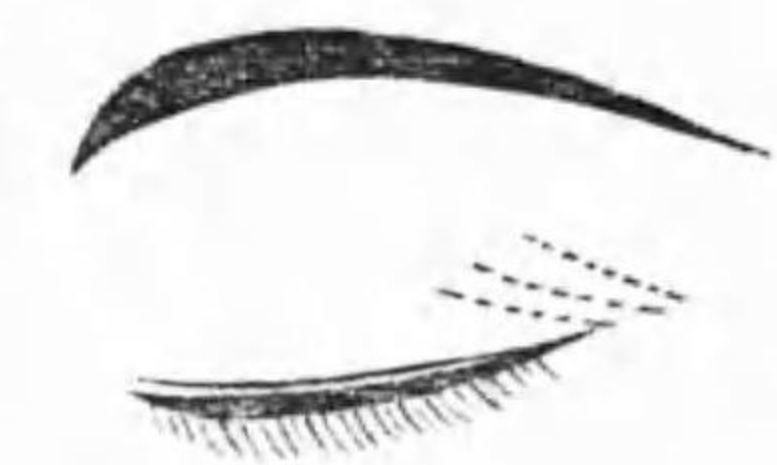
然して眼瞼にうつる。

○眼は一般に目頭の方からマッサージをして居るが、普通疲れた時とか、他の場合はよろしいけれど、美容法から云へば必ず眼の逆にかけてはならない。

○何となれば、目尻には如何なるはれ目の人にも、多少眼瞼にたるみがある、又見へない程度でもしわになるべき素質が

下圖参照

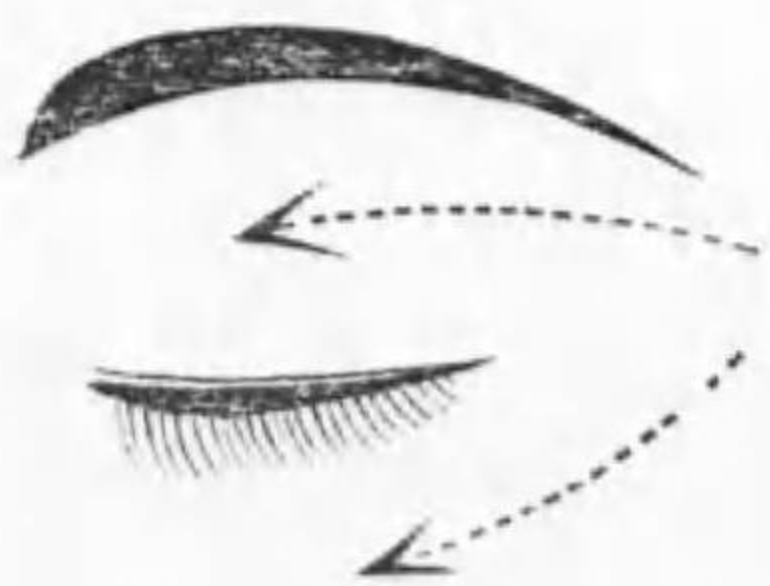
ある、故に化粧欄にも説いた如く、眼頭よりマッサージをする時は、此のしわになる癖を増長せしめる事になる。



クレームの引き方、白粉のつけ方でも、殊にマッサージは目頭から目尻へかけてマッサージをする。圖の點線のやうな波形のしわが出来易い。

故に是れは必ず上記の點線のやうに逆にくと數回マッサージする。

○眼尻の小皺大皺は、最も注意して慎重にせねばならぬのは、しわは大抵くせに屬すべきもの故、下手にしわの横より横押しにマッサージをする時は、一層しわの形を造る故、如何なるしわ



しわの事は後に説く。

にても(縮)縮しわを除く(必)必ずしわの方向を見定め、別圖の如くしわの一本一本に對して方向の違ふマッサージを必要とする。



○殊に指頭を以てしわの逆(逆)に押して行く時は、しわは十字形をなして是れ迄の、いせと反對のいせがつく故、凹みとなりたるしわの筋が反對に(逆)なる働きが永續する時は逆にしわがなくなつてしまふ。

○眼尻のしわと目頭のちりめんじわとは、大いにマッサージの方法が相違する。

○前に云つた通り、しわは逆(逆)にして今までのいせと反對の

エーヤマツサージが最も良
ろし。

素人の被術者は、何んでも
顔中こすつて置かぬと承知せ
けぬれど、私は私の腕を知つ

事をして、反對のしわを生ぜしむる方法を講ずれば良いのであるが、ちりめんじわは、四方八方構ひなしの向き方をして居るもの故、横になでる事なくして、必ず上よりたたく、即ち完全のバイブレーションでなくてはならない。

○マッサージを施すべき場合最も深き關心すべき事は、叱言を云ふにも、悪い事だけ、悪い者だけに叱言を云へばよくきくけれど、其ついでに悪くないもの、悪くない事まで飛つ尻が行くと、叱言が効かなくなると同様に、目頭のちりめんじわの如きは、傍に鼻の如き緊張した處があり、一方には頬の健全の筋肉があり、一方にはよく働く眼瞼に片押しに押されて居る様な處は、心をつけ其のちりめんしわだけに、マッサージ即ち叱言を云ふ様にしないと、他の部へも小言が同時に

て居る人に限りほんの悪い處
丈けを施術する、此の方が遙
かに効力が多い。

くと外の健全の皮膚が皆働き出す爲め、中心地帯の如き目頭
のちりめんじわの處は、四方の壓迫を受けて一層堅横どつち
から出來たかわからぬ小皺が出來るのである。

○故に成るべく、筋肉の組織をのみ込んで、外見上でも一寸違
ふなと見へた處は、別々に部分をわけてマツサージをすれば、
素人がやつても間違はない。

○目尻、目頭がすんだら頬へ移る。

○頬から(目)下腮までの頬の部は七回ほどにわけて左右二回づ
つ鼻の方へ向けマツサージをする。

顔の大小に依つて相違する様に思ふけれど餘り相違はない。

○こめかみにせよ、耳の元にせよ、頬、目とも左右必らず同等
にする必要はない。

別圖参照。

左右兩方、均整の取れた顔
と云ふものは珍しいのである。

顔に限つた話である、大中
血管の働きを促す場合は摩擦
が必要である、間違はぬやう
に。

○しわの加減、頬の肥え、瘦せ、其の他に依つて變化あるべき
ものである。

○額の小皺は癖に屬すべきでない、髪に屬すべきもの故取り去
り難い。

○去り乍ら上からの押叩法は小皺を縮小する事は争はれない。

○素人は、どちら向きでこするか、と聞かれるが、能くく皮
膚の毛流、組織に明るい人でない限り、横に摩擦するは禁物
である。

○パイブレーションは、普通按摩の十數倍の數の働きを持つ故、
普通按摩にかゝつて居る様な心組にはならぬ。

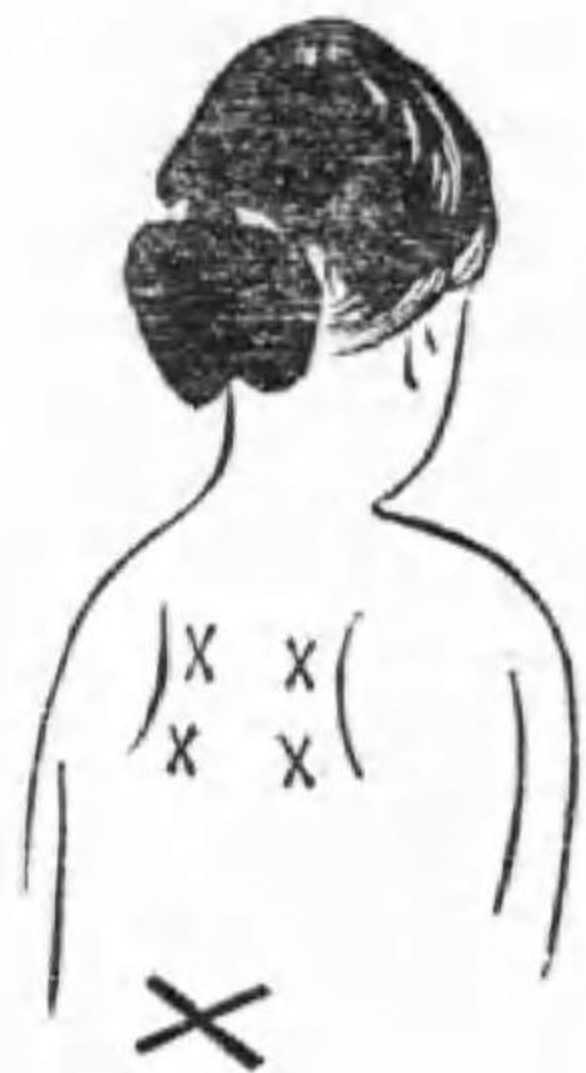
○顔を適度に(五六十)マツサージする。

○次に、眉と眉との間の鼻と云ふよりも額の部に屬する處を、

鼻、耳の如き處は、常に下の様にすると肥厚する。昔から便所で鼻をつまむと高くなると云ふ俗説も、あながち根底のない事でもない。

- 指頭でパイプレーションを興へながらつまみ上げる(十四五)、然して鼻梁をつまみながら下方へ向け、最後に鼻頭を深くつまんで、十五六マッサージをする。
- 此の場合、口を開いて口で呼吸をして貰ふ。
- 次に、唇の上、俗に云ふ人形口の處で、人指指を中央に當て、親指と中指で上唇をツマミ上げる。
- 次に下唇を同様の形として、これは押し付ける様にする。
- 然して腮より逆に頬の上の方へ向け、三四回マッサージをする。
- これが了つたらば、首筋、腕を二三マッサージをなし胸を軽くなで下げる。三四回。
- 其の際婦人には乳房の尖端まで行ない、乳の付け根と云ふも

胃のうしろは大きいXの點



可笑しけれど其の邊までに止めて置く。
 ○若し顔面が神経質然として、不快の顔をして居る人には、身體を起して肩胛骨(かいから骨)の兩側にマッサージを施すと心持ちよく感ぜしめる。

○又胃が異常酸酵を起して、呼吸が臭く、にきびが多く出る場合等は、X點の頸骨より脊髓を數へて十二番目の邊へ強くマツサ

ージを幾回かすると、胃の調子もよくなるのである。
 ○若し器械のない素人が此の方法を行はんと欲するならば、摩擦法は熟練の上にも熟練を要するもので、皮膚及び組織の構造もよくわからぬものには容易に行へるものでなく、行つて

以前の如くマッサージを了ると、顔面に非常に脂肪が浮いて来る。

又脂肪のない方でも、皮膚が俄に働きたす故、新陳代謝による老廢物を吐き出すのである。

是れを一時洗ふ。

洗ふにはアルカリの強い石鹼、又は洗顔クレームのアルカリ分の多いものを用ゆると皮膚を損ずる。

茲で一吋、マッサージに何故バイブレーションとエーヤマツサージと同じ様なものでありながら双方を使ふかと云ふ事を説明します。

縁日で鉢植の植木を買つて来て地に下ろす、然し容易に根が

石鹼溶液へフェノールクタレインの酒精溶液一%を落とし、餘り多く變化せぬものを用ゆると良い。

張らない、是れは何故でせう。

一寸素人は、植木の根だけの穴を掘つて、夫れへ樹木を植ゑる、其の穴は根が入る位しか耕さない爲め、根の張り様がないのであります。

お百姓が稻を造るのに、種は僅かに一分か一分五厘のものであるのに、何故一尺も二尺も深く掘るのでせうか。

草花造りが、俗に芥子の種と云ふほど、やつと目に見へる位の小さい粒を播くのに五寸も一尺も何故土を耕すのでせう。

是れは、やがて伸張して来る柔らかかき根を出し易い様にする爲めであります。

皮膚も皮下の組織は、色々と各組織相當の働きに依り、十分に働いて相當機能を發揮すれど、表皮角層は大體に於て、皮膚を

保護する爲めの死物？であるため、多少是れに對し新陳代謝の手傳をしてやらなくてはならないのであります。

まづパイプレーションに依るものにせよ、摩擦法にせよ、皮下組織の働きを一層増長させます。

是れを例へれば、土を十分深く耕して、上のものゝ働きよい様にしてやると同様であります。

處で、耕したなりに種を蒔けば、深い處へ種が落ちて腐つてしまひます。

故に耕した上を地ならしするのです。細かい種のものならば土を篩にかけて平にします。

是れがエーヤマッサージの必要の理由で、乳頭層以上を働かすには普通マッサージでは強よ過ぎます。

種子は、其粒子の一倍から三倍位より深いと腐つてしまふ。
(特別例はあるが)

これはアメリカ邊で剃刀跡の目に見へない傷を鬱血せしめて治す目的に使用するものです。此の理をよくわきまへてカッブを柔らかく用ゆると良いのであります。

當業者は自己の領分であるかお医者さんの領分であるかをはつきり知つて、無理に手當をしてはならない。

乳頭層より新たなる角質の出るのは、幾回も説いた通りであります。

此乳頭層から表皮になる乳？を絞り出す、軽い／＼働きのエーヤマッサージの効能であつて、彼のカッブと普通に云ふボカン／＼と一般にやつて居るのは、つまりエーヤマッサージのつもりであらうが、今説明する如く、僅かの乳頭層の働きの爲めに用ゆるもの故、是れでは組織の方へは多少力は行くにしても、新皮を構成し、美しき柔らかき角質(上皮)を造るには更に適しないのであります。

洗顏が済んだらば、其の時にきびにせよ、ふきでにせよ、其の他の盡すべき手段を此の際施すのであります。

然してスコンヘイツミルクの如き滑澤性のある美顔料を塗り

下圖はにきび壓出器。兩端に適當の穴がある。



ます。

だましく改めて行くつもりでやる。

そしてエーヤマッサージに取りかゝる。此のマッサージ器は随意に調節がとれます。素人衆に限らず業者でも、小じわの深いものなど、強くすればよい様に思はれるが決してそうでない、強き癖ほど軽く持つて行かぬと、自身是れまでの出来るくせの方が、一層働き出して悪い結果を生ずる故、極めて軽く取扱ふ事が肝要であります。

首筋には必要である。

一寸かゆくてかくと、次がかゆくなると同じ理由。

其のかけ方は、普通マッサージのかけ方の方法と同一でよいのであります。然し鼻の頭、襟などのかける必要のない處、出来ない處は云ふまでもなくするに及びません。目頭の小皺は其の點に(三十位)マッサージを止めて置く、此の場合、筋肉へ押付けぬやう、吸い付くが故にくつつく程度が一番よろしいのです。

顔面其他の部も同様、エーヤカップが吸い付くが故に顔へつく程度にする事が肝要です。

エーヤカップを當て、其の組織を働かすに就ては、一部の皮膚を働かすと次の處も働かうと準備するものであります。それを見た目が美しくしい爲め、とかく私共の弟子でも早くさつさと過ぎ去り易いのです。

何事でも左様である。氣拔
けが一番禁物である。

是れをたとへると、號外賣が、號外！號外！と飛んで行く、
買はうと思ふとどこかへすつ飛んで見へません。
皮膚にあてるエーヤマツサージも此の通り、隣りの組織が働
かう、號外を買はうと思つて居る處へ、持つて行く様にすること
が肝要で、素通りして仕舞つては何にもならないのです。
何にもならない斗りではなく、働かうとして緊張して其まゝ止
ると氣拔けがします。
つまり麻痺習慣がつくからいけないのであります。
此のエーヤマツサージのカップの程度は、前記顔のマツサー
ジの方向の處で、十五か二十位數へる程度と思へば、大した誤
りはないのであります。
エーヤカップには形が色々あります。

下記の様な事は、器械の種
々のはたらきを知る爲め掲載
すれど、當業者の領分でない。

これは極めて必要なもの。
小じわとりになくてならぬ。

左圖に就て説明しますと、



是れはあざなどをとる時用ゆる、火にかけて形を自由にする
硬質硝子の管。



是れは目のふちの如き處、鼻の下のやうな狭い處に用ゆるも
の。大小種々ある。

これがエーヤカップ。



これは形が幾種類もある、場所の廣狭に依つて適宜のを用ひます。又小さきにきび等を爵血せしむる爲め「インキ吸」の硝子管の如

き形をしたのもあります。

又、性の問題に關する附屬器もついて居れど日本には使はれません。

私はむしタオルを毎日して居りますが、と、むしタオルが非常に効く様に思つて居れる方があるが、むしタオルだけでは何も効かない、これから先きをよく見られたい。漂白法には、炭酸法、酸素法、コロイト法等がある。

エーヤマツサージが濟んだらば皮膚を漂白する。此の漂白は表皮の死んだ角質が白くなるだけで、筋肉が白くなるのでないのです。つまり、死んだ上包の皮だけが漂白出来るのです。故にどん

一度漂白してと云つても、一回でと云ふ意味ではない。

鉛の白粉を使つて居る婦人には硫黄類は用ひない。顔が眞ッ黒になる。

此のペルヒドロロールはよく洗滌した上等品でないと不純物を含む爲め反つて黒くなる例もある。

なに色の黒い人でも、一寸見は白くなり得らるゝのであります。そして一度漂白して、あとの手入れさへよろしければ、いつまでも美しい肌は、皮膚の新陳代謝の働くと相俟つて好成績を擧げ得らるゝのであります。

顔面漂白

一番造作なく行ひ得らるゝのは、眉毛、生え際を除きたる部分へ

硫黄乳

を塗ります。然して一二分間作用せしめて水に浸したる綿花ガ

ーゼを以て拭ひ去るのです。然して、普通の注射針の不酸化針を備ふるものにペルヒドロロール

これを知らない人が多い。

の極めてよく瓦斯洗滌が出来てゐるものを含ませて表皮角層のみに與へるのです。注射するのではない、是れを間違へてはいけません。只單に角質のみを漂白するもの故、下へ注射の様な事をしては何等効をなしません。然して前掲三百頁の圖蒸熱器で顔面をむします。一般にタオルむしと云ふのは、此時の類似法と云ふも酷であるが、漂白剤が温酸分解して漂白作用を起す爲め、是れ等の器械を要するので、單にむしたタオルだけで美しくなるならば、湯屋の三助は業平の様であるべき筈です。漂白剤なくして蒸タオルを用ゆるは、皮膚を一時柔らかくする以外には恰も電流なくして電球だけ持つて燭がつく／＼と思つてゐると同様の事でありませぬ。

素人でも考へ及ぶことである。

斯る場合の消毒は十分にすべきである。

色素が皮膚を保護するのは前に述べた通りである。故に一時色素が失くなつて跡を保護して置かないと、あとから一層出る。

又此の様に大が／＼でないものは光線を出さない様にしたる手持温熱器で温を與へるのです。

又是もない時、はじめてタオルを以てむすのであるが、タオルが薬液を吸つてしまつて効をなさない事があります。

強いしみ、そばかすは其の部面より側面の方をすべきで、此の方が効があります。

額の茶色など、數分間其の儘置くと痒くて／＼堪らなくなるが、即座に幾分か漂白するのを見らるゝのであります。

然して一切了つたらば、適當の保肌料を直ちにつけて置くのがよろしいのです。

そうしないと他の色素が相融通する事があります。

無論昔は上の模様の方が多
かつた時代もありますが、む
やみに地味であつた時代のあ
とをうけた爲め。
今日では上に模様のないの
は反つておかし。

衣裳美の巻

省みれば古い事です。日本人の衣裳が、上の方が餘り淋しさを感じる爲め、明治時
代に婦人の禮服の上に大模様をつけたのを三越へ注文しましたら、六番賣場で餘り突
飛だと笑はれましたのを、無理に注文した事があります。夫れ以來、實演に、口演に
規格ある着せ付け法を公演し、大阪毎日婦人見學團、福日、新愛知、熊本、鹿兒島、
婦人世界、國民新聞、その他數十社及び學校の爲めに、五分以内の着せ付、二分以内
の化粧を身嗜みとして指導しまして、一時は(今でも)此の種の講演が婦人社會を風靡
する有様でした。然しもう世間にくらも斯様の事を行ふ人が多くなりました故、其
の價分に委せまして、一寸の足りない處だけをお話し致します。

衣物を着ますのに、何方も自分の身體に合つた様に仕立
けれど、まだ極めて精細とは行かないのであります。

呉服店賣場で見ましても、袖口は何程、袖丈は何程あとは
女並で、などと注文して居らるのであります。是が相當名の

知られた着物道樂の御婦人での話である、實に其の無理解に驚くのであります。

女並！ 女の方は色々な形をして居られます。健康美で四斗樽の如き腰をせられて居る方もあれば、葱の苗のやうに青白く、ひよろりとした方もあります。

日本の模様物が、特別注文せぬ限り、斯る様に仕向けてある。呉服やさんの方も注意を要する事もある。

是れが一概に女並で片付けられる爲めに、茲に着せ付に當つて、後の線が脊中の七分三分に行つたり、前が廻り過ぎたり、身巾が狭くて下品に見へたりするのであります。故に是れは何分何厘、何センチ、何ミリまで自分の身體に合ふ様豫じめ平常心掛けて置けば良いと考へます。

先づ着物を着る、着せ付るのを見ても着物の兩前を前へ突出して揃へて、其の儘下前をまいて、上前を被せる様にして居ら

れます。

此様にすると、兎角上前がどうも適當の處へ行かないのであります。

又着る場合、着せる場合、直ちに右の様にして腰帶をしめて、そして上の形をつくりひもでしめて、伊達巻、帯と云ふ順序にする人が多いのです。

是れでは造りつけの人形の様になり、動作が劇しい時は上の形が引つれてくずれ易いのであります。

又花嫁が餘り締めつけられた爲め、苦しくて途中で腦貧血を起したと云ふ様な滑稽な悲劇を見る事も聞きます。

是れは單に形の上に心を配る結果で、人形の着せ付でない限り、動き良い様に、動いても自由の動作に依つて、着くすれの

婚禮の時でも、挨拶位はしなくてはならない。旅行、舞踊と盛装して、身體を動かす事は澤山ある。

何でもこつのあるものである。

新らしい良い帯は堅くて結び悪い故。

せぬ様にしなくてはならないのであります。

又昔から、帯は男の結ぶもの、力があるから、などと云はれてゐます。是れも間違ひでありまして、單に一寸のこきうであるのであります。

箸も重い様な老婦人が、琴の糸を締めるのも指先きの一寸の働きで締る、力があつても力だけでは吾等には琴の糸は中々締りません。

此點を注意せられたいのである。一寸のこきうで、殊に新しい帯なぞ形丈け造つてひもで押へて置くやうな、誤魔化し法は帯の重量だけでも。形がくずれるのであります。

化粧でも、建築でも、基礎が肝要です。盛装に都腰卷の如きダブ〜のものを用ひて居る人もないであらうが、襦袢、長襦

袢、腰卷等極めて緊密にして置くべきは云ふまでもありません。

さて理窟は抜きにしまして、

○先づ着物をかける。

○一般の人は前を合せて後ちすぐ腰帯をする。

私はさうしないのです。

着物をかけたならばまづ假に上の形を造る、然して、凡ての力が(着物の重さ)下の方へ行かぬやう下の方を自由に動かせるやうにして置く。

○先づ向つて左へ下前を明けて置いて、上前を豫じめ此の邊へと見當をつけて、片腕で押へて置いて前を持ち上げ、下前を巻き込み、然して上前を被せる。

こうして、始めから上前の見當をつけて置くから、前襟が

行き過ぎたり、上前巾が足りなかつたりする様な事が無い。又上に一寸假りじめがしてある爲め、軽く此の動作が出来、る特長があるので。

○然して今度は、上の假りじめの細帯をほどき、上の形を格好よく造る。

こうすると、下の重味は既に固定して居る爲め、上の方は軽く、自由自在に形造られる特長があります。

○然して後の方によせるしわは、兩側に大きくつくるのです。此の寄せじわは細かくすると、伸縮の自由が取れないから大きいのに限ります。

○凡その形の出来た處へ、一つ大きいいきを吸ひ込ませるのです。

形については

○其胸の膨らむ時を見て、細帯で固定します。

○この様にすると、既に腰と胸の下で固定してある故、相當動いても餘裕があるゆゑ動くにも樂であり、餘裕の豊さは他の部を引つる様な事がなくて本人も樂であります。

○伊達巻其の他は普通として帯にかゝります。

○色々の形はあり、色々の名稱はありましても、要するに、お太鼓とお堅やの字の變化したものに過ぎないのであります故、自分で色々の工夫をせらるゝがよいのであります。

○帯をむすぶ場合、新しき帯殊によき帯は、自由にならぬ爲め、二巻巻いて縮める方がありますが、中々力はいりません故、一重の時一度縮めるがよろしいのです。

○羽二重の様なものでない限り、一寸押へがあればあと戻りは

手と云つても帯のことである。

しません。

○然して、形を造る前に帯を結ぶ時、兩方の手をもつて兩方へ引張つても決して縮りません。

○是れは一つ結んだらば、

左の方へ寄せ氣味に、片方丈引いて置く、結び目の(左の方)成るべく根元を掴み、

然して右の手(帯)を、矢張り根元を掴み、右の腕を伸張して力を入れて延すのです。

○斯うすると桿杆の理由に依り、力が十二分に入つて驚くほど縮まるのです。

○縮つた處ですぐ結びめを土臺として、逆に引つ張り起すと、もうくすれないのであります。

○此むすび方(締め方)には多少の呼吸があるから、二三度練習せらるゝが良いのです。

○そして色々の形に結んで見らるゝがよいでせう。

尙ほ前に説く通り、衣裳着せ付け、結び方は、四方でやつて居る事ゆゑ、私は要點だけで済まして置きましたが、何時でも永い時間では困りますが、實地を見たい方は、本讀者に限り、時間の許す時に、實地にしめてお目にかけます。

着せ付の時間に限る。

明治四十三年、獨逸から電氣分解のしわとり器を持ち歸り、澤村宗之助氏の無理の懸望に委せ額のしわを一寸治したらば、眉毛の動作表情が出来なくなつて大失敗、大笑ひをした事がある。
必要のものは無理をせぬのがよろしい。

美容上の注意

一、しわ

しわには、必要に屬するものと、不必要のものがあります。必要のものは、首筋の廻轉及び表情に必要な額のしわ等であり、是れ等は、例へて見ると、袴の襷の如きものでありまして、無くてはならぬものであります。一般に苦にする目尻の助平皺、目頭の縮緬しわ(ばゞじわとも云ふ)の類は、癖に屬すべきもので、必要のものでないのではありません。

是等のしわがなくても、目の開閉には何等のさほりがない、全然くせから出来るもので、例へば、着物をたゝまずにほつたらかして置いた小じわと同じ理くつであります。

大きな川のやうなしわにても、マッサージ欄にある如く、皺目に押して皺が十字形になる形にマッサージをするとよいのであります。

マッサージでなくても、押しつける様にしてよいのであります。

マッサージでも、やけどでも上から眞つ直の刺戟は甚しい害にはならない。

然し、ちりめんじわは、必ず上から刺戟を與へる様にしないで、昔から、熱い湯に入ると小皺が出来ると云ふのは、實際であります。

表皮の角質は、濕温に遇つて伸張し、冷氣に遇つて收縮します。

皮膚の働きの過敏である處は、火傷をするとすぐ火ぶくれになります。ほんの僅かの間であります。

此の様な敏い働きは、入浴して居て裕々とみがきこんで居る内には、表皮が延びたなりに、乳頭層から出るあとつぎの皮になるのが、伸張しきつたなりに、上皮が出来るのであります。斯う云ふと少し大げさであるが、學理では先づかう云はなくてはならないのであります。

これがやがて、縮む時期には、延びた丈けの皮が、何處へ疊み込まれるか、と云ふ結果になると思へば小じわの原因がわかると思ひます。

然して、水で洗ふと小じわが出来ないなぞと云ふのは、是れと反對に、收縮したなりに、表皮が出来ると云ふ形であつて、寒國の人に小皺の少ないのは、日本ばかりでなく、世界各国認むる處であります。

故に、水では垢膩などが取れ切らないために、湯を使つても差支ないが、成るべくぬるいものがよいのであります。

二、顔のあれ

顔のあれにつきましましては、石鹼で洗へば荒れるから、石鹼で顔を洗はぬとか、或は荒れるとすぐ粘りあるもの、美顔料なり、化粧水なりを使用して、すぐそれを止めてしまふ方があります。是れは間違でありまして、荒れると云ふのは、其處に荒れる

分子があればこそ荒れるのであつて、皮下組織、即ち筋肉が荒れるのでなく、一度皮膚保護の役目を了つて、老衰したる表皮が、荒れてむくれるのであります。

是れが十分に新陳代謝機能が働いて居れば、左様な事は無いが、不規則に働くと、遂に剥げ去るべきものを十分に剥げ去らず、幾分残るが故に、斯うなるのであるから、多少の故障は差支ないとしまして、

荒れる場合は一層荒らすと良い

のであります。一寸の不快はありますが、彼の楠木屋が樹木の枝を落とすと、一時は坊主の様に見苦しいけれど、やがて新芽を吹いて來ると、格好よくなると同様に、常に荒らし、其の荒れたる感じが、下の組織に傳はる時は、相當の働きを生じて美

しい新皮を構成すると云ふ事を忘れてはなりません。此の意味に於て、昔は顔を洗ふにも糠袋に限られ、糠袋は古い麻の襦袢に限られて居たものであります。

是れは、表皮の角層を剥り去る役に立つのであつて、垢ぬけのすると云ふ如きは、要するに、古き角質の附着して居らぬのを指すのであります。

彼地の正式美容術では、マッサージ用のモーターに、齒醫者の用ゆる齒を削る如きものの、ゆるやかなものをつけまして、顔の皮をひんむきます。

然して、新しい皮を構成させるのであります。是等はよくよく玩味しなくてはなりません。

良き事は東西軌を一にする。

三、色の黒き方

色の黒き方は、前に黒人の赤ん坊の説明の處にある如く、光線がなければ色素を作ることの力が半減せられます故、努めて光線を反射し、又は透さない白粉の如き化粧品を塗る事が最も肝要であります。

色素の漂白の處で説いた如く、上皮は何程でも白くはなりません。色素は皮膚だけのものであります。

色素は皮膚を保護するもの故、上皮の色素が去ると又出て來るが、今度は皮膚が厚くなつて保護しなくてはならぬはめになる故、左様の工合で皮膚が厚くならぬ内に、補助的の皮膚保護料を塗つてやり、もう皮膚の働きも色素の働きもいらぬと云ふ

色素の皮膚を保護する事も前に説てある。

様に仕向ける事が肝要であります。

少し位のしみ、そばかすは漂白法をすれば最もよいけれど、漂白法をせずとも、絶対保護の方法に出れば、夫れ丈で大抵のものは消えてしまひます。

下地ツ子などがそばかすが相當あつても、彼れ等の云ふ磨き込みと、お化粧練習の内大抵消へ去つてしまふのを見ても明らかであります。

故に、出来得る限り表皮を剥ぐ事、剥いだ處はすぐ保護するものを塗つてやる事等々を注意すれば、あとから出来る表皮は、宛も室の中の大根の芽の如く、色付かぬ性質となるのであります。

下地ツ子(藝者の新兵)
磨き込み、白粉をつけては
あかすり(糠袋)ですり落し
くする。

此の場合、一層保護料を塗
布せねばならぬ。

四、赤 頬

赤頬の方も多くありまして、前に一寸だけ説きましたが、是れは血行器の障害から来るものとせられて居ります。

外國でも赤頬で困る人があります爲め、色々の療法が行はれますが、前にも説いた通り、血行器の故障一寸の細工には行きません。

然し上肢の運動は、斯る血管障害のあるものに良いと云ひまして、盛んに上肢だけの運動體操が行はれます。

まだろつこいやり方でありますが、必らずやつて見るべき事でありませぬ。

其の他冬になると紫色になる方などは、秋の始めよりコール

斯る保護はやるならば、絶對にやり通さねば駄目である。彼の防寒用の襟巻も、取つたり巻たりすると、反て風を引くと同様である。

クレームに三%位の樟腦を入れたものを用ひて居ると、紫色になるのが半分で済みます。

是れも中途休んではいけません。又、寸時も此の保護を止めますと其の時には一層甚しく見へます。

四、ほ、骨の隆き方

ほ、骨の隆き方などは、マッサージ欄で述べ可きであります。が、凡て組織は強力なる壓迫を加へられますと、死滅し、緩和のマッサージは組織が増殖いたします。

故に頬骨の邊の高き方は、バイブレーターマッサージ器のトの部を直接皮膚に當て、マッサージの如く震動を與ふる時は、始めは輕き炎症を起し、腫れた様にも見へますが、度重なるに

連れ漸次肉が落ちて來ます。

故に相當永き時間は要しますが、素人で若し此の方法を試みるとせらるゝ方は、拳固を造り其中指の節の第一節と二節の間の指の處にて力を入れ、筋肉を壓迫して、一ツ二ツと普通數を數へる時間一回轉中心は動さず手のみ廻す位の度合にて、始めは二ツ、二日目三ツ、四日目五ツと云ふ様に根氣よく殖やし一月位で又後と戻りしてやると、多少相好が變つて來るものがあります。

六、むく毛

むく毛の多い方も随分あります、除毛劑等ありますが、是れは大體に於て必要なきもの故、無理に退治すれば生へぬ様に

必要の處は退治る程生へて來て強くなる。

なります。

よく支那人が絹糸に巻きつけて、むく毛を取つて居ります。彼れなぞ誠に良い方法でありまして、終には生へぬ様になります。

普通婦人の手足等は、入浴の際糠袋で根氣よく洗へばすり切れてしまひます。

しかし、赤くなる程すりむく方があります。夫れはいけません。漸次と進む様にすれば必ず薄くなります。

襟足等は、剃つて青くなつて居て差支ありません。處に依るとわざ／＼青黛を生へ際へ塗つて、毛が濃いぞと云ふ様な化粧をする處さへあります。

逆に洗ふこと

七、眉毛

眉毛に眉墨を用ひられる方が多い。是れは多少どうしても粉飾しなければならぬ故、用ゆべきものでありますが、眉毛は極めて根元の淺きもの故、固いものでこする事はよろしくありません。

又輕便な油でねり固めてあるものもありますが、是れは皮脂線を閉塞しますから害があります。

前にも説きました通り、日本人の眉毛は半分何處かへ飛んで行つてしまつて居られる方が多いのであります。

是れ等も眉毛の根の弱い事を知らぬ爲め、顔を洗ふ時つひ知らず／＼逆にこすつて抜けたり、餘り洗ひ過ぎる結果、脂肪分

眉墨は餘り黒いと下品できつく見ゆるから、幾分コルク色が良い。

が取れ過ぎて、裂毛症などになるのです。是れ等も同時に色々ものを塗り、且つこすりする様な事は慎まねばなりません。古く一般の人のやつて居るコルクの焼いたのなどは、色工合は誠によろしいのであります。コルクを焼いてコップに入れ、水を注入して幾度も取り替へくと、カリ分が去つて炭素だけ残りますから是れを用ひれば良いのであります。

私達は斯る性質のものに、塩化金等を加へ一層茶色にして用ひます。

八、いほ

いほの出来たのも見苦しいものであります。いほには種類が

手のいほは醫師にかゝる事

色々ありまして、婦人の襟首、顔等に細長き尖端の堅いものがよくできます。

是れは根元を指先きの爪でしツかと押へ、力を入れて引抜きますと、すぼつととれて痕を残しません。

又目のふちにある口のなきにきびの様なもの、粟粒腫と云ひまして、捨て置くに云ふ蛙いほになります。是れは切つて出さねばなりません。然し少しのあともつきません。

九、男子の方に

私共の書生時代の如き、東洋流の豪傑式のもの、は過去の事に屬しまして、只今では男子の方も社交場裡に立つ以上、相當の整容方法は取らなくてはなりません。

蛙いほ、婆あいほとも云ふ

昔の武士も、亂髪は失禮のものとして、整然と結髪し、いざ鎌倉の場合に首の汚れて居らぬ様、又下帯の事迄注意したものである様に聞く、斯

くてこそ心に緊張味もあるの
で、妙なお洒落と誤解せぬ様
にしたものである。

男子は女子の如く、扮装に依つて變つた形を見せ、粉粧に依つて美しくも見せ、皮膚面も保護すると云ふ事は出来ないの
あります。

故に素の儘の健康美を發揮さすべきであるけれど、矢張り大
氣中の悪瓦斯、光線等の害を受けるのは、婦人と同様でありま
すが、男子は其の性状よりして婦人よりは遙に抵抗力が強い
であります。

男子の皮膚は、先天的に婦人より丈夫である。曝露に堪ゆる
やうに出来て居るが故に、角層も婦人より厚き故、従つて骨を
保護する皮脂の分泌も多いのであります。

分泌が多ければ、夫れに應ずる障害も多大である勘定になり
ます。

婦人は二回にきびを押出
せばあとは出来ないのが多い
が、男子は勢ひよくあとから
くと出来る。

婦人に假性面皰が出来たら
ば、すぐ押出すと透明のき
びの様なものが出る。

先づ若き内にきびが出来た場合は、壓出器を以て一々壓出
する事、壓出したあとへ直ちに稀沃度丁幾を、極めて細き毛筆
にてにきびの飛出した穴へ塗つて置く事。

此の稀沃丁を塗つて置かぬ時は、飛び出したにきびのあとへ、
淋巴液、血漿の如きものが直ちに相集り、假性面皰が作られま
すから、婦人と違ひ直ちに收斂性の沃丁を塗布して置く事が肝
要であります。

其のつけ方は押出したにきびの穴へ細筆を挿し込むやうに一
回限りつけて周圍へは絶対つけない様にせらるゝがよいのであ
ります。

周圍へ附着しますと、沃度の性質として薬品欄にあります通
り、皮膚を硬化し、皮が剥けますから、健全の表皮を持つ大部

面の處は後日何等の障害差違がありませんが、少なき炎症の處はこそりと皮膚がむけ去るを以て、小さき痘痕の様な痕を残します。

またもそ／＼と痒みを感じる時、爪の類でつまみ取るときは炎症を起して、突出せる角層も共につまみ去るを以て痕のつく處があります。

故につまみやすく出来て居るものにも、決してつまみ出さぬ様、爪で遠くより押出す事が肝要なのであります。

婦人より男子の方が、分泌の多い事は前に云つた通であります。此の分泌物の多い爲め、少しでも脂肪栓が大きくなる時は直ちに是れを排出すべく、膿み易く働きます。

此のにきびの周囲の腫んだものは、面麩欄にもある如く、す

ぼつと押出され易けれど、是れ又假性面麩を造り易きを以て、稀沃丁をほんの一寸塗布する事が肝要であります。

ほこりは殊に面麩を造り易い、ほこりは知る通り、土の乾いたものが多分故、一寸にても汗をかき、濕りのある分泌腺口へ附着する時は、土氣は水を吸ふ爲めに、反對に水に吸ひ付かれ易い、従つて排泄管を塞ぎ、脂肪栓製造の手助けをする事になるのであります。

是れは婦人の洗粉類でも、硅藻土の如き土類を用ひたものは、同様の結果に陥り易いのであります。

何よりも、一日數回顔を洗ふが良い、石鹼を以てこし／＼こするがよい。

學校へ行ても運動のあとは、石鹼で度々洗顔するが良い、決

學校などで今少し顔の事に氣をつけて欲しい、對外の關係も多くある。今時は學校を卒業しても、いやなにきび面では就職にも自家の營業などにも感心したものでない。

して耻かしい事も何もない、古武士は一々笄を以て鬢の毛の亂れを直し、其の笄は刀の添物？としてついて居るのを見ても、整容の心理状態に一種の信念を生ぜしめる力のある事を、學校の先生方は今少し洞察して欲しいのであります。

婦人と違ひ、男子は鉛の白粉等を用ひて居らぬ故、にきびの出來た方は、

五錢か十錢買へば澤山ある

精製硫黄 十五分

を買求め瓶に入れ、

酒精 二十分

温湯 八十分

位の合劑を造り朝夕二回塗布するとよいのであります。

この様に一二週間する時は、脂肪栓が固まるを以て、前に述

べたやうに角層を傷けぬやうに片つ端より取去り、あとの酸性の化粧料を塗布しおけば、其のあとの手入(石鹼にての洗顔、酸性化粧料の塗布、スコンヘイツミルタの塗布等)の如何に依つて全然出來なくなつて、美しくなるのであります。

男子も如何に男性美は良いなぞとは云つても、握手する場合に、ふしくれ立つた手を突出するのは面白くないのであります。

歐洲では色々の皮膚を荒らす石鹼のある事は前にも述べた處であるが、婦人の用ゆるほうの木炭を以て、ふしくれ立つた處を削り去る事もよいのです。

男子は兎角垢がつき易い、たまり易いと云ふのは前にも述べた皮脂分泌の過多と、角層の剝け去り方が皮脂の爲めに保護され過ぎて皸い結果もある故、前述の炭で荒らし、石鹼で荒らし

藥種屋にある、二錢か三錢。

たあとは、婦人は差支なけれど、男子は必ず多少の粘りある保護料を用ひて居らぬと毛羽立たれた様な皮膚目が、一層汚く見へ又こびりつき易い故、注意しなくてはなりません。

男の方の座瘡が猛烈に出来て、仕末に了へぬ時は新鮮なる骨炭をビールで服用しますと治る事がある故試みられる必要がありません。

實際美容術 終

昭和六年六月十一日印刷
昭和六年六月十三日發行

【定價金貳圓五拾錢】



著者兼
發行者

東京市京橋區銀座五丁目五ノ三
北原 十三 男

印刷者

東京市牛込區原町二丁目十番地
片岡 彌三 郎

印刷所

東京市牛込區原町二丁目十番地
片岡 印刷所
電話牛込二二三八番

發賣所

東京驛前丸ビル二六二區
振替東京二九三七番

婦女界社

電話丸の内二九三七番

化粧料の最高級化粧品

- ▲北原毛髮料二號 発毛を促し脱毛を防ぎます 一円廿銭
- ▲北原毛髮料 毛髪を増す養毛料 一円廿銭
- ▲北原くせ直し 毛髪を直し毛髪を柔らかく 七十銭
- ▲北原ヘアヤ 毛髪を伸ばし艶々しくする特殊の養毛液。 一円八十銭
- ▲北原髪油 五十銭
- ▲北原髪洗粉 一円
- ▲北原脱毛液 毛深い処へ塗るだけで毛が抜けます 一円
- ▲シエーン(鉛毒の薬) 三百粒入 一円
- ▲北原氏浄水劑 井戸水にて洗顔する際に少し宛点加して用ふ 一円七十銭
- ▲北原漂白エッセンス(化粧料) 漂白 二円八十銭
- ▲北原リ氏液(化粧水) 化粧水 八十銭
- ▲北原美肌水 白粉下に用ひてよく鉛毒を防ぐ 六十銭
- ▲フランセ水クリーム 七十銭
- ▲北原コールドクリーム 植物性原料に美顔料を加へた理想品 六十銭
- ▲北原洗粉 六十銭
- ▲北原眉墨 特に色素を研究して創製の逸品 五十銭

毛髮料の部

(送料は各十二銭五個迄廿七銭)
東京丸ビル二階(振替東京二九三七)
婦女界社代理部



北原特殊



美容科學界の權威
北原十三男先生創製

北原先生は我國美容界の大先輩で、美顔術の創始者ともいふべき方です。而も絶へず新智識を求めて海外に遊ぶこと數度、常に美容界を指導されつつあることは、皆様ご承知の通りです。先生ご創製化粧料の優秀なことは今更申上げる迄ありません

美顔料の部

- ▲北原煉白粉 五十銭
- ▲北原固煉白粉 八十銭
- ▲北原水白粉 四十五銭
- ▲北原中年白粉 一円
- ▲北原粉白粉 三十銭・六十銭
- ▲北原肌色粉白粉 五十銭・一円
- ▲北原肌色煉白粉 八十銭
- ▲北原ほ、紅白粉 一円
- ▲北原美肌ミルク 小皺を除き生地を整へ日焦げを防ぐ 五十銭



生徒募集

〔隨時講習開始〕
〔完全なる實習所を持つを誇とす〕

私立認可

日本女子美容術學校

本校 東京市外中野町宮前三三
附屬實習所 東京銀座五丁目五ノ三

正式美容術

〔料金一回金壹圓
御相談其他無料〕

東京銀座五丁目五ノ三

北原東京美容院

電話銀座四七五四番
振替東京二一五四七番

終

